

「第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」
の策定のためのアンケート調査
集計結果報告書

令和5年3月

串本町

目 次

第 1 編 調査の概要	1
1 調査の概要	1
2 調査の種類・調査方法と配布・回収数	1
3 留意点	1
4 集計表の見方の例	2
5 生活機能の低下リスクについて	3
第 2 編 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の集計結果	5
第 1 章 回答者の属性や生活状況（問 1）	5
第 2 章 からだを動かすことについて（問 2）	12
第 3 章 食べることについて（問 3）	18
第 4 章 毎日の生活について（問 4）	23
第 5 章 地域での活動について（問 5）	32
第 6 章 たすけあいについて（問 6）	38
第 7 章 健康について（問 7）	43
第 8 章 認知症について（問 8）	48
第 9 章 地域包括支援センターについて（問 9）	50
第 10 章 成年後見制度について（問 10）	51
第 11 章 今後の暮らし方について（問 11）	53
第 12 章 自由意見	55
第 13 章 「生活機能低下」の該当者の状況	63
第 3 編 在宅介護実態調査の集計結果	70
第 1 章 属性（基本事項）	70
第 2 章 回答者の心身の状況や介護の状況（A 票）	74
第 3 章 介護者への負担の状況（B 票）	87
第 4 章 自由意見	93
第 5 章 追加の設問間クロス集計	97
資料編 調査票	119

第1編 調査の概要

1 調査の概要

串本町では、令和5年度に、「第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定します。このため、計画の策定にあたっての基礎資料とするために、アンケート調査を実施しました。

2 調査の種類・調査方法と配布・回収数

調査は、一般高齢者を対象とした「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と、要介護者を対象とした「在宅介護実態調査」の2種類です。

種類	対象	調査方法・時期	配布数	回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の方で、要介護認定を受けていない方や、要支援1・2の認定を受けている方	令和4年11～12月に郵送により配布・回収	1,000	633	63.3%
②在宅介護実態調査	在宅で生活しながら要介護認定を受けている方	令和4年11～令和5年2月に訪問調査により実施 (要介護認定データとも照合)	184	184	100%

3 留意点

- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「合計」が全体より少なくなっています。
- 設問には1つのみ答えるものと複数回答のものがあり、複数回答の設問では、表記の割合の合計は100%を超えます。
- 割合は選択肢ごとに小数第1位以下を四捨五入して整数表記しているため、その割合の合計は100%にならないところがあります。

4 集計表の見方の例

回答者 633 人の年齢別・男女別の内訳です。高齢者は、75 歳以上になると心身の状況が変わってくる、男性と女性ではその変化の傾向も違うことから、区分して集計しています。

問 1 (6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は 1 つ)

	総計		65~74 歳 男性		75 歳以上 男性		65~74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 介護・介助は必要ない	501	79%	101	95%	136	80%	111	91%	153	65%
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	63	10%	4	4%	16	9%	8	7%	35	15%
3. 現在、何らかの介護を受けている	58	9%	0	0%	16	9%	2	2%	40	17%
無回答	11	2%	1	1%	2	1%	1	1%	7	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

1 つを答える質問のため、無回答者を含め、総計は 633 人、割合は 100% になります。ただし、四捨五入の関係で、割合を縦に足すと、99% や 101% になっている表や図(グラフ) があります。

◆問 1 (6) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」に○をつけた方のみ

② 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○はいくつでも)

	総計		65~74 歳 男性		75 歳以上 男性		65~74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者(夫・妻)	10	17%	0	0%	6	38%	1	50%	3	8%
2. 息子	12	21%	0	0%	1	6%	0	0%	11	28%
3. 娘	22	38%	0	0%	4	25%	0	0%	18	45%
4. 子の配偶者	3	5%	0	0%	0	0%	0	0%	3	8%
5. 孫	4	7%	0	0%	0	0%	0	0%	4	10%
6. 兄弟・姉妹	2	3%	0	0%	1	6%	1	50%	0	0%
7. 介護サービスのヘルパー	21	36%	0	0%	6	38%	0	0%	15	38%
8. その他	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%
合計	58	100%	0	0%	16	100%	2	100%	40	100%

複数の選択肢に回答している人がいるので、割合の合計は 100% を超えます。

(3) ②は、(3) で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した 58 人だけが回答しています。

5 生活機能の低下リスクについて

介護予防を推進するためには、生活機能の低下リスクの有無を調べるのが重要であることから、それを判定するための設問を入れています。

生活機能の低下リスクの有無は、介護予防事業の対象者かどうかを判断するために国が平成 18 年度から「地域支援事業実施要綱」や「介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル」に基づき実施してきた「25 項目の基本チェックリスト」や、IADL（手段的日常生活動作能力）等を検査する「老研式活動能力指標」により判定することとなっており、それらから一部の設問項目を本アンケートに入れていきます。

「第2編 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の集計結果」では、「国のガイドラインによると」として、結果を分析しています。

なお、平成 27 年度から各市町村において介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、「25 項目の基本チェックリスト」は義務から任意に移行しましたが、生活機能の低下リスクの判定方法については制度改正前と変更はありません。

〔参考〕基本チェックリスト

No.	質問項目	回答 (いずれかに○を お付け下さい)	
		0.はい	1.いいえ
1	バスや電車で1人で外出していますか	0.はい	1.いいえ
2	日用品の買物をしていますか	0.はい	1.いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0.はい	1.いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	0.はい	1.いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0.はい	1.いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0.はい	1.いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0.はい	1.いいえ
8	15分位続けて歩いていますか	0.はい	1.いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	1.はい	0.いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	1.はい	0.いいえ
11	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1.はい	0.いいえ
12	身長 c m 体重 kg (BMI=) (注)		
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい	0.いいえ
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1.はい	0.いいえ
15	口の渇きが気になりますか	1.はい	0.いいえ
16	週に1回以上は外出していますか	0.はい	1.いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1.はい	0.いいえ
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1.はい	0.いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0.はい	1.いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1.はい	0.いいえ
21	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1.はい	0.いいえ
22	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1.はい	0.いいえ
23	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1.はい	0.いいえ
24	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1.はい	0.いいえ
25	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1.はい	0.いいえ

(注) BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)が18.5未満の場合に該当とする。

[参考]老研式活動能力指標

手段的自立度 (IADL)

項目	評価
バスや電車での外出	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…0点 3. できない…0点
食品・日用品の買物	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…0点 3. できない…0点
食事の用意	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…0点 3. できない…0点
請求書の支払い	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…0点 3. できない…0点
預貯金の出し入れ	1. できるし、している…1点 2. できるけど、していない…0点 3. できない…0点

※4点…やや低い 3～0点…低い

知的能動性

項目	評価
年金などの書類が書ける	1. はい…0点 2. いいえ…1点
新聞を読む	1. はい…0点 2. いいえ…1点
本や雑誌を読む	1. はい…0点 2. いいえ…1点
健康について関心がある	1. はい…0点 2. いいえ…1点

※3～0点…低い

社会的役割

項目	評価
友人の家を訪問	1. はい…1点 2. いいえ…0点
家族や友人の相談にのっている	1. はい…1点 2. いいえ…0点
病人を見舞う	1. はい…1点 2. いいえ…0点
若い人への話しかけ	1. はい…1点 2. いいえ…0点

※3～0点…低い

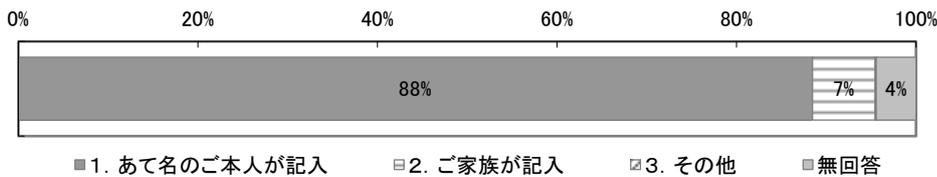
第2編 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の集計結果

第1章 回答者の属性や生活状況（問1）

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

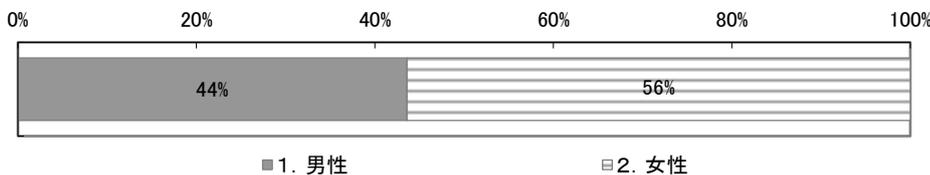
	総計	
	人数	割合
1. あて名のご本人が記入	560	88%
2. ご家族が記入	44	7%
3. その他	1	0%
無回答	28	4%
合計	633	100%

調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が88%、「ご家族が記入」が7%、無回答が4%でした。



(1) 調査対象者の性別をお教えてください。(○は1つ)

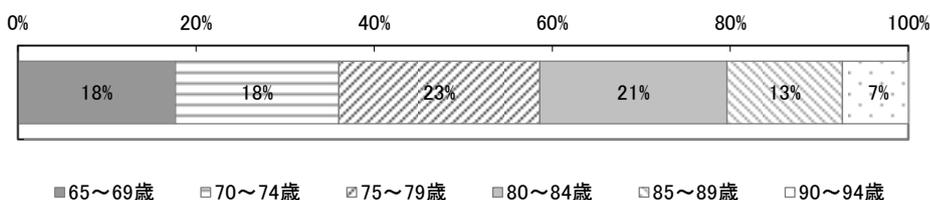
	総計	
	人数	割合
1. 男性	276	44%
2. 女性	357	56%
合計	633	100%



(2) 調査対象者の年齢をお答えください。(○は1つ)

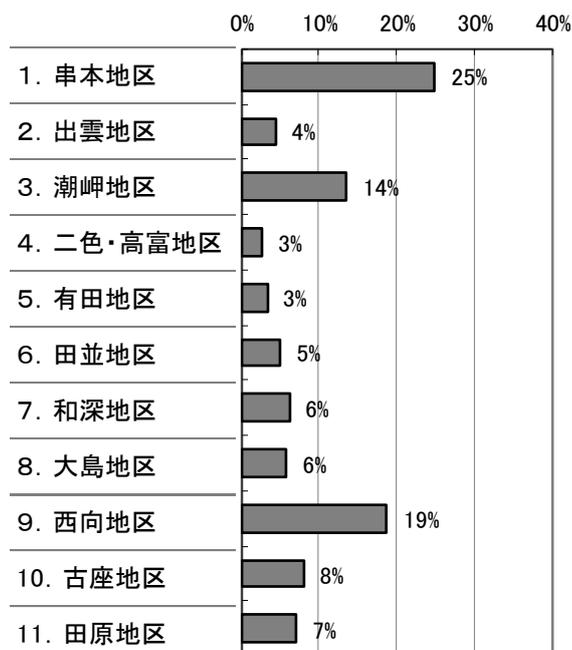
	総計	
	人数	割合
1. 65～69歳	112	18%
2. 70～74歳	116	18%
3. 75～79歳	143	23%
4. 80～84歳	133	21%
5. 85～89歳	82	13%
6. 90～94歳	47	7%
7. 95歳以上	0	0%
合計	633	100%

性別は、男性が44%、女性が56%で女性の方がやや多くなっています。年齢は、65～69歳が18%、70～74歳が18%、75～79歳が23%など表のとおりで、以降の集計では、65～74歳男性、75歳以上男性、65～74歳女性、75歳以上女性の4区分に分け、傾向の違いなどをみていきます。



(3) お住まいの地区をお教えてください。(〇は1つ)

	総計	
	人数	割合
1. 串本地区 (鬮野川、サンゴ台を含む)	158	25%
2. 出雲地区	28	4%
3. 潮岬地区	86	14%
4. 二色・高富地区	17	3%
5. 有田地区 (有田上、吐生を含む)	21	3%
6. 田並地区 (田並上、江田を含む)	32	5%
7. 和深地区 (田子～和深～里川)	39	6%
8. 大島地区 (須江、檜野を含む)	37	6%
9. 西向地区 (姫～古田まで)	119	19%
10. 古座地区 (中湊、上野山、津荷を含む)	51	8%
11. 田原地区 (上田原、佐部を含む)	45	7%
合計	633	100%



居住地区は、「1. 串本地区」が 158 人 (25%)、「9. 西向地区」が 119 人 (19%) など、表のとおりです。

〔年齢分布〕

	総計		65～74 歳		75～84 歳		85 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 串本地区 (鬮野川、サンゴ台を含む)	158	100%	52	33%	74	47%	32	20%
2. 出雲地区	28	100%	10	36%	11	39%	7	25%
3. 潮岬地区	86	100%	36	42%	34	40%	16	19%
4. 二色・高富地区	17	100%	7	41%	9	53%	1	6%
5. 有田地区 (有田上、吐生を含む)	21	100%	5	24%	9	43%	7	33%
6. 田並地区 (田並上、江田を含む)	32	100%	5	16%	20	63%	7	22%
7. 和深地区 (田子～和深～里川)	39	100%	13	33%	16	41%	10	26%
8. 大島地区 (須江、檜野を含む)	37	100%	14	38%	14	38%	9	24%
9. 西向地区 (姫～古田まで)	119	100%	45	38%	51	43%	23	19%
10. 古座地区 (中湊、上野山、津荷を含む)	51	100%	21	41%	21	41%	9	18%
11. 田原地区 (上田原、佐部を含む)	45	100%	20	44%	17	38%	8	18%
合計	633	100%	228	100%	276	100%	129	100%

年齢分布をみると、「85 歳以上」が「5. 有田地区」や「7. 和深地区」で割合が高いなど、地区によって傾向の違いがみられます。

居住地区（再区分1）

	総計		65～74歳		75～84歳		85歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
串本駅周辺（1）	158	100%	52	33%	74	47%	32	20%
串本郊外（2～8）	260	100%	90	35%	113	43%	57	22%
古座（9～11）	215	100%	86	40%	89	41%	40	19%
合計	633	100%	228	36%	276	44%	129	20%

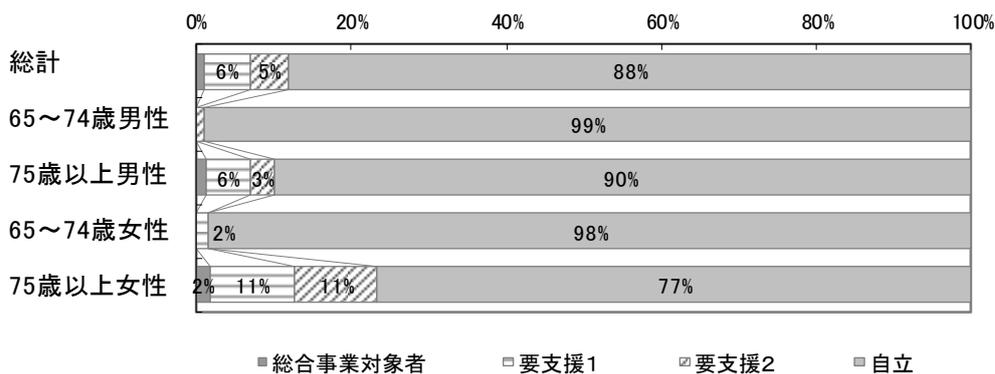
居住地区（再区分2）

	総計		65～74歳		75～84歳		85歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
串本圏域	418	100%	142	34%	187	45%	89	21%
古座圏域	215	100%	86	40%	89	41%	40	19%
合計	633	100%	228	36%	276	44%	129	20%

地区を「串本駅周辺」（選択肢1）、「串本郊外」（選択肢2～8）、「古座」（選択肢9～11）と再区分して年齢分布をみると、「古座」は、65～74歳の割合がやや高い傾向がみられました。

〔参考〕要支援認定の状況

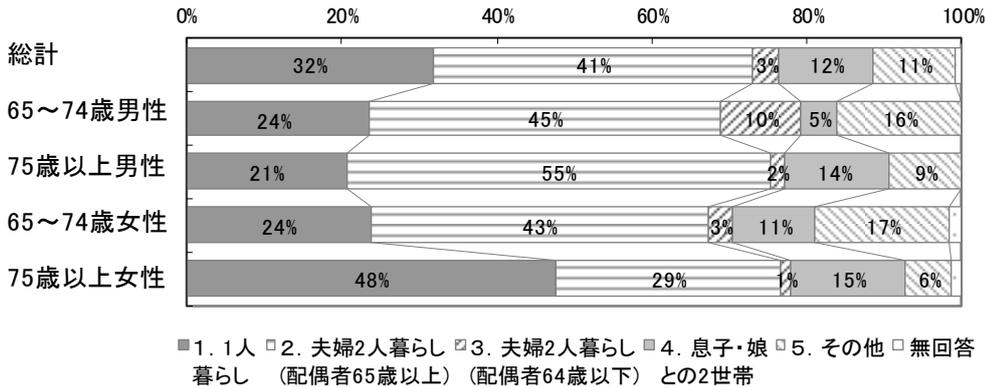
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
総合事業対象者	6	1%	0	0%	2	1%	0	0%	4	2%
要支援1	38	6%	0	0%	10	6%	2	2%	26	11%
要支援2	31	5%	1	1%	5	3%	0	0%	25	11%
自立	558	88%	105	99%	153	90%	120	98%	180	77%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



被保険者台帳との突合により、要支援の認定を受けているかどうかをみると、「要支援1」が6%、要支援2が5%で、「総合事業対象者」が1%、「自立」（認定を受けていない）が88%となっています。

(4) 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

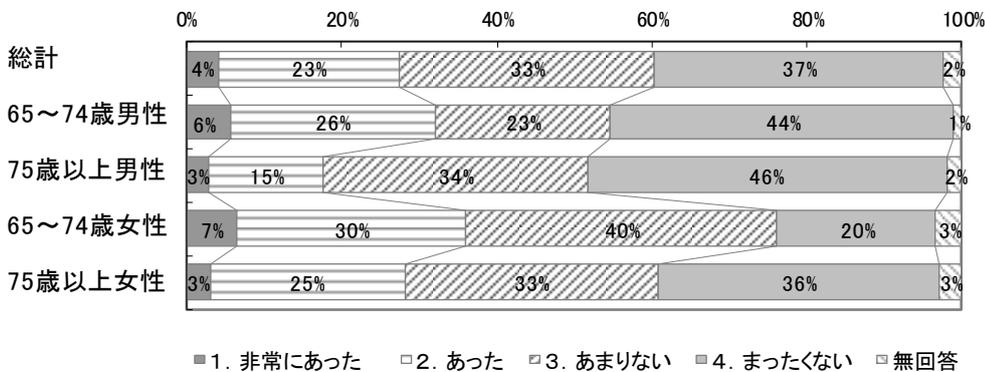
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 1人暮らし	201	32%	25	24%	35	21%	29	24%	112	48%
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	262	41%	48	45%	93	55%	53	43%	68	29%
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	21	3%	11	10%	3	2%	4	3%	3	1%
4. 息子・娘との2世帯	76	12%	5	5%	23	14%	13	11%	35	15%
5. その他	68	11%	17	16%	16	9%	21	17%	14	6%
無回答	5	1%	0	0%	0	0%	2	2%	3	1%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



家族構成は、配偶者も65歳以上である夫婦2人暮らしが多く、75歳以上の女性では1人暮らしも他の層より多い状況です。

(5) あなたは、この2年間あまりの新型コロナウイルス感染症の影響により、精神的、身体的に変化はありましたか。(〇は1つ)

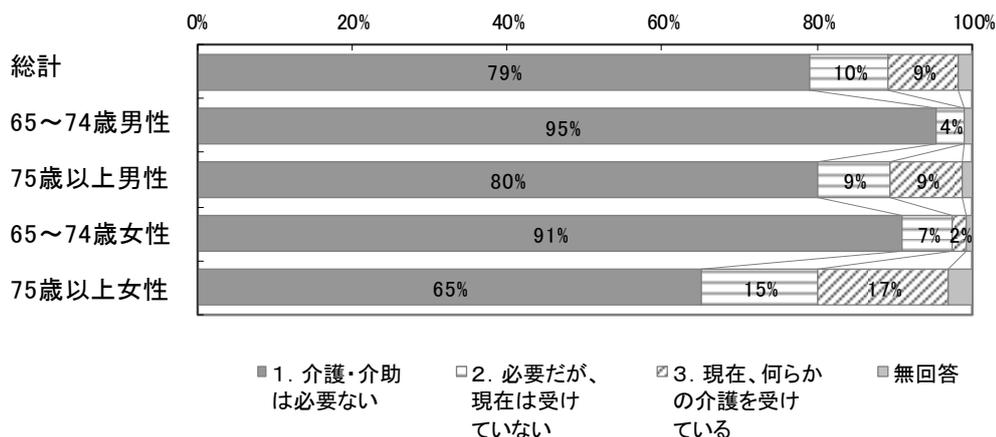
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 非常にあった	26	4%	6	6%	5	3%	8	7%	7	3%
2. あった	148	23%	28	26%	25	15%	36	30%	59	25%
3. あまりない	208	33%	24	23%	58	34%	49	40%	77	33%
4. まったくない	236	37%	47	44%	79	46%	25	20%	85	36%
無回答	15	2%	1	1%	3	2%	4	3%	7	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「非常にあった」が4%、「あった」が23%、「あまりない」が33%、「まったくない」が37%となっています。

(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 介護・介助は必要ない	501	79%	101	95%	136	80%	111	91%	153	65%
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	63	10%	4	4%	16	9%	8	7%	35	15%
3. 現在、何らかの介護を受けている	58	9%	0	0%	16	9%	2	2%	40	17%
無回答	11	2%	1	1%	2	1%	1	1%	7	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

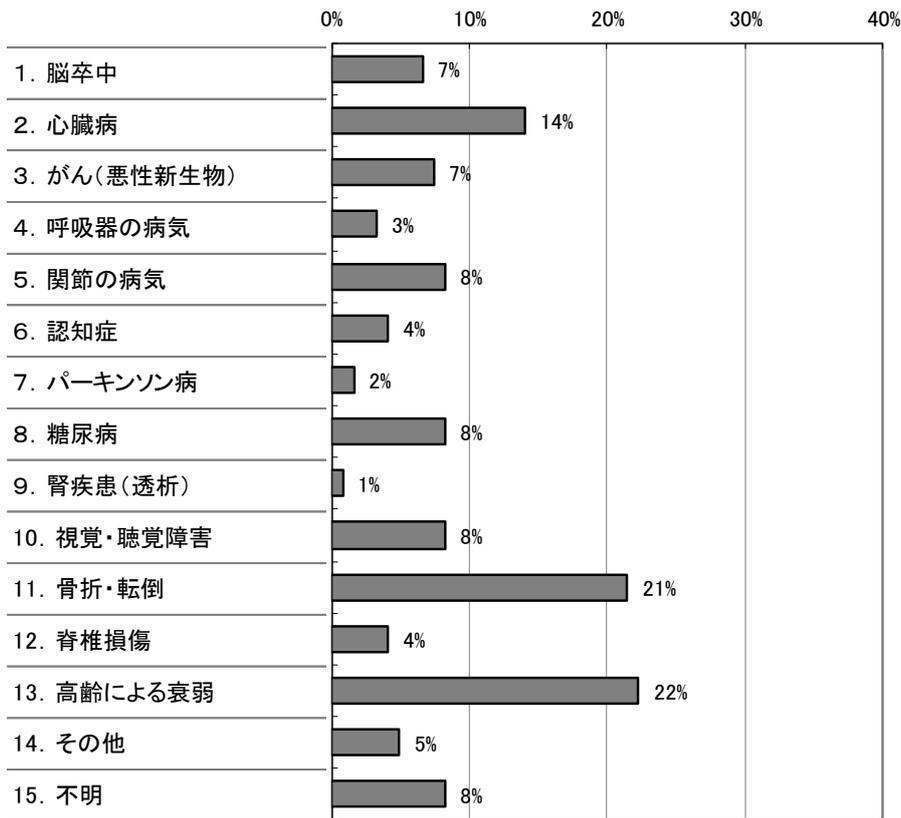


本調査は、要介護者以外を対象としていますが、本設問によると、要介護認定を受けていなくても疾病等の理由で介護・介助が必要な人が回答者の19%います。

◆ (6) において「1. 介護・介助は必要ない」以外に○をつけた方のみ

① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(○はいくつでも)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	8	7%	2	50%	1	3%	1	10%	4	5%
2. 心臓病	17	14%	0	0%	4	13%	2	20%	11	15%
3. がん (悪性新生物)	9	7%	0	0%	4	13%	2	20%	3	4%
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	4	3%	0	0%	2	6%	0	0%	2	3%
5. 関節の病気 (リウマチ等)	10	8%	0	0%	2	6%	1	10%	7	9%
6. 認知症 (アルツハイマー病等)	5	4%	0	0%	2	6%	0	0%	3	4%
7. パーキンソン病	2	2%	0	0%	1	3%	0	0%	1	1%
8. 糖尿病	10	8%	0	0%	5	16%	0	0%	5	7%
9. 腎疾患 (透析)	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
10. 視覚・聴覚障害	10	8%	0	0%	2	6%	0	0%	8	11%
11. 骨折・転倒	26	21%	0	0%	6	19%	4	40%	16	21%
12. 脊椎損傷	5	4%	0	0%	4	13%	0	0%	1	1%
13. 高齢による衰弱	27	22%	0	0%	9	28%	1	10%	17	23%
14. その他	6	5%	0	0%	1	3%	0	0%	5	7%
15. 不明	10	8%	0	0%	4	13%	0	0%	6	8%
合計	121	100%	4	100%	32	100%	10	100%	75	100%

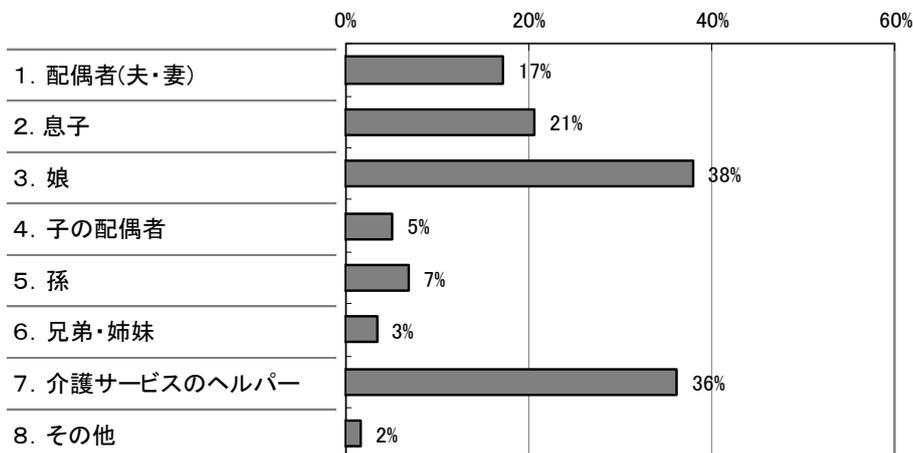


介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が22%、「骨折・転倒」が21%、「心臓病」が14%などとなっており、様々な疾患・事故が挙げられており、要介護状態になる原因は多岐にわたる状況がみとれます。

◆ (6)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」に○をつけた方のみ

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(○はいくつでも)

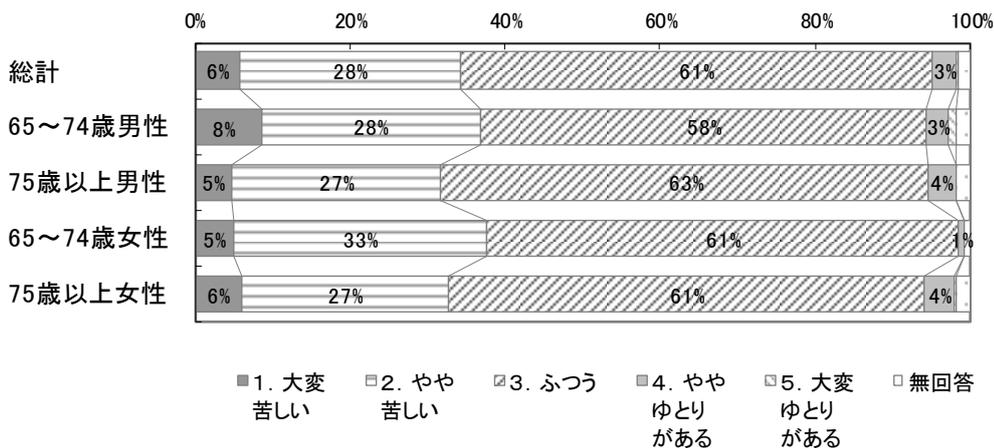
	総計		65~74歳男性		75歳以上男性		65~74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者(夫・妻)	10	17%	0	0%	6	38%	1	50%	3	8%
2. 息子	12	21%	0	0%	1	6%	0	0%	11	28%
3. 娘	22	38%	0	0%	4	25%	0	0%	18	45%
4. 子の配偶者	3	5%	0	0%	0	0%	0	0%	3	8%
5. 孫	4	7%	0	0%	0	0%	0	0%	4	10%
6. 兄弟・姉妹	2	3%	0	0%	1	6%	1	50%	0	0%
7. 介護サービスのヘルパー	21	36%	0	0%	6	38%	0	0%	15	38%
8. その他	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%
合計	58	100%	0	0%	16	100%	2	100%	40	100%



介護者は「娘」が38%と最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が36%、「息子」が21%などとなっています。

(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか。(〇は1つ)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 大変苦しい	37	6%	9	8%	8	5%	6	5%	14	6%
2. やや苦しい	179	28%	30	28%	46	27%	40	33%	63	27%
3. ふつう	386	61%	61	58%	107	63%	74	61%	144	61%
4. ややゆとりがある	19	3%	3	3%	6	4%	1	1%	9	4%
5. 大変ゆとりがある	2	0%	1	1%	0	0%	0	0%	1	0%
無回答	10	2%	2	2%	3	2%	1	1%	4	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

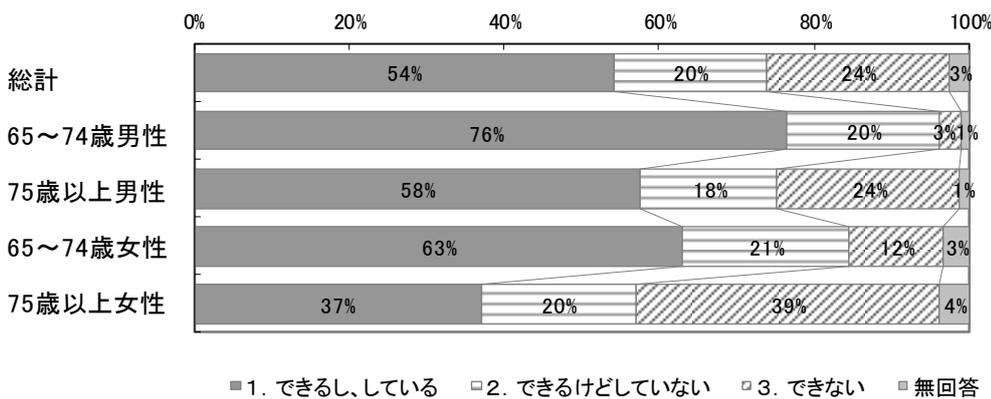


経済状況は、「大変苦しい」が6%、「やや苦しい」が28%となっており、年齢や性別では大きな差はみられない状況です。

第2章 からだを動かすことについて（問2）

（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	343	54%	81	76%	98	58%	77	63%	87	37%
2. できるけどしていない	124	20%	21	20%	30	18%	26	21%	47	20%
3. できない	150	24%	3	3%	40	24%	15	12%	92	39%
無回答	16	3%	1	1%	2	1%	4	3%	9	4%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

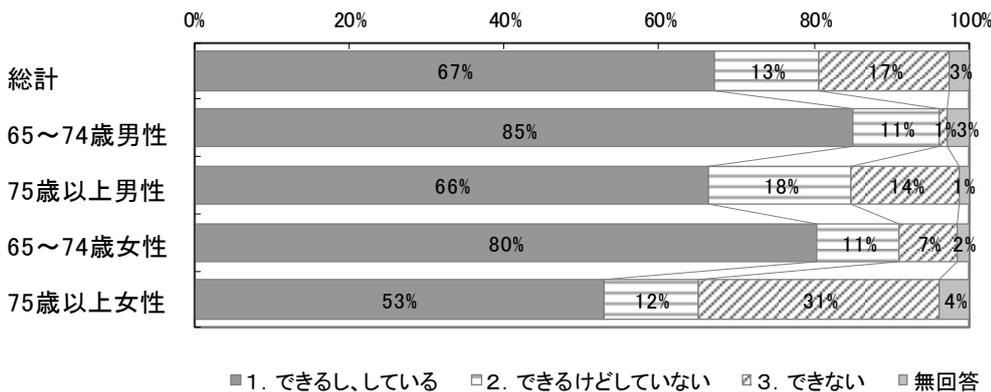


「できない」は24%です。
この設問に限りませんが、65～74歳より75歳以上の方が「できない」の割合は高い状況です。

国のガイドラインによると、(1)～(5)をあわせて3問以上、リスク相当の選択肢に該当した人（(1)～(3)は「できない」、(4)は「何度もある」「1度ある」、(5)は「とても不安である」「やや不安である」を選択した人）は「運動器機能の低下」の懸念があります。

（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（○は1つ）

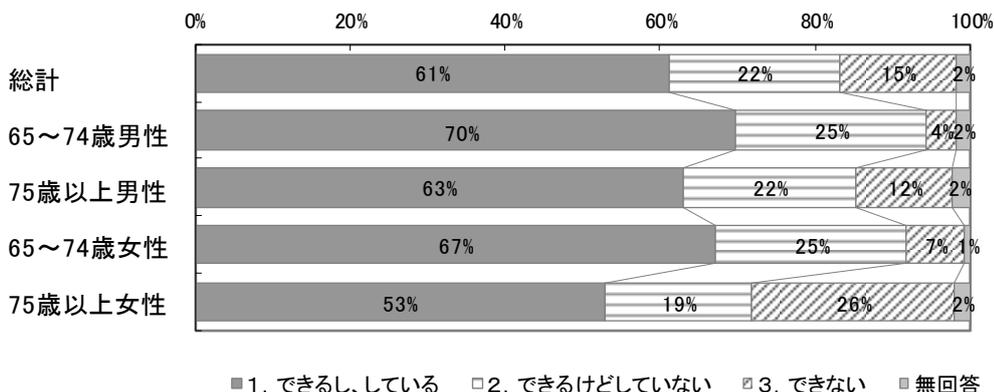
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	425	67%	90	85%	113	66%	98	80%	124	53%
2. できるけどしていない	85	13%	12	11%	31	18%	13	11%	29	12%
3. できない	107	17%	1	1%	24	14%	9	7%	73	31%
無回答	16	3%	3	3%	2	1%	2	2%	9	4%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「できない」は17%です。

(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

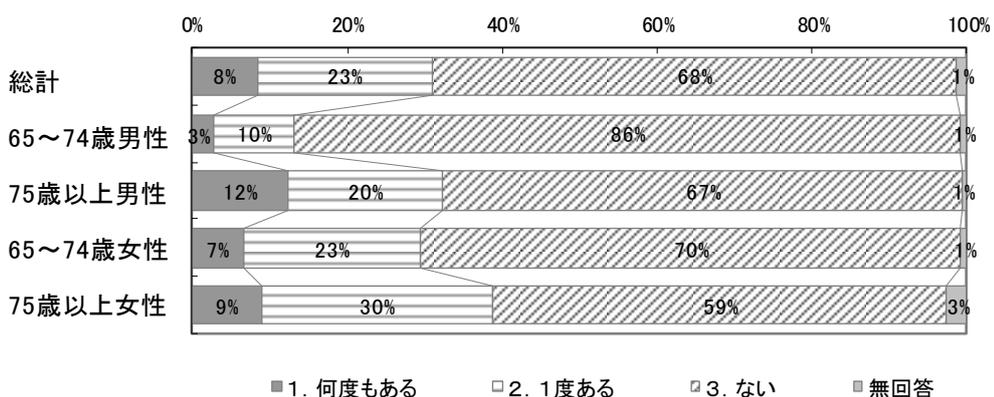
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	387	61%	74	70%	107	63%	82	67%	124	53%
2. できるけどしていない	139	22%	26	25%	38	22%	30	25%	45	19%
3. できない	95	15%	4	4%	21	12%	9	7%	61	26%
無回答	12	2%	2	2%	4	2%	1	1%	5	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「できない」は15%です。

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

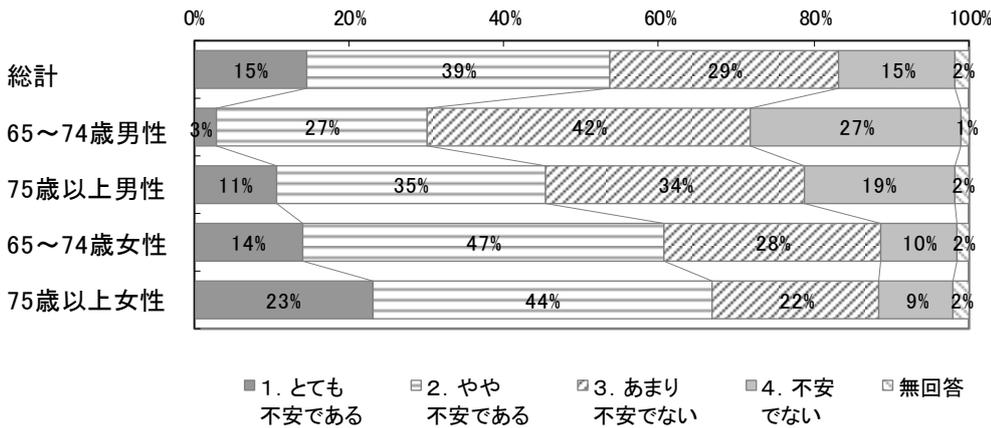
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 何度もある	53	8%	3	3%	21	12%	8	7%	21	9%
2. 1度ある	143	23%	11	10%	34	20%	28	23%	70	30%
3. ない	428	68%	91	86%	114	67%	85	70%	138	59%
無回答	9	1%	1	1%	1	1%	1	1%	6	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「ある」は約3割です。

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

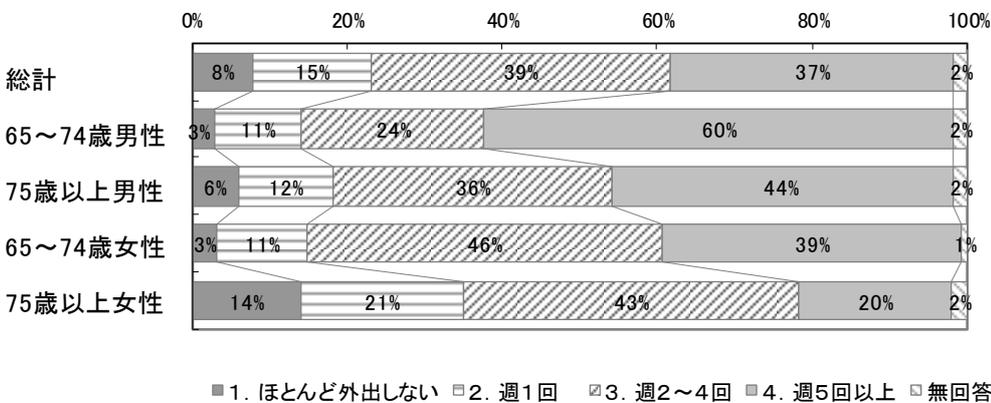
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とても不安である	92	15%	3	3%	18	11%	17	14%	54	23%
2. やや不安である	248	39%	29	27%	59	35%	57	47%	103	44%
3. あまり不安でない	186	29%	44	42%	57	34%	34	28%	51	22%
4. 不安でない	96	15%	29	27%	33	19%	12	10%	22	9%
無回答	11	2%	1	1%	3	2%	2	2%	5	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「不安である」は5割強で、女性の方が高い割合となっています。

(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

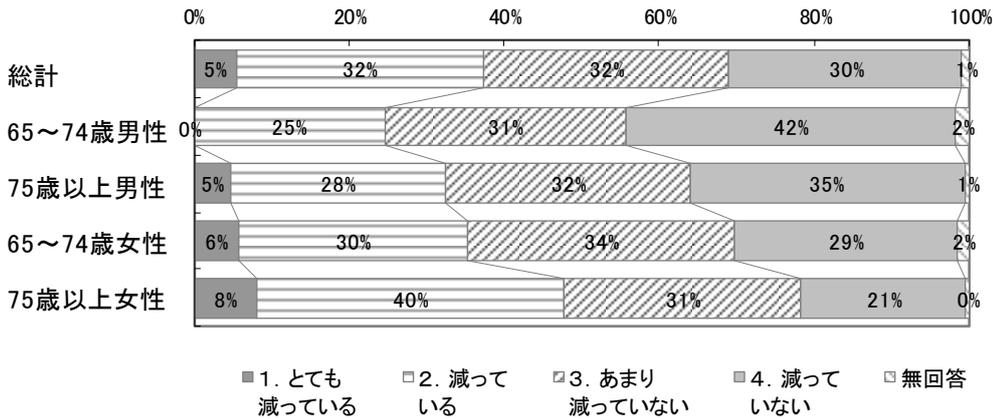
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ほとんど外出しない	50	8%	3	3%	10	6%	4	3%	33	14%
2. 週1回	96	15%	12	11%	21	12%	14	11%	49	21%
3. 週2～4回	244	39%	25	24%	61	36%	56	46%	102	43%
4. 週5回以上	232	37%	64	60%	75	44%	47	39%	46	20%
無回答	11	2%	2	2%	3	2%	1	1%	5	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「週1回以下」は23%にのびります。国のガイドラインによると、「週1回以下」に該当した人は「閉じこもり傾向」の懸念があります。

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

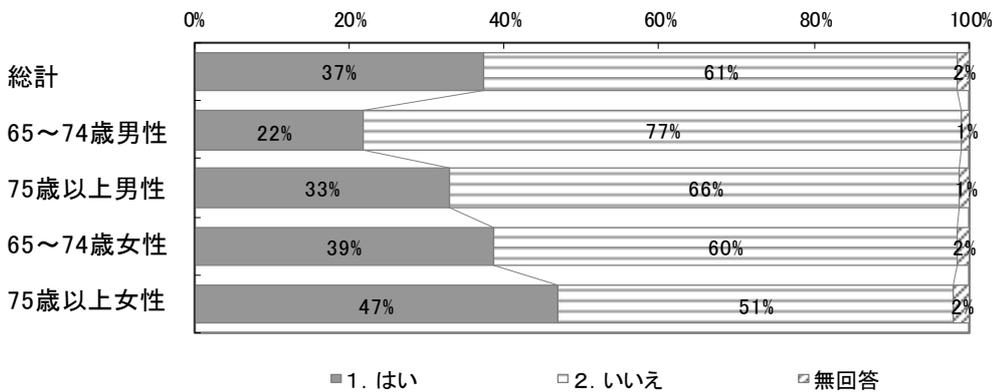
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とても減っている	34	5%	0	0%	8	5%	7	6%	19	8%
2. 減っている	202	32%	26	25%	47	28%	36	30%	93	40%
3. あまり減っていない	201	32%	33	31%	54	32%	42	34%	72	31%
4. 減っていない	190	30%	45	42%	60	35%	35	29%	50	21%
無回答	6	1%	2	2%	1	1%	2	2%	1	0%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「減っている」は4割近くにとのぼります。

(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	236	37%	23	22%	56	33%	47	39%	110	47%
2. いいえ	387	61%	82	77%	112	66%	73	60%	120	51%
無回答	10	2%	1	1%	2	1%	2	2%	5	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

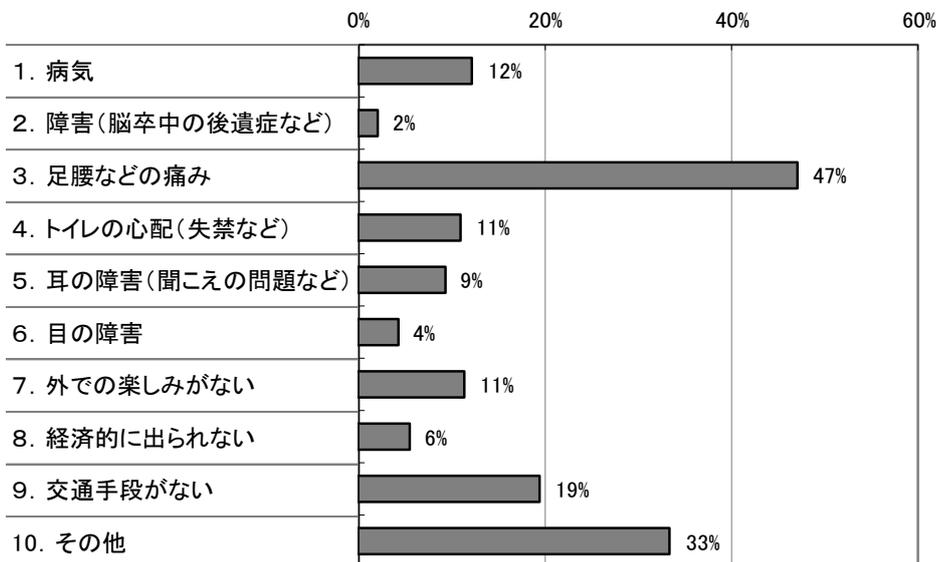


「はい」は4割弱となっており、75歳以上の女性では5割弱にとのぼります。

◆（８）において「１．はい」（外出を控えている）に○をつけた方のみ

① 外出を控えている理由は、次のどれですか。（○はいくつでも）

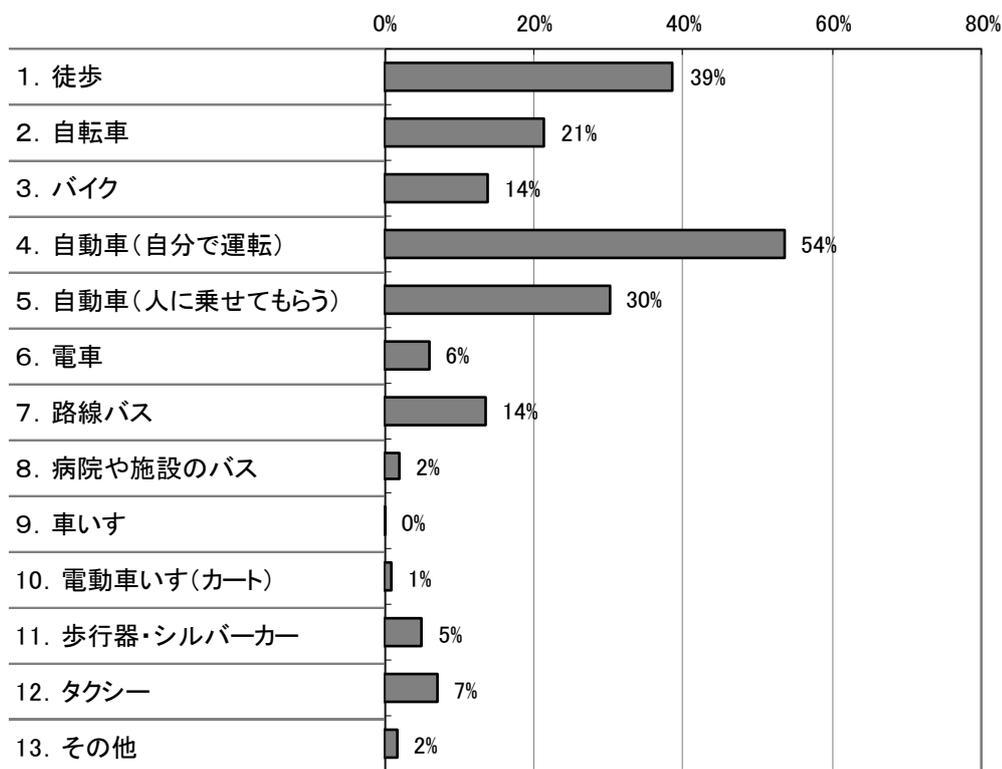
	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 病気	29	12%	4	17%	7	13%	4	9%	14	13%
2. 障害（脳卒中の後遺症など）	5	2%	0	0%	2	4%	0	0%	3	3%
3. 足腰などの痛み	111	47%	1	4%	30	54%	14	30%	66	60%
4. トイレの心配（失禁など）	26	11%	1	4%	6	11%	2	4%	17	15%
5. 耳の障害（聞こえの問題など）	22	9%	0	0%	9	16%	1	2%	12	11%
6. 目の障害	10	4%	0	0%	4	7%	0	0%	6	5%
7. 外での楽しみがない	27	11%	1	4%	6	11%	4	9%	16	15%
8. 経済的に出られない	13	6%	2	9%	4	7%	3	6%	4	4%
9. 交通手段がない	46	19%	0	0%	13	23%	5	11%	28	25%
10. その他	79	33%	15	65%	10	18%	27	57%	27	25%
合計	236	100%	23	100%	56	100%	47	100%	110	100%



外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が約5割と多いほか、65～74歳では「その他」も多くなっています。「その他」の自由記述欄には、「新型コロナの影響のため」という理由が多数書かれていました。

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 徒歩	245	39%	53	50%	54	32%	48	39%	90	38%
2. 自転車	136	21%	25	24%	37	22%	33	27%	41	17%
3. バイク	88	14%	25	24%	30	18%	15	12%	18	8%
4. 自動車(自分で運転)	339	54%	86	81%	117	69%	78	64%	58	25%
5. 自動車(人に乗せてもらう)	191	30%	9	8%	27	16%	43	35%	112	48%
6. 電車	38	6%	5	5%	9	5%	8	7%	16	7%
7. 路線バス	86	14%	8	8%	16	9%	16	13%	46	20%
8. 病院や施設のバス	13	2%	0	0%	2	1%	0	0%	11	5%
9. 車いす	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%
10. 電動車いす(カート)	6	1%	0	0%	1	1%	1	1%	4	2%
11. 歩行器・シルバーカー	32	5%	0	0%	1	1%	0	0%	31	13%
12. タクシー	45	7%	1	1%	6	4%	4	3%	34	14%
13. その他	11	2%	2	2%	5	3%	0	0%	4	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



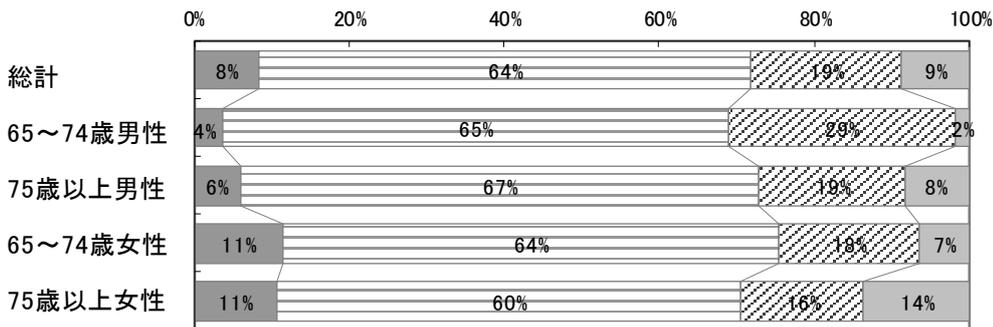
外出する際の移動手段は、「自動車(自分で運転)」が最も多く、「徒歩」、「自動車(人に乗せてもらう)」が続いています。

「路線バス」は75歳以上の女性では2割にのぼり、貴重な交通手段となっていることがわかります。

第3章 食べることについて（問3）

（1）BMI（体重÷身長÷身長）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
18.5未満（低体重）	53	8%	4	4%	10	6%	14	11%	25	11%
18.5～25未満	402	64%	69	65%	114	67%	78	64%	141	60%
25以上（肥満）	122	19%	31	29%	32	19%	22	18%	37	16%
身長または体重が不明	56	9%	2	2%	14	8%	8	7%	32	14%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

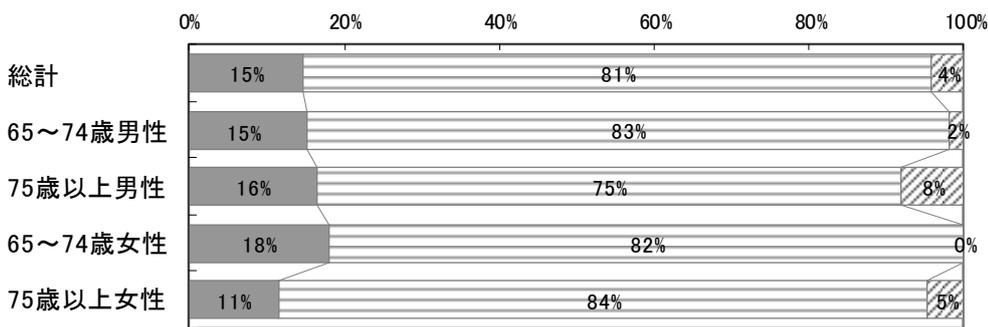


BMIは、18.5未満（低体重）が8%、25以上（肥満）が19%でした。

■ 18.5未満 (低体重) □ 18.5～25未満 ▨ 25以上 (肥満) ▩ 身長または体重が不明

（2）6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	93	15%	16	15%	28	16%	22	18%	27	11%
2. いいえ	513	81%	88	83%	128	75%	100	82%	197	84%
無回答	27	4%	2	2%	14	8%	0	0%	11	5%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

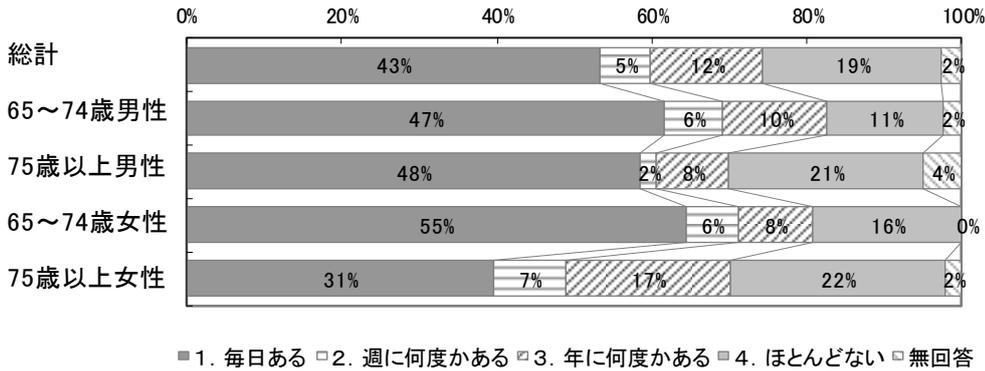


■ 1. はい □ 2. いいえ ▨ 無回答

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったという回答は15%となっています。

(3) どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

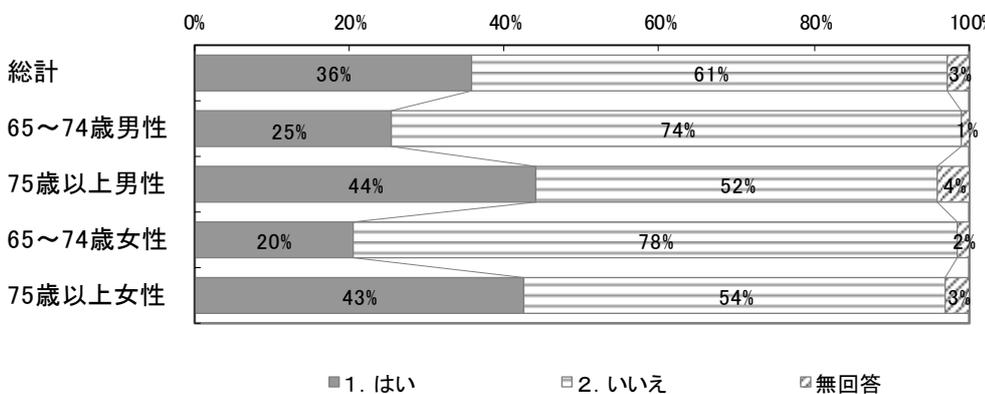
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 毎日ある	272	43%	50	47%	82	48%	67	55%	73	31%
2. 週に何度かある	33	5%	6	6%	3	2%	7	6%	17	7%
3. 年に何度かある	73	12%	11	10%	13	8%	10	8%	39	17%
4. ほとんどない	118	19%	12	11%	35	21%	20	16%	51	22%
無回答	13	2%	2	2%	7	4%	0	0%	4	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



誰かと食事をとる機会が「ほとんどない」は19%、「年に何度かある」は12%で、特に75歳以上の女性ではあわせて39%にのびます。

(4) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(○は1つ)

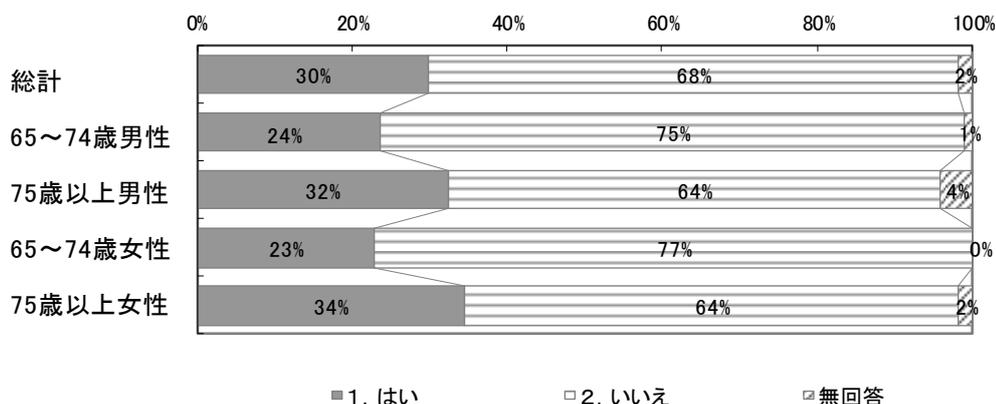
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	227	36%	27	25%	75	44%	25	20%	100	43%
2. いいえ	389	61%	78	74%	88	52%	95	78%	128	54%
無回答	17	3%	1	1%	7	4%	2	2%	7	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「はい」は36%で、男女とも、75歳以上の方で割合が高くなっています。国のガイドラインによると、「はい」の回答者は、そしやく機能の低下の懸念があります。

(5) お茶や汁物等でむせることがありますか。(〇は1つ)

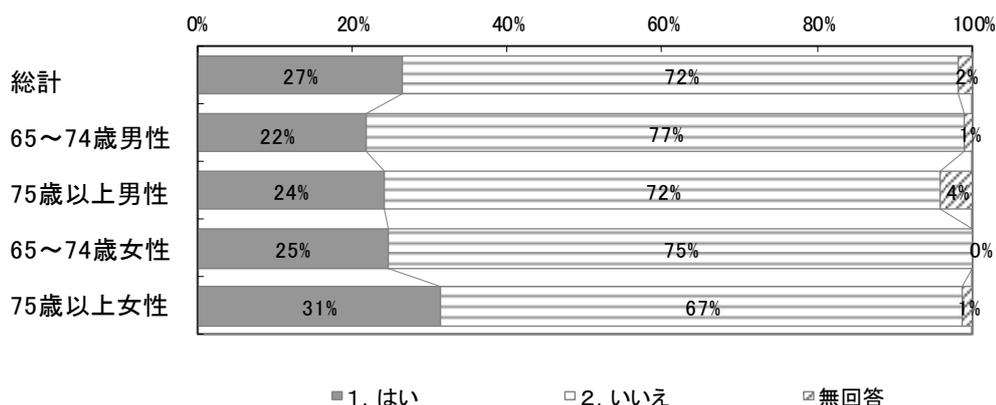
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	189	30%	25	24%	55	32%	28	23%	81	34%
2. いいえ	432	68%	80	75%	108	64%	94	77%	150	64%
無回答	12	2%	1	1%	7	4%	0	0%	4	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「はい」は30%で、男女とも、75歳以上の方で割合が高くなっています。

(6) 口の渇きが気になりますか。(〇は1つ)

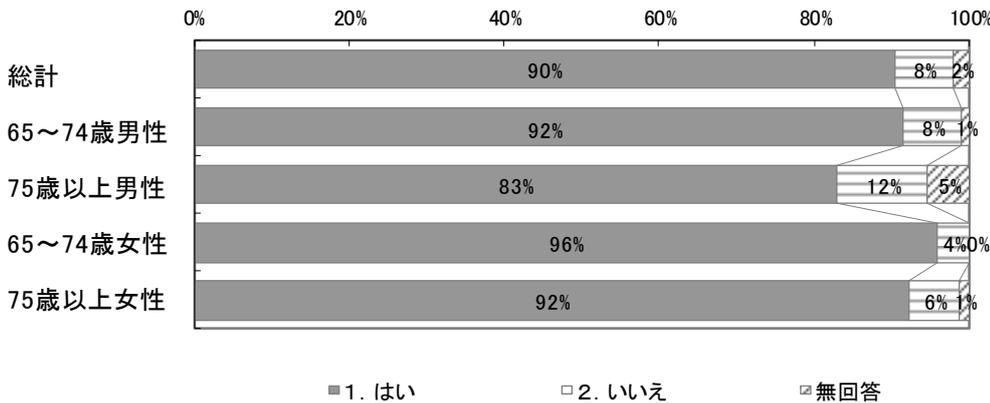
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	168	27%	23	22%	41	24%	30	25%	74	31%
2. いいえ	454	72%	82	77%	122	72%	92	75%	158	67%
無回答	11	2%	1	1%	7	4%	0	0%	3	1%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「はい」は27%となっています。

(7) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）

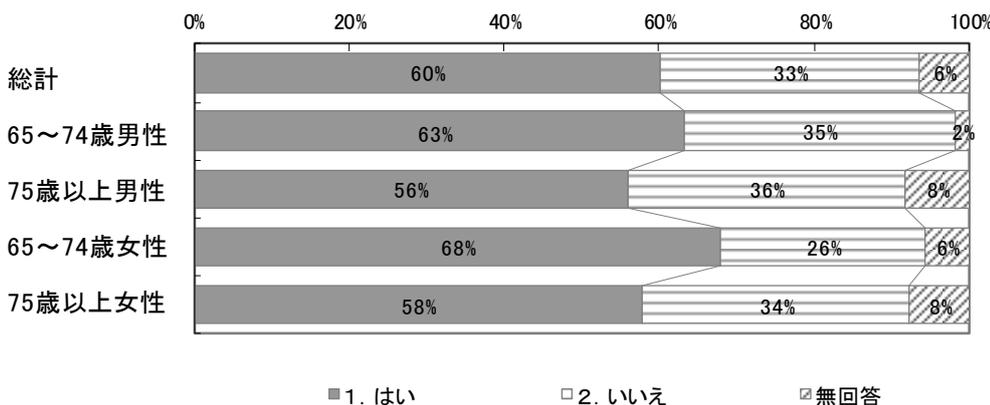
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	572	90%	97	92%	141	83%	117	96%	217	92%
2. いいえ	48	8%	8	8%	20	12%	5	4%	15	6%
無回答	13	2%	1	1%	9	5%	0	0%	3	1%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



歯磨きを「毎日していない」は8%で、75歳以上の男性でやや割合が高くなっています。

(8) 噛み合わせは良いですか。（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	381	60%	67	63%	95	56%	83	68%	136	58%
2. いいえ	211	33%	37	35%	61	36%	32	26%	81	34%
無回答	41	6%	2	2%	14	8%	7	6%	18	8%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

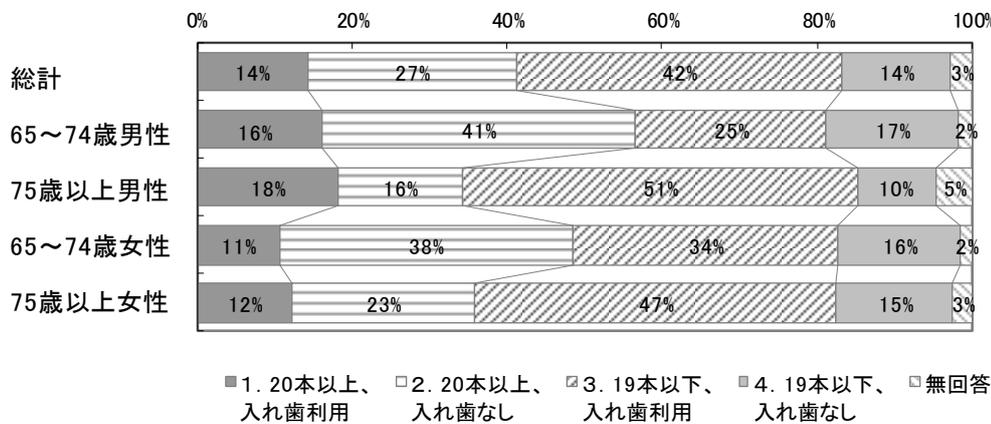


噛み合わせが「良くない」という回答は33%です。

(9) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自分の歯は20本以上、 かつ入れ歯を利用	90	14%	17	16%	31	18%	13	11%	29	12%
2. 自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし	171	27%	43	41%	27	16%	46	38%	55	23%
3. 自分の歯は19本以下、 かつ入れ歯を利用	265	42%	26	25%	87	51%	42	34%	110	47%
4. 自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし	89	14%	18	17%	17	10%	19	16%	35	15%
無回答	18	3%	2	2%	8	5%	2	2%	6	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

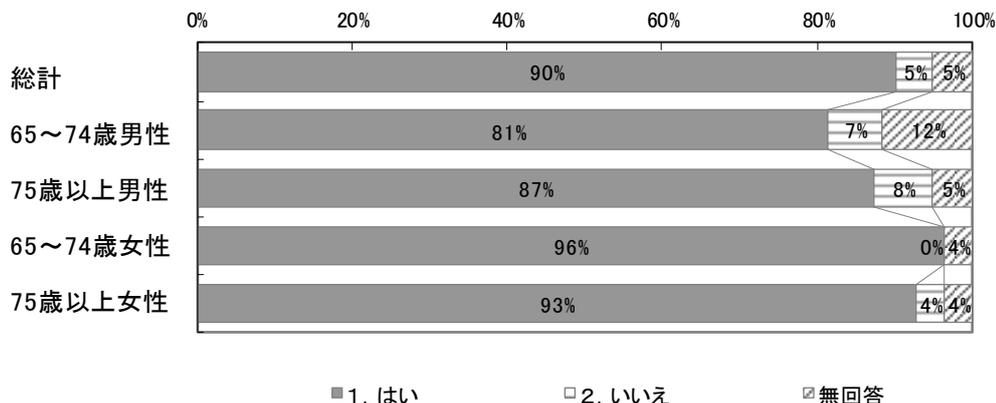


「自分の歯が19本以下」は6割近くにのびります。
また、入れ歯の利用者（選択肢1・3）も6割近くにのびります。

◆【(9) において「1.」または「3.」(入れ歯を利用している) に○をつけた方のみ】

① 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	320	90%	35	81%	103	87%	53	96%	129	93%
2. いいえ	17	5%	3	7%	9	8%	0	0%	5	4%
無回答	18	5%	5	12%	6	5%	2	4%	5	4%
合計	355	100%	43	100%	118	100%	55	100%	139	100%

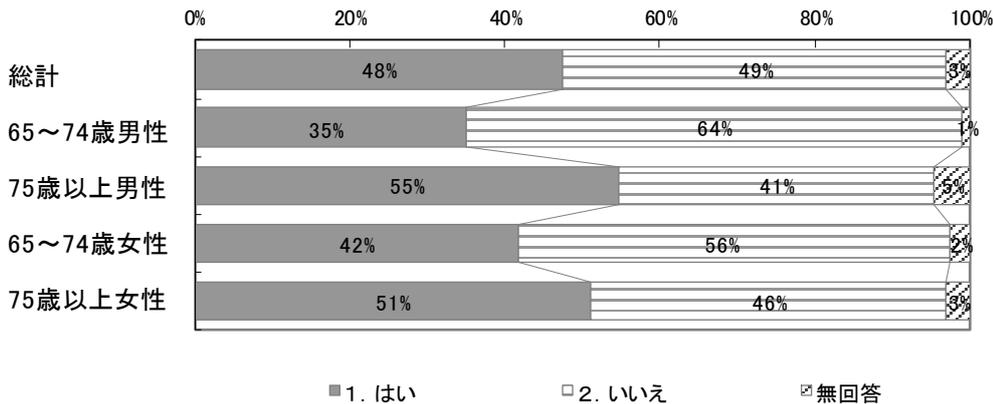


「入れ歯の手入れを毎日していない」という回答は5%みられました。

第4章 毎日の生活について（問4）

（1）物忘れが多いと感じますか（○は1つ）

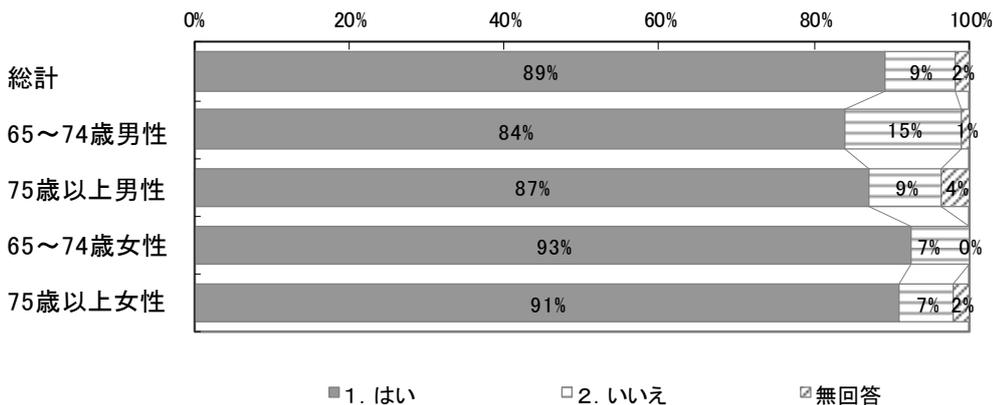
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	301	48%	37	35%	93	55%	51	42%	120	51%
2. いいえ	313	49%	68	64%	69	41%	68	56%	108	46%
無回答	19	3%	1	1%	8	5%	3	2%	7	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「はい」は48%と高い割合になっています。
 国のガイドラインによると、「はい」の人は認知機能の低下の懸念があります。

（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（○は1つ）

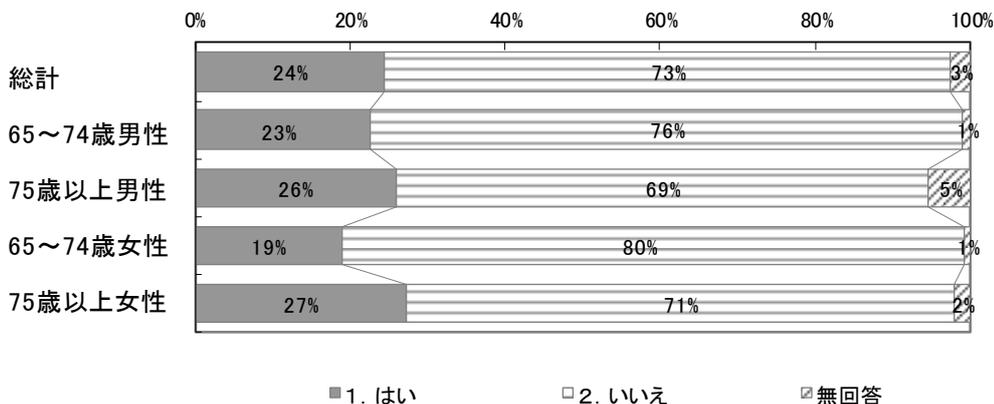
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	564	89%	89	84%	148	87%	113	93%	214	91%
2. いいえ	57	9%	16	15%	16	9%	9	7%	16	7%
無回答	12	2%	1	1%	6	4%	0	0%	5	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は9%です。

(3) 今日が何月何日か、わからないときがありますか。(○は1つ)

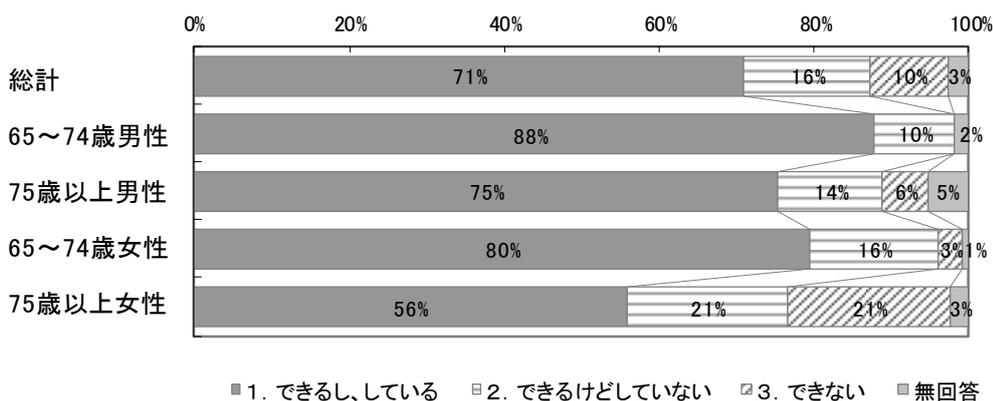
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	155	24%	24	23%	44	26%	23	19%	64	27%
2. いいえ	462	73%	81	76%	117	69%	98	80%	166	71%
無回答	16	3%	1	1%	9	5%	1	1%	5	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「はい」は24%です。

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)

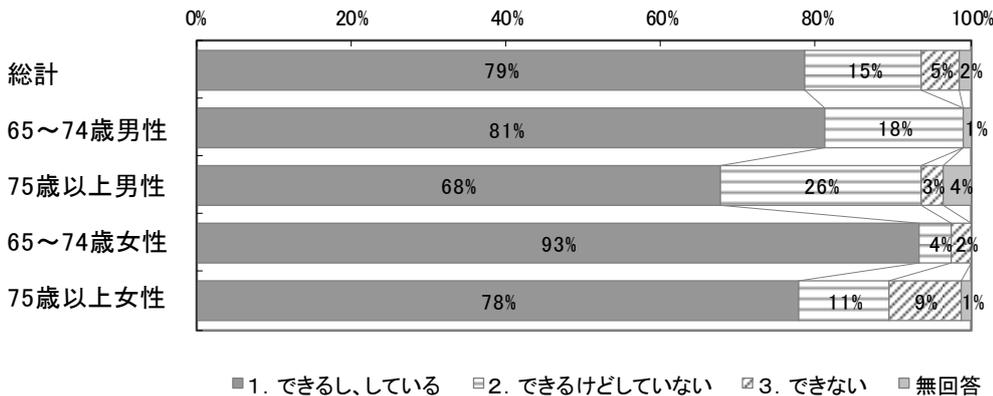
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	449	71%	93	88%	128	75%	97	80%	131	56%
2. できるけどしていない	103	16%	11	10%	23	14%	20	16%	49	21%
3. できない	63	10%	0	0%	10	6%	4	3%	49	21%
無回答	18	3%	2	2%	9	5%	1	1%	6	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



問4の(4)～(8)はIADL(手段的日常生活動作能力～食事や排泄などのADL(日常生活動作)に対し、買物・電話・外出などADLよりも高い自立した日常生活をおくる能力を指す～)の低下を問う設問です。
 (4)の「バスや電車を使っての1人での外出」が「できない」は10%で、75歳以上の女性では21%とやや高い割合になっています。

(5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(〇は1つ)

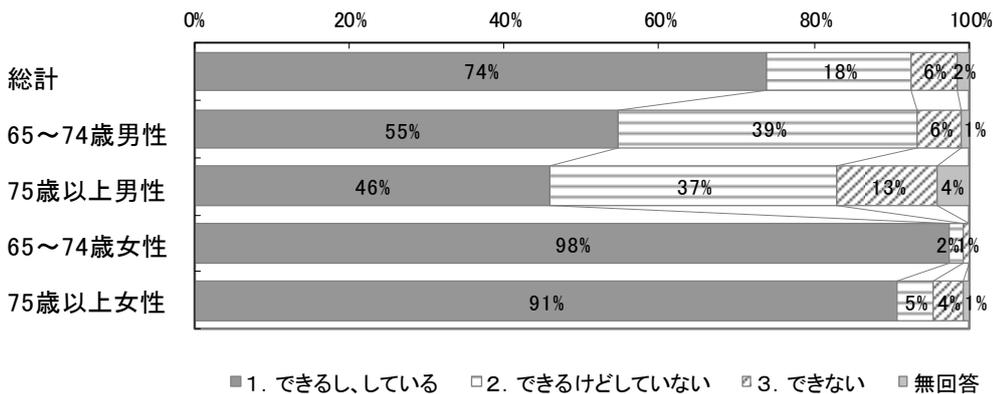
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	498	79%	86	81%	115	68%	114	93%	183	78%
2. できるけどしていない	95	15%	19	18%	44	26%	5	4%	27	11%
3. できない	30	5%	0	0%	5	3%	3	2%	22	9%
無回答	10	2%	1	1%	6	4%	0	0%	3	1%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「できない」は5%です。

(6) 自分で食事の用意をしていますか。(〇は1つ)

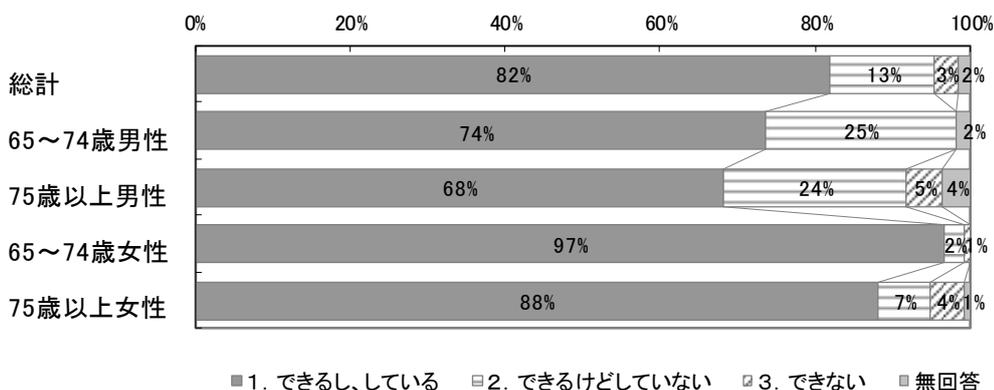
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	468	74%	58	55%	78	46%	119	98%	213	91%
2. できるけどしていない	117	18%	41	39%	63	37%	2	2%	11	5%
3. できない	38	6%	6	6%	22	13%	1	1%	9	4%
無回答	10	2%	1	1%	7	4%	0	0%	2	1%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「できない」は6%です。
「できない」は女性より男性の方が、割合が高くなっています。

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(〇は1つ)

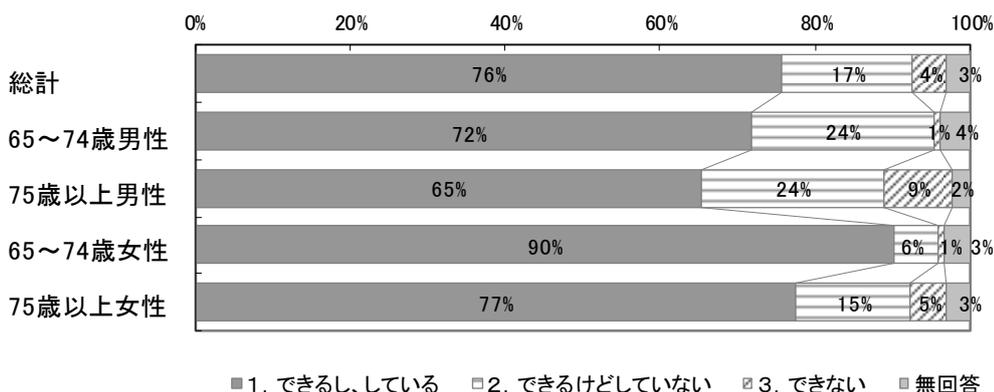
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	519	82%	78	74%	116	68%	118	97%	207	88%
2. できるけどしていない	85	13%	26	25%	40	24%	3	2%	16	7%
3. できない	19	3%	0	0%	8	5%	1	1%	10	4%
無回答	10	2%	2	2%	6	4%	0	0%	2	1%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「できない」は3%です。

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(〇は1つ)

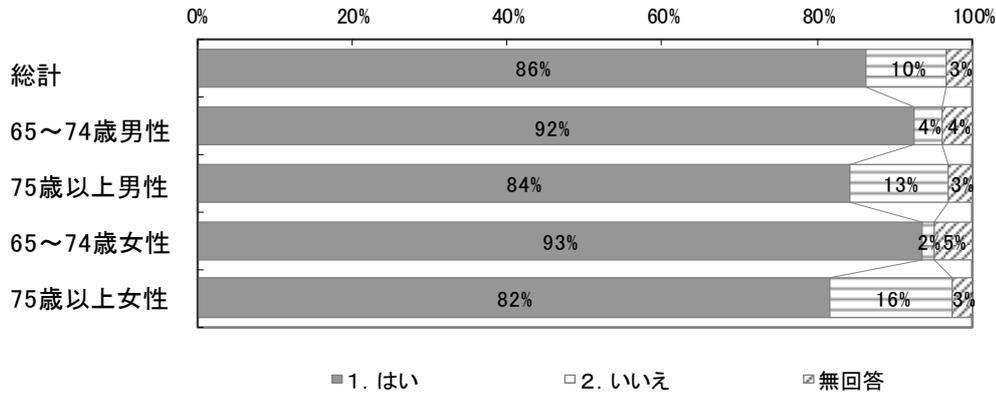
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	479	76%	76	72%	111	65%	110	90%	182	77%
2. できるけどしていない	107	17%	25	24%	40	24%	7	6%	35	15%
3. できない	28	4%	1	1%	15	9%	1	1%	11	5%
無回答	19	3%	4	4%	4	2%	4	3%	7	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「できない」は4%です。
 (4)～(8)の5項目は、老研式活動能力指標の手段的自立度の評価項目で、「できない」場合、自立度が低下しているとされます。

(9) 年金などの書類（役場や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ）

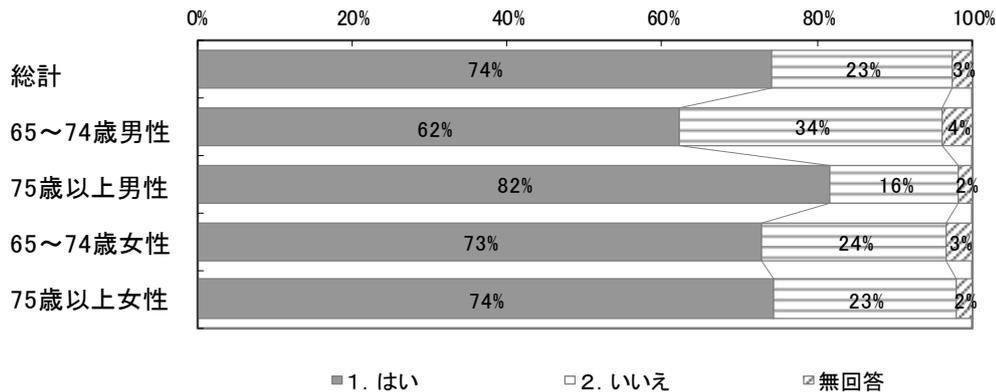
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	547	86%	98	92%	143	84%	114	93%	192	82%
2. いいえ	65	10%	4	4%	22	13%	2	2%	37	16%
無回答	21	3%	4	4%	5	3%	6	5%	6	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は10%で、75歳以上の女性は16%と割合がやや高くなっています。

(10) 新聞を読んでいますか。（○は1つ）

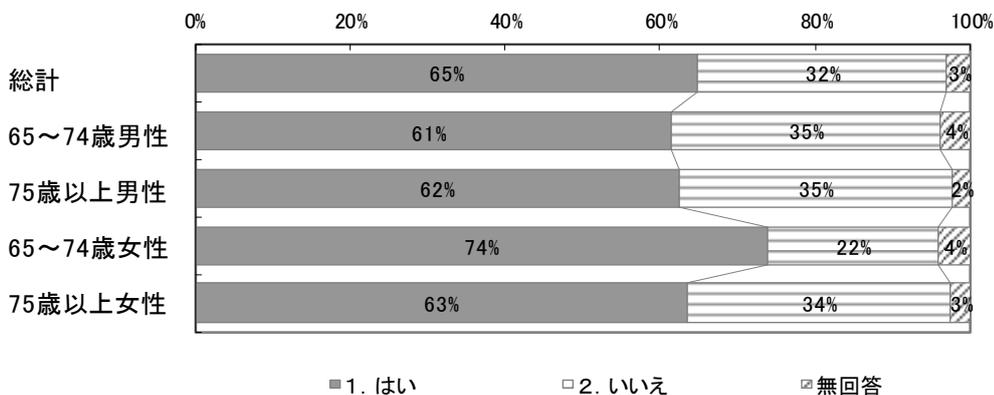
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	469	74%	66	62%	139	82%	89	73%	175	74%
2. いいえ	148	23%	36	34%	28	16%	29	24%	55	23%
無回答	16	3%	4	4%	3	2%	4	3%	5	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は23%で、65～74歳の男性は34%と割合が高くなっています。

(11) 本や雑誌を読んでいますか。(〇は1つ)

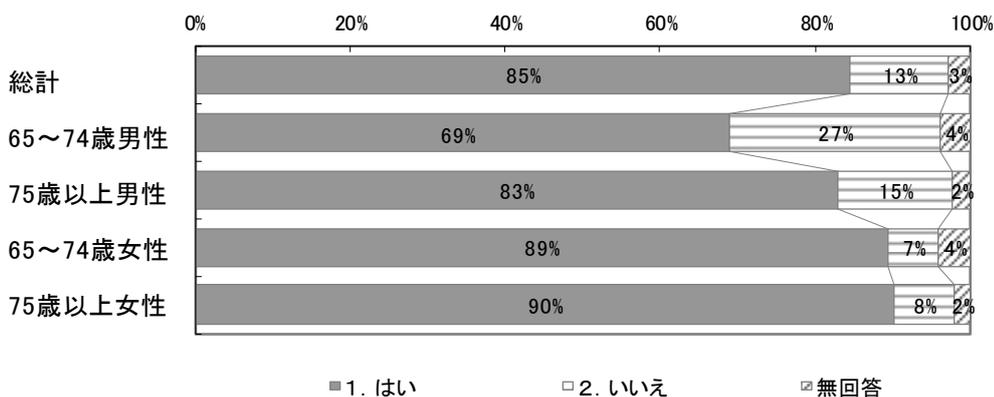
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	410	65%	65	61%	106	62%	90	74%	149	63%
2. いいえ	204	32%	37	35%	60	35%	27	22%	80	34%
無回答	19	3%	4	4%	4	2%	5	4%	6	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は32%で、65～74歳の女性は22%と割合が低くなっています。

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(〇は1つ)

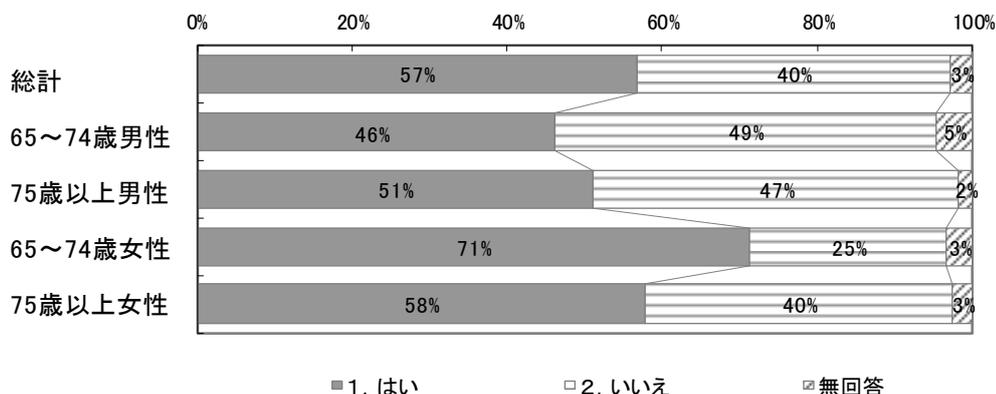
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	535	85%	73	69%	141	83%	109	89%	212	90%
2. いいえ	80	13%	29	27%	25	15%	8	7%	18	8%
無回答	18	3%	4	4%	4	2%	5	4%	5	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は13%となっています。
 (9)～(12)の4項目は老研式活動能力指標の知的能動性(余暇や創作など生活を楽しむ能力)の評価項目で、「いいえ」がある場合、知的能動性が低下しているとされます。

(13) 友人の家を訪ねていますか。(〇は1つ)

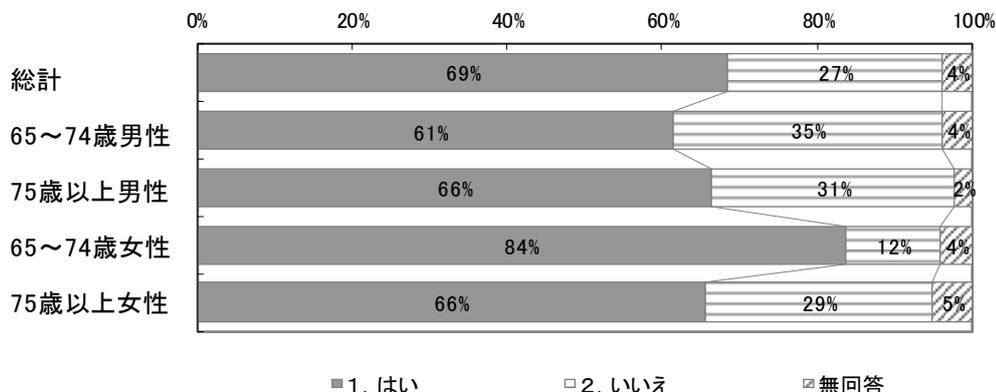
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	359	57%	49	46%	87	51%	87	71%	136	58%
2. いいえ	256	40%	52	49%	80	47%	31	25%	93	40%
無回答	18	3%	5	5%	3	2%	4	3%	6	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は40%となっています。女性より男性の方が、「いいえ」の割合が高くなっています。

(14) 家族や友人の相談にのっていますか。(〇は1つ)

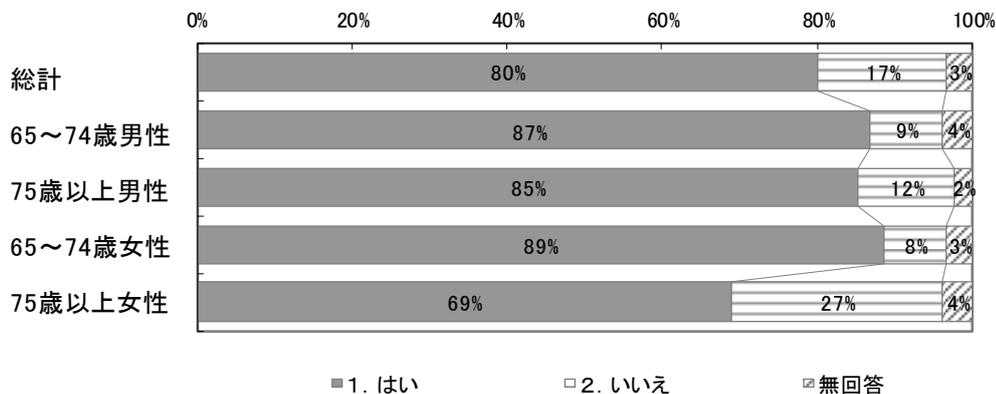
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	434	69%	65	61%	113	66%	102	84%	154	66%
2. いいえ	174	27%	37	35%	53	31%	15	12%	69	29%
無回答	25	4%	4	4%	4	2%	5	4%	12	5%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は27%となっています。65～74歳の女性は、「いいえ」の割合が低い傾向がみられます。

(15) 病人を見舞うことができますか。(〇は1つ)

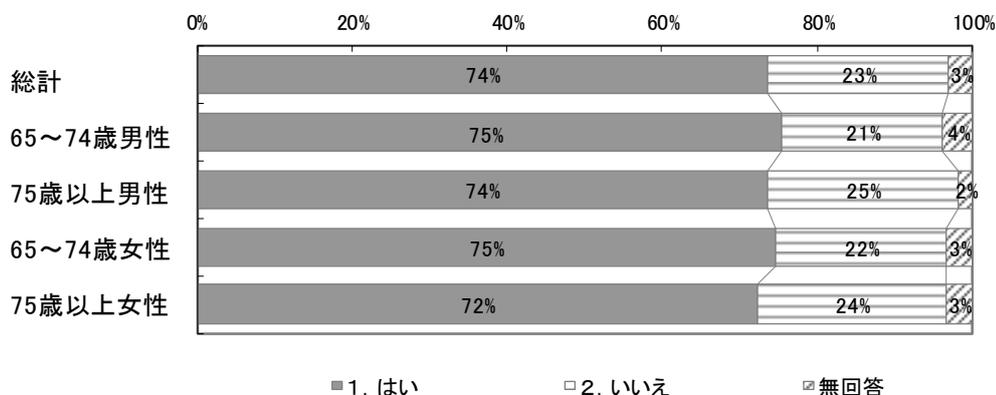
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	507	80%	92	87%	145	85%	108	89%	162	69%
2. いいえ	105	17%	10	9%	21	12%	10	8%	64	27%
無回答	21	3%	4	4%	4	2%	4	3%	9	4%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は17%となっています。75歳以上の女性で「いいえ」の割合が高い傾向がみられます。

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(〇は1つ)

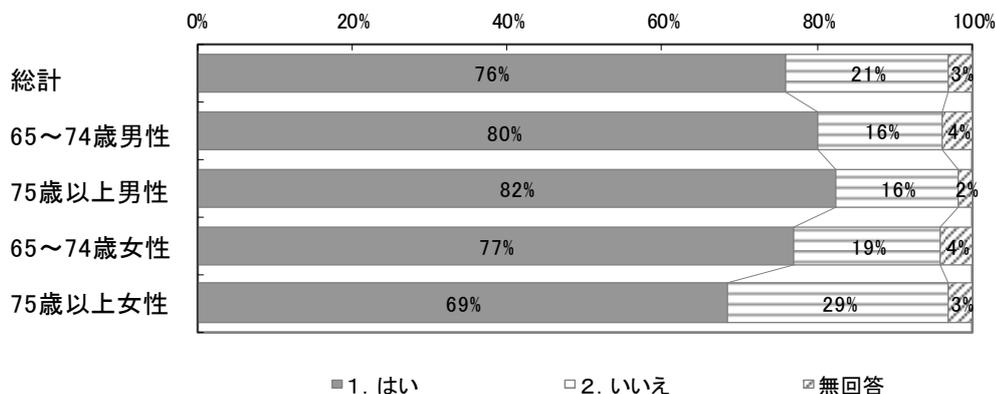
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	466	74%	80	75%	125	74%	91	75%	170	72%
2. いいえ	148	23%	22	21%	42	25%	27	22%	57	24%
無回答	19	3%	4	4%	3	2%	4	3%	8	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は23%となっています。
 (13)～(16)の4項目は老研式活動能力指標の社会的役割の評価項目で、「いいえ」がある場合、社会的役割が低下しているとされます。

(17) 趣味はありますか。(〇は1つ)

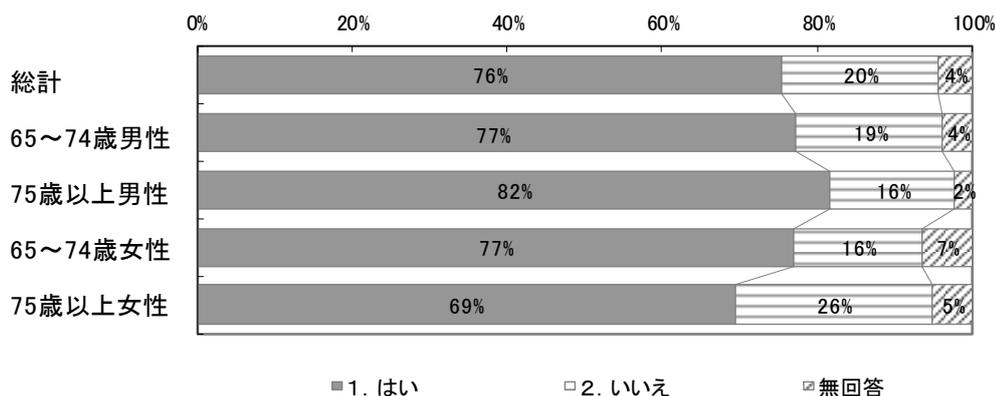
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	480	76%	85	80%	140	82%	94	77%	161	69%
2. いいえ	134	21%	17	16%	27	16%	23	19%	67	29%
無回答	19	3%	4	4%	3	2%	5	4%	7	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は
21%です。

(18) 生きがいはありますか。(〇は1つ)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	478	76%	82	77%	139	82%	94	77%	163	69%
2. いいえ	127	20%	20	19%	27	16%	20	16%	60	26%
無回答	28	4%	4	4%	4	2%	8	7%	12	5%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「いいえ」は
20%です。

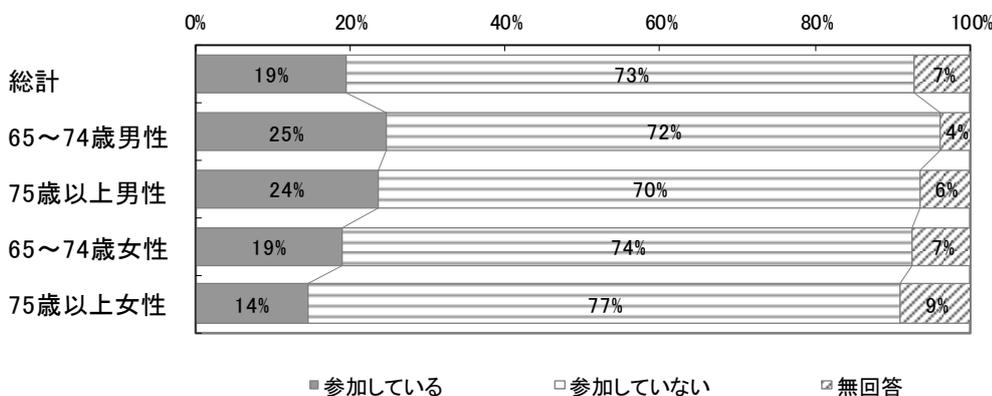
第5章 地域での活動について（問5）

（1）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧のそれぞれに回答してください。

① ボランティアのグループ

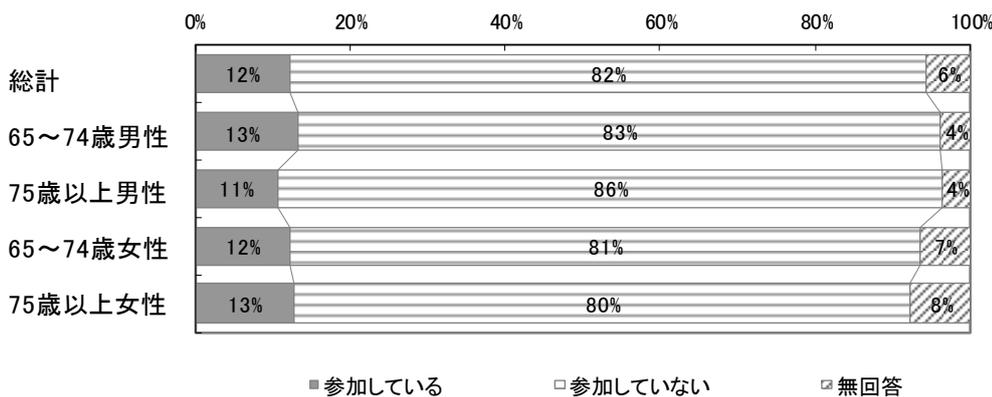
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	2	0%	0	0%	1	1%	0	0%	1	0%
週2～3回	5	1%	1	1%	1	1%	1	1%	2	1%
週1回	8	1%	0	0%	1	1%	1	1%	6	3%
月1～3回	22	3%	3	3%	3	2%	9	7%	7	3%
年に数回	86	14%	22	21%	34	20%	12	10%	18	8%
参加していない	465	73%	76	72%	119	70%	90	74%	180	77%
無回答	45	7%	4	4%	11	6%	9	7%	21	9%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「参加している」は19%です。

② スポーツ関係のグループやクラブ

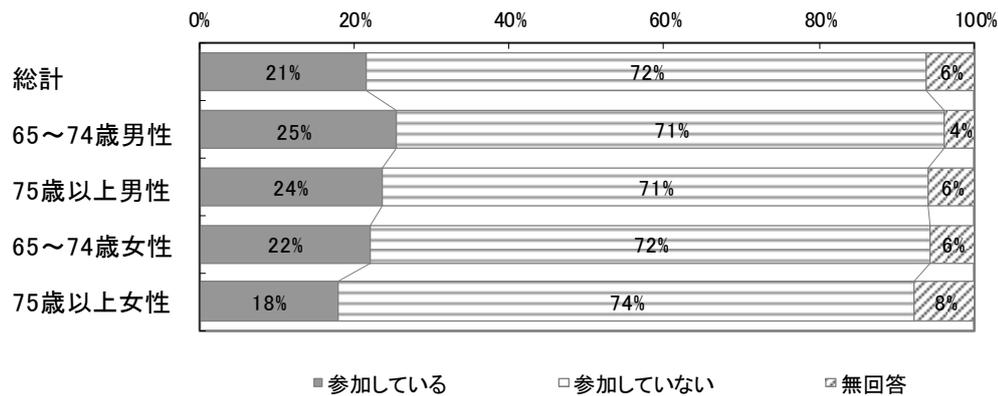
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	8	1%	3	3%	1	1%	3	2%	1	0%
週2～3回	32	5%	4	4%	11	6%	3	2%	14	6%
週1回	21	3%	4	4%	2	1%	5	4%	10	4%
月1～3回	10	2%	2	2%	4	2%	2	2%	2	1%
年に数回	6	1%	1	1%	0	0%	2	2%	3	1%
参加していない	520	82%	88	83%	146	86%	99	81%	187	80%
無回答	36	6%	4	4%	6	4%	8	7%	18	8%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「参加している」は12%です。

③ 趣味関係のグループ

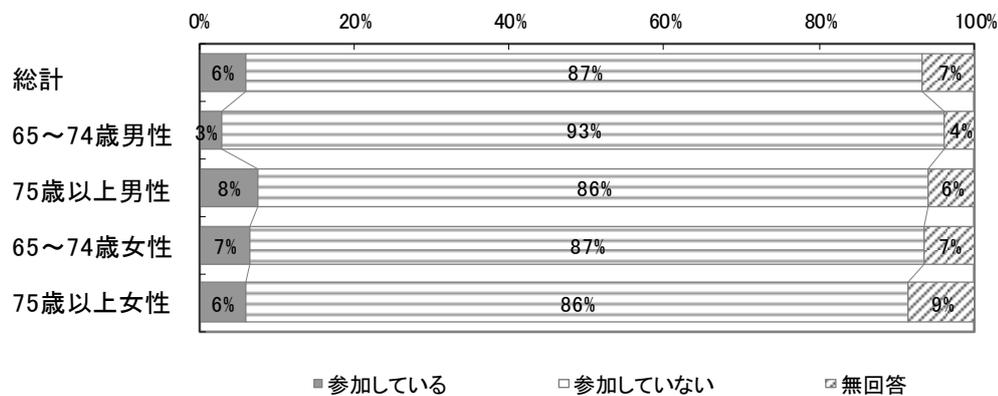
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	11	2%	1	1%	5	3%	1	1%	4	2%
週2～3回	19	3%	6	6%	9	5%	3	2%	1	0%
週1回	37	6%	4	4%	7	4%	8	7%	18	8%
月1～3回	32	5%	6	6%	3	2%	11	9%	12	5%
年に数回	37	6%	10	9%	16	9%	4	3%	7	3%
参加していない	458	72%	75	71%	120	71%	88	72%	175	74%
無回答	39	6%	4	4%	10	6%	7	6%	18	8%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「参加している」は21%です。

④ 学習・教養サークル

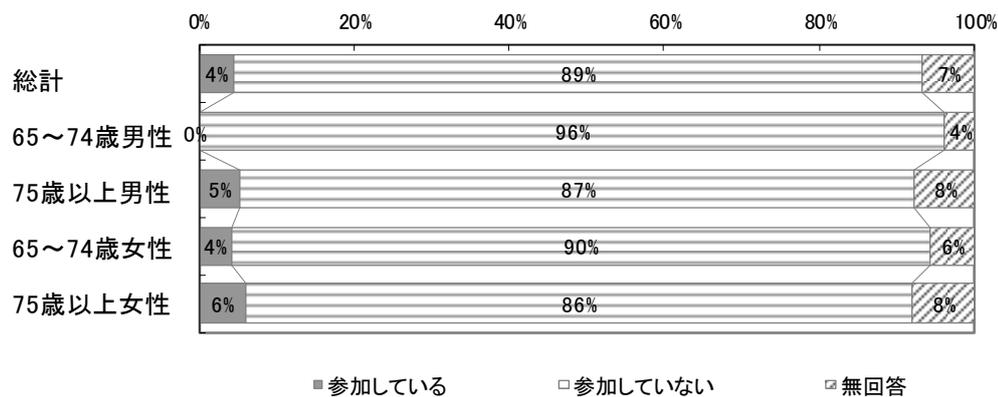
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%
週2～3回	2	0%	0	0%	0	0%	1	1%	1	0%
週1回	10	2%	1	1%	3	2%	2	2%	4	2%
月1～3回	7	1%	1	1%	2	1%	2	2%	2	1%
年に数回	18	3%	1	1%	8	5%	3	2%	6	3%
参加していない	553	87%	99	93%	147	86%	106	87%	201	86%
無回答	42	7%	4	4%	10	6%	8	7%	20	9%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「参加している」は6%です。

⑤ (お元気プロジェクトなど) 介護予防のための通いの場

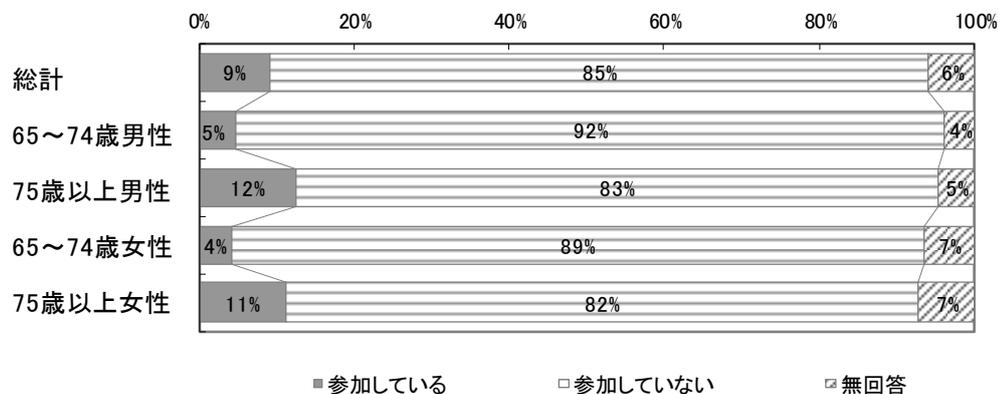
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	2	0%	0	0%	2	1%	0	0%	0	0%
週2～3回	4	1%	0	0%	0	0%	1	1%	3	1%
週1回	12	2%	0	0%	3	2%	2	2%	7	3%
月1～3回	4	1%	0	0%	2	1%	1	1%	1	0%
年に数回	6	1%	0	0%	2	1%	1	1%	3	1%
参加していない	562	89%	102	96%	148	87%	110	90%	202	86%
無回答	43	7%	4	4%	13	8%	7	6%	19	8%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「参加している」は4%です。65～75歳の男性の参加はありませんでした。

⑥ 老人クラブ

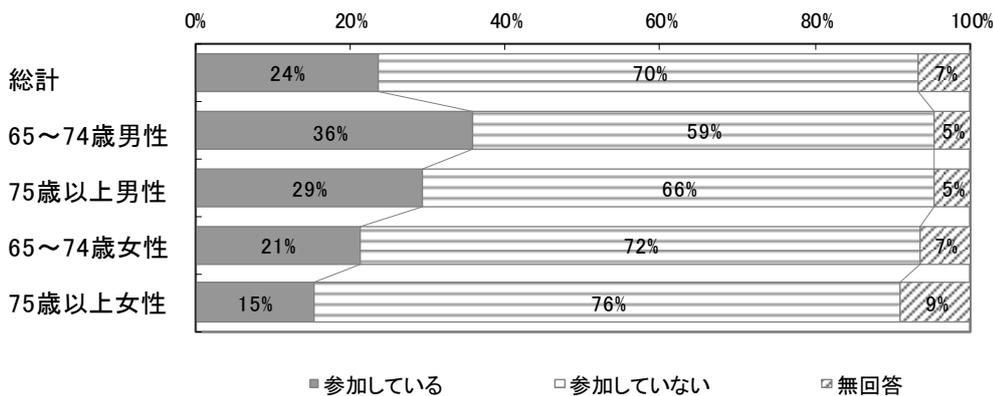
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
週2～3回	2	0%	0	0%	2	1%	0	0%	0	0%
週1回	3	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	1%
月1～3回	4	1%	1	1%	1	1%	1	1%	1	0%
年に数回	48	8%	4	4%	18	11%	4	3%	22	9%
参加していない	539	85%	97	92%	141	83%	109	89%	192	82%
無回答	37	6%	4	4%	8	5%	8	7%	17	7%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「参加している」は9%で、75歳以上の高齢者の参加率が高くなっています。

⑦ 町内会・自治会

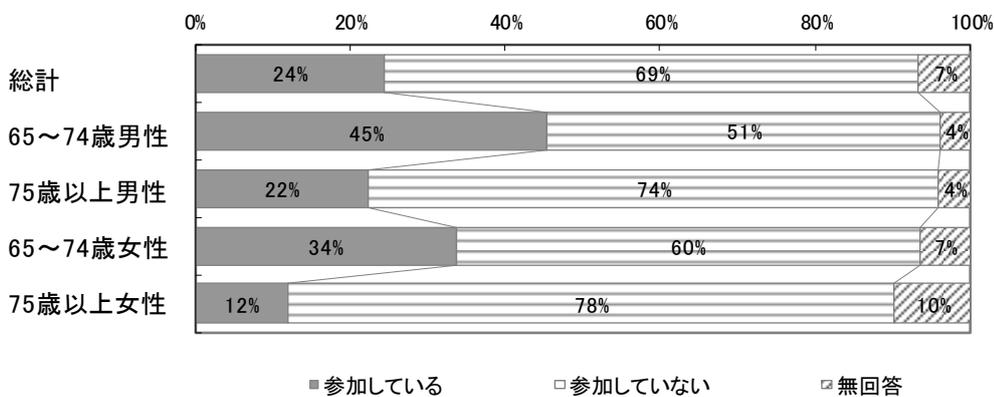
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%
週2～3回	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
週1回	3	0%	2	2%	0	0%	0	0%	1	0%
月1～3回	11	2%	3	3%	3	2%	3	2%	2	1%
年に数回	135	21%	33	31%	47	28%	23	19%	32	14%
参加していない	441	70%	63	59%	112	66%	88	72%	178	76%
無回答	42	7%	5	5%	8	5%	8	7%	21	9%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「参加している」は24%です。女性より男性の方が、また、年齢の低い層の方が参加率が高い傾向がみられます。

⑧ 収入のある仕事

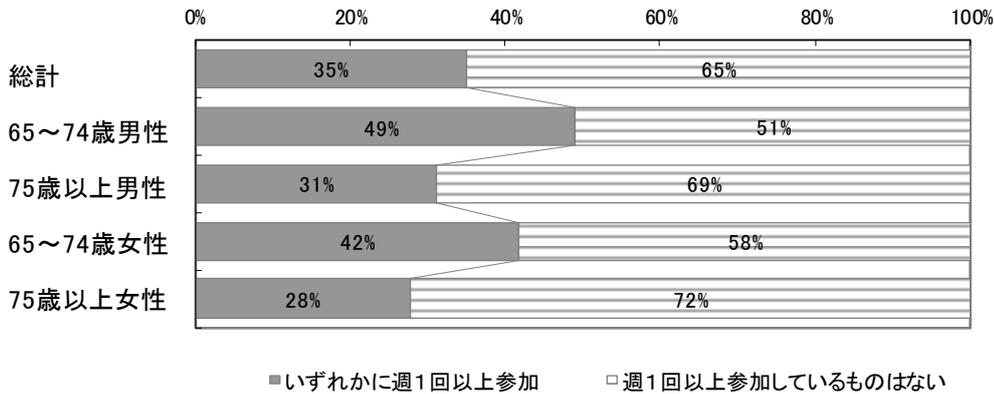
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	67	11%	27	25%	11	6%	19	16%	10	4%
週2～3回	30	5%	7	7%	7	4%	9	7%	7	3%
週1回	4	1%	0	0%	1	1%	0	0%	3	1%
月1～3回	13	2%	4	4%	4	2%	2	2%	3	1%
年に数回	41	6%	10	9%	15	9%	11	9%	5	2%
参加していない	436	69%	54	51%	125	74%	73	60%	184	78%
無回答	42	7%	4	4%	7	4%	8	7%	23	10%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「参加している」(働いている)は24%で、65～74歳の男性では、45%と高い割合になっています。

①～⑧のいずれかへの、週1回以上の参加の有無〔再集計〕

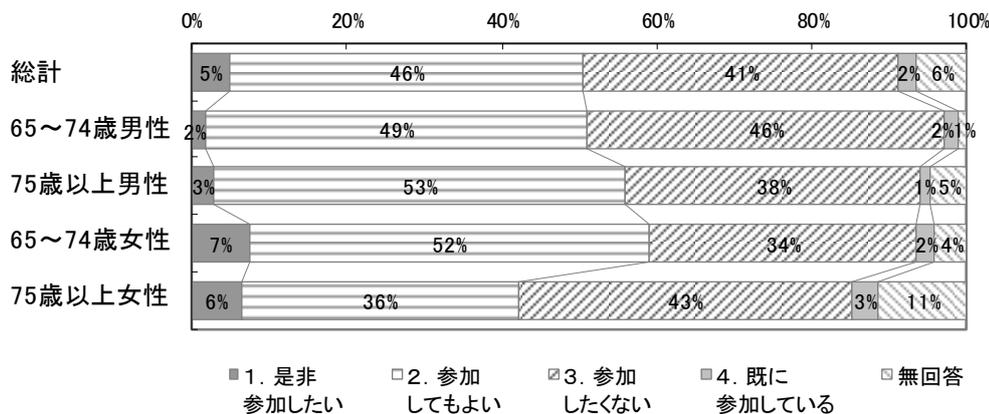
	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いずれかに週1回以上参加	221	35%	52	49%	53	31%	51	42%	65	28%
週1回以上参加しているものはない	412	65%	54	51%	117	69%	71	58%	170	72%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



①～⑧のいずれかへの、週1回以上の参加の有無をみたところ、「参加している」は35%で、65～74歳の男性では、49%と高い割合になっています。

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

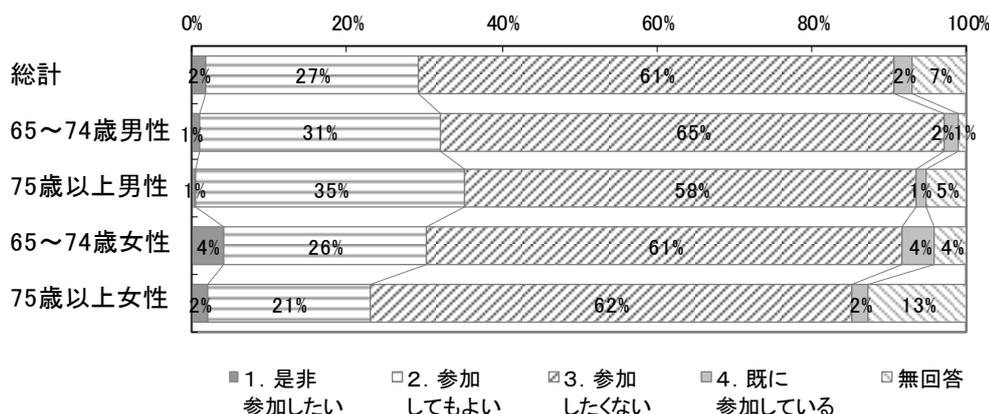
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	31	5%	2	2%	5	3%	9	7%	15	6%
2. 参加してもよい	289	46%	52	49%	90	53%	63	52%	84	36%
3. 参加したくない	257	41%	49	46%	65	38%	42	34%	101	43%
4. 既に参加している	15	2%	2	2%	2	1%	3	2%	8	3%
無回答	41	6%	1	1%	8	5%	5	4%	27	11%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「有志による地域づくり活動への参加」は、「既に参加している」は2%とわずかですが、「参加したい・してもよい」は約5割となっています。

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	12	2%	1	1%	1	1%	5	4%	5	2%
2. 参加してもよい	173	27%	33	31%	59	35%	32	26%	49	21%
3. 参加したくない	389	61%	69	65%	99	58%	75	61%	146	62%
4. 既に参加している	14	2%	2	2%	2	1%	5	4%	5	2%
無回答	45	7%	1	1%	9	5%	5	4%	30	13%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

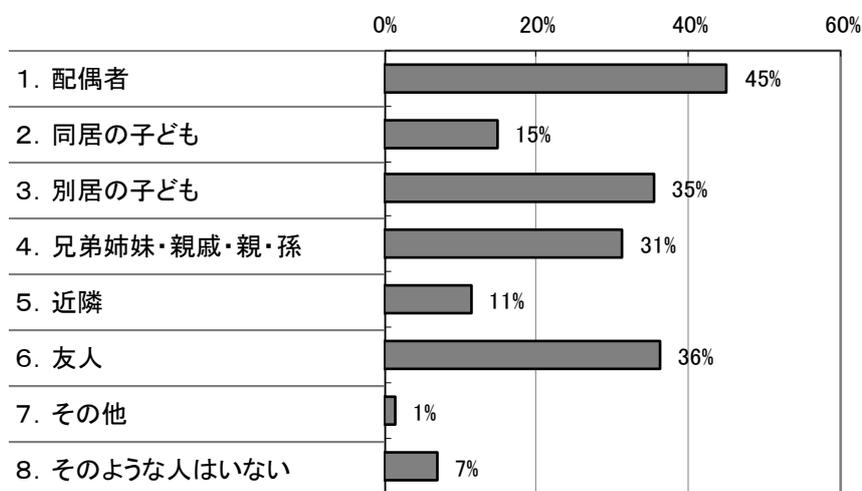


「有志による地域づくり活動の企画・運営」に、「参加したい・してもよい」は約3割となっています。

第6章 たすけあいについて（問6）

（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。（○はいくつでも）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者	285	45%	63	59%	96	56%	60	49%	66	28%
2. 同居の子ども	94	15%	8	8%	25	15%	21	17%	40	17%
3. 別居の子ども	224	35%	18	17%	51	30%	48	39%	107	46%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	198	31%	20	19%	36	21%	57	47%	85	36%
5. 近隣	72	11%	5	5%	15	9%	14	11%	38	16%
6. 友人	229	36%	27	25%	38	22%	72	59%	92	39%
7. その他	9	1%	2	2%	5	3%	1	1%	1	0%
8. そのような人はいない	44	7%	13	12%	11	6%	6	5%	14	6%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

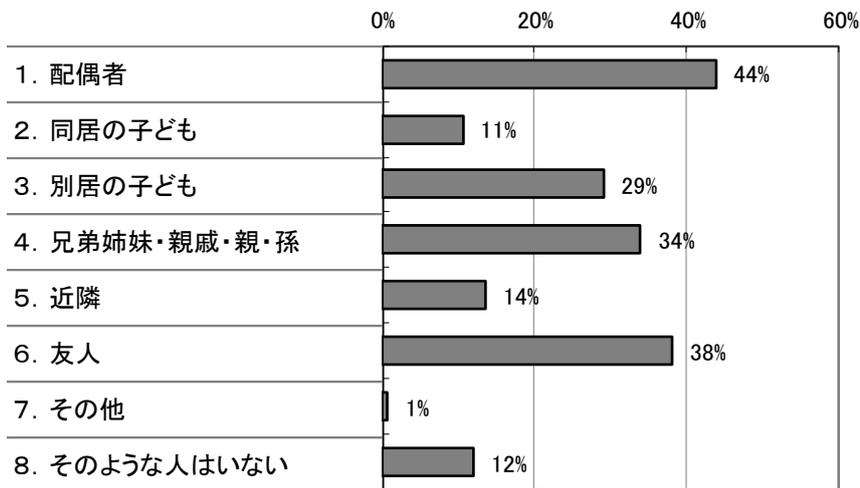


「心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人」は、「配偶者」のほか、「友人」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などがあがっています。

（2）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも）

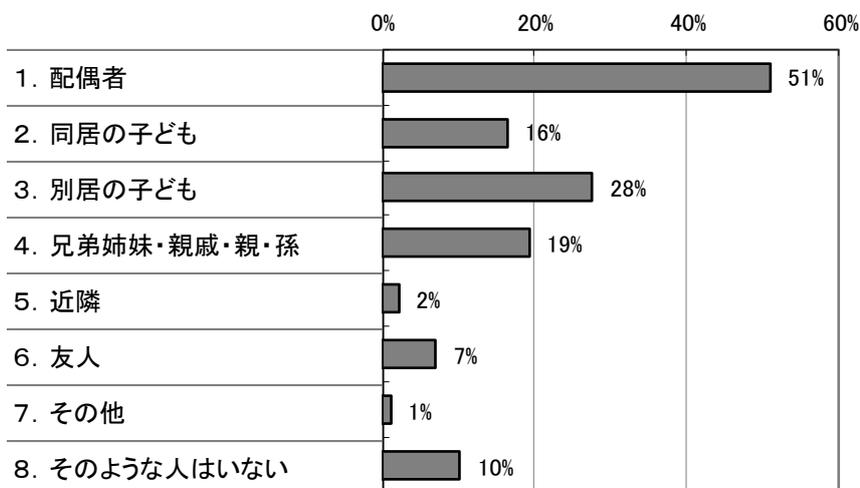
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者	277	44%	66	62%	101	59%	56	46%	54	23%
2. 同居の子ども	67	11%	5	5%	18	11%	19	16%	25	11%
3. 別居の子ども	184	29%	15	14%	45	26%	40	33%	84	36%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	215	34%	24	23%	43	25%	62	51%	86	37%
5. 近隣	86	14%	10	9%	23	14%	17	14%	36	15%
6. 友人	241	38%	34	32%	42	25%	69	57%	96	41%
7. その他	5	1%	2	2%	0	0%	2	2%	1	0%
8. そのような人はいない	76	12%	13	12%	31	18%	9	7%	23	10%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

「心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人」も、「それらを聞いてくれる人」と同じような割合で、「配偶者」のほか、「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「別居の子ども」などがあがっています。



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
(○はいくつでも)

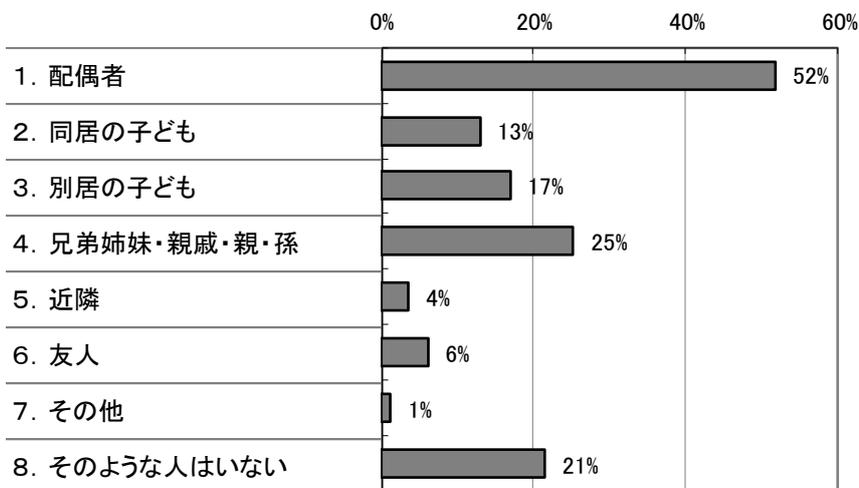
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者	322	51%	73	69%	112	66%	70	57%	67	29%
2. 同居の子ども	104	16%	9	8%	25	15%	24	20%	46	20%
3. 別居の子ども	175	28%	13	12%	42	25%	23	19%	97	41%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	122	19%	19	18%	24	14%	29	24%	50	21%
5. 近隣	14	2%	2	2%	5	3%	1	1%	6	3%
6. 友人	45	7%	5	5%	7	4%	13	11%	20	9%
7. その他	7	1%	2	2%	1	1%	2	2%	2	1%
8. そのような人はいない	65	10%	13	12%	20	12%	9	7%	23	10%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」は、「配偶者」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などがあがっています。

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

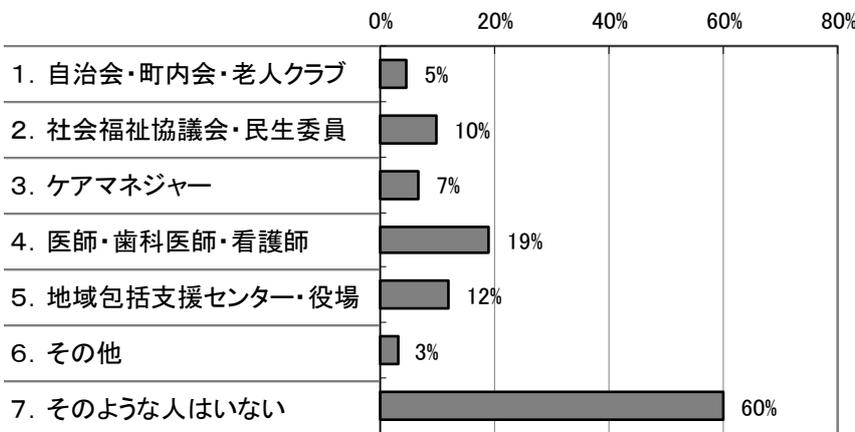
	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者	327	52%	69	65%	111	65%	73	60%	74	31%
2. 同居の子ども	82	13%	8	8%	18	11%	28	23%	28	12%
3. 別居の子ども	107	17%	11	10%	25	15%	26	21%	45	19%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	160	25%	31	29%	25	15%	49	40%	55	23%
5. 近隣	23	4%	2	2%	5	3%	7	6%	9	4%
6. 友人	39	6%	4	4%	4	2%	13	11%	18	8%
7. その他	8	1%	2	2%	0	0%	1	1%	5	2%
8. そのような人はいない	136	21%	16	15%	34	20%	12	10%	74	31%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「看病や世話を
してあげる人」も、
「看病や世話をし
てくれる人」と同
様の傾向となっ
ていますが、「兄弟姉
妹・親戚・親・孫」
が「してくれる」と
比べ、「してあげ
る」の割合が高い
のが特徴的です。

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇は
いくつでも)

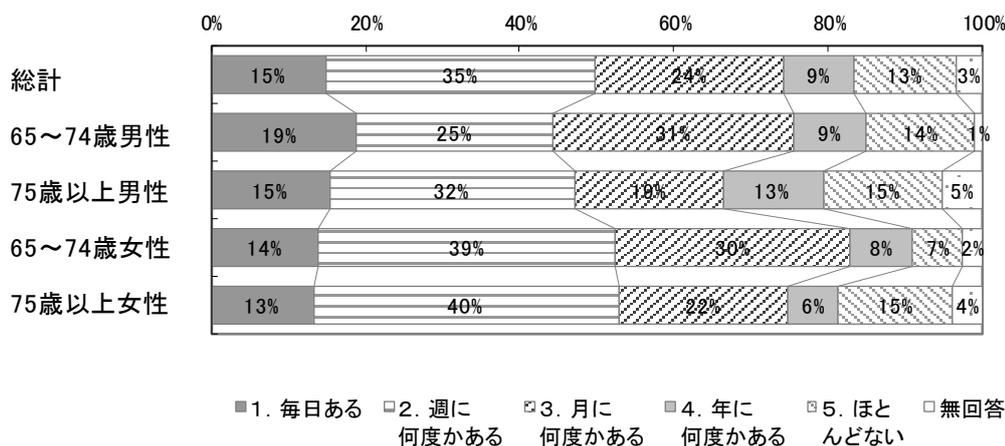
	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自治会・町内会・老人クラブ	30	5%	7	7%	12	7%	3	2%	8	3%
2. 社会福祉協議会・民生委員	63	10%	8	8%	20	12%	8	7%	27	11%
3. ケアマネジャー	43	7%	4	4%	9	5%	5	4%	25	11%
4. 医師・歯科医師・看護師	121	19%	15	14%	37	22%	24	20%	45	19%
5. 地域包括支援センター・役場	76	12%	11	10%	15	9%	13	11%	37	16%
6. その他	19	3%	5	5%	6	4%	3	2%	5	2%
7. そのような人はいない	380	60%	72	68%	99	58%	81	66%	128	54%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「家族や友人・知人以外の相談相手」は、「医師・歯科医師・看護師」が最も多く、次いで「地域包括支援センター・役場」、「社会福祉協議会・民生委員」などとなっています。

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 毎日ある	94	15%	20	19%	26	15%	17	14%	31	13%
2. 週に何度かある	221	35%	27	25%	54	32%	47	39%	93	40%
3. 月に何度かある	155	24%	33	31%	33	19%	37	30%	52	22%
4. 年に何度かある	57	9%	10	9%	22	13%	10	8%	15	6%
5. ほとんどない	84	13%	15	14%	26	15%	8	7%	35	15%
無回答	22	3%	1	1%	9	5%	3	2%	9	4%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

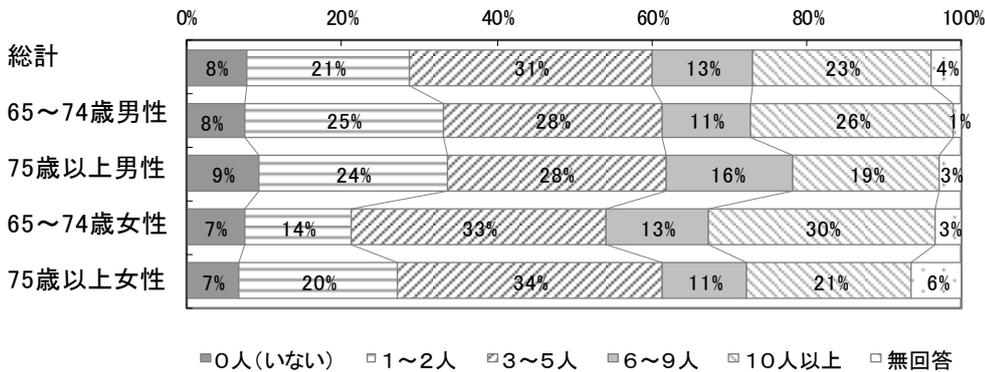


「ほとんどない」が13%あります。

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(〇は1つ)

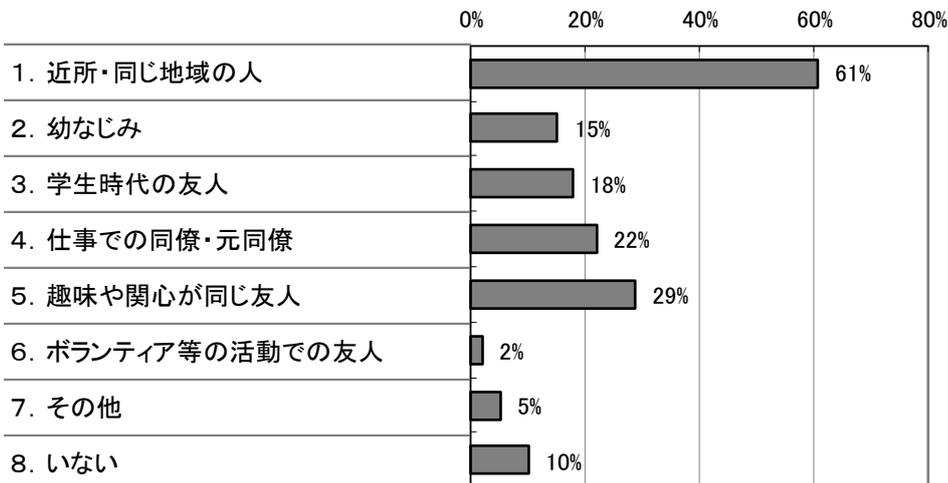
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0人(いない)	49	8%	8	8%	16	9%	9	7%	16	7%
1～2人	133	21%	27	25%	41	24%	17	14%	48	20%
3～5人	198	31%	30	28%	48	28%	40	33%	80	34%
6～9人	82	13%	12	11%	28	16%	16	13%	26	11%
10人以上	146	23%	28	26%	32	19%	36	30%	50	21%
無回答	25	4%	1	1%	5	3%	4	3%	15	6%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



2人以下という回答が約3割にのびります。

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 近所・同じ地域の人	384	61%	51	48%	98	58%	72	59%	163	69%
2. 幼なじみ	96	15%	23	22%	21	12%	20	16%	32	14%
3. 学生時代の友人	113	18%	25	24%	25	15%	23	19%	40	17%
4. 仕事での同僚・元同僚	139	22%	38	36%	36	21%	34	28%	31	13%
5. 趣味や関心が同じ友人	182	29%	34	32%	63	37%	35	29%	50	21%
6. ボランティア等の活動での友人	13	2%	3	3%	2	1%	6	5%	2	1%
7. その他	33	5%	5	5%	6	4%	14	11%	8	3%
8. いない	64	10%	8	8%	21	12%	7	6%	28	12%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

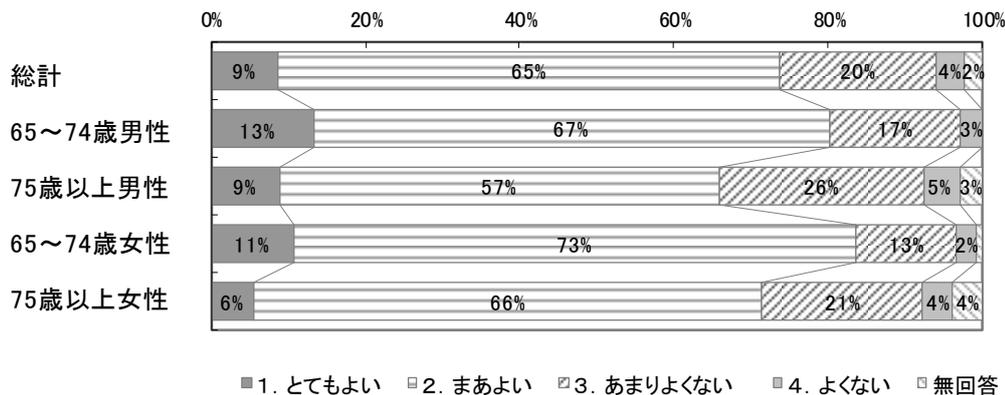


「近所・同じ地域の人」が最も多く、「趣味や関心が同じ友人」、「仕事での同僚・元同僚」と続いています。

第7章 健康について（問7）

（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とてもよい	55	9%	14	13%	15	9%	13	11%	13	6%
2. まあよい	412	65%	71	67%	97	57%	89	73%	155	66%
3. あまりよくない	128	20%	18	17%	45	26%	16	13%	49	21%
4. よくない	23	4%	3	3%	8	5%	3	2%	9	4%
無回答	15	2%	0	0%	5	3%	1	1%	9	4%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

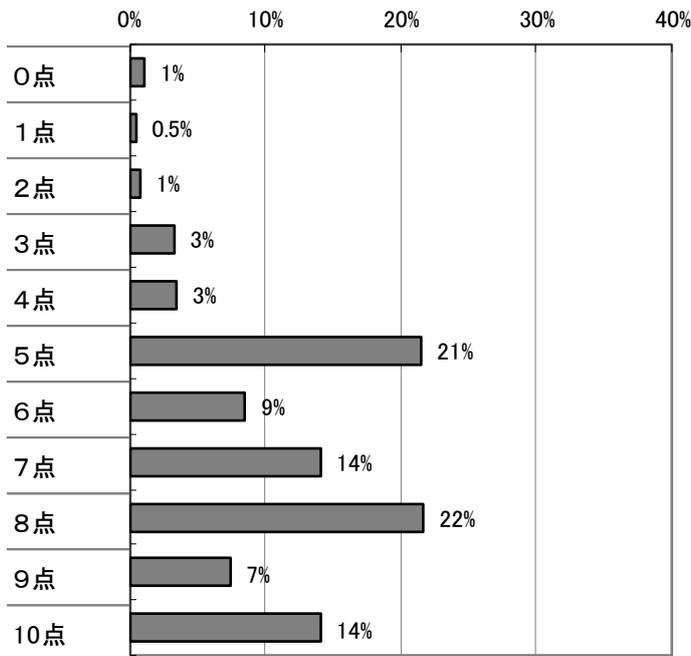


健康状態は「とてもよい」と「まあよい」で7割強を占めます。

（2）あなたは、現在どの程度幸せですか。（○は1つ）

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください）

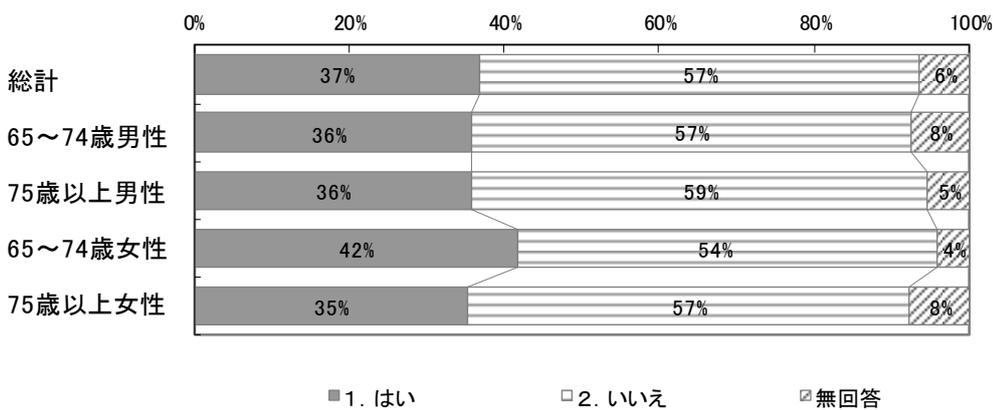
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0点	7	1%	0	0%	1	1%	1	1%	5	2%
1点	3	0%	1	1%	1	1%	0	0%	1	0%
2点	5	1%	1	1%	1	1%	0	0%	3	1%
3点	21	3%	2	2%	7	4%	4	3%	8	3%
4点	22	3%	5	5%	3	2%	6	5%	8	3%
5点	136	21%	16	15%	50	29%	22	18%	48	20%
6点	54	9%	14	13%	19	11%	5	4%	16	7%
7点	89	14%	19	18%	15	9%	26	21%	29	12%
8点	137	22%	26	25%	37	22%	29	24%	45	19%
9点	47	7%	8	8%	10	6%	4	3%	25	11%
10点	89	14%	13	12%	22	13%	19	16%	35	15%
点数無回答	23	4%	1	1%	4	2%	6	5%	12	5%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



幸福度の10点満点での評価は、5点から10点までの点数をつける人が多く、平均は6.9点でした。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

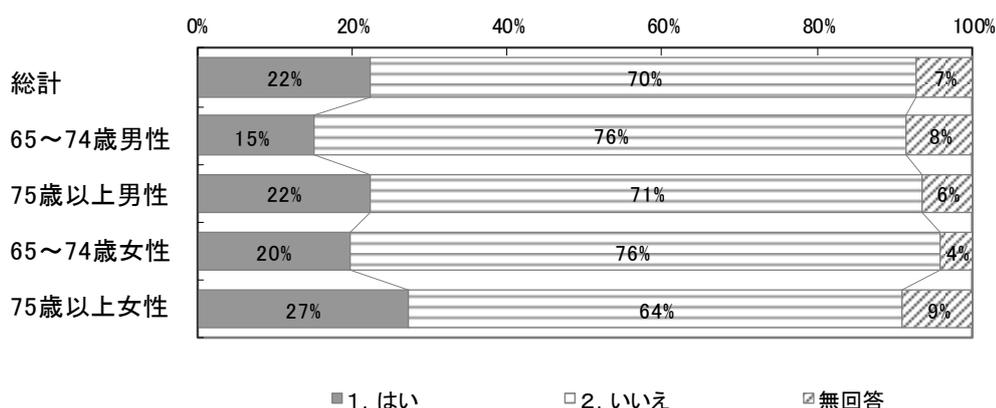
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	233	37%	38	36%	61	36%	51	42%	83	35%
2. いいえ	360	57%	60	57%	100	59%	66	54%	134	57%
無回答	40	6%	8	8%	9	5%	5	4%	18	8%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか」について、「はい」は37%で、65～74歳の女性で、割合がやや高い傾向がみられます。

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

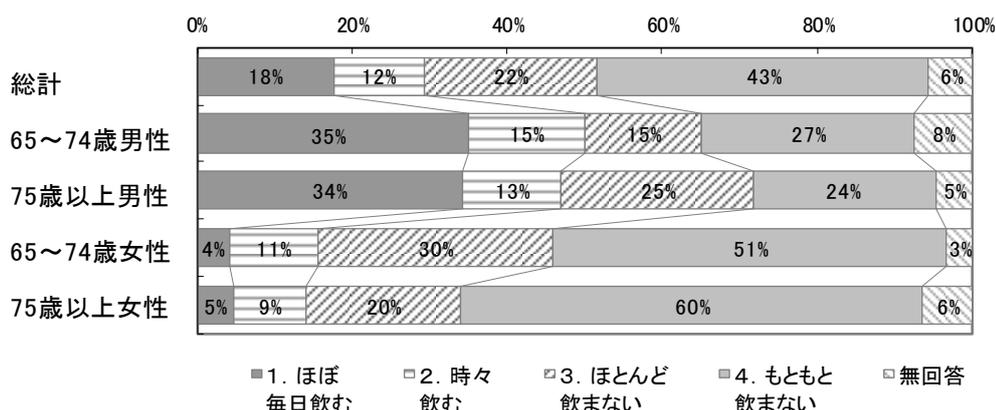
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	142	22%	16	15%	38	22%	24	20%	64	27%
2. いいえ	445	70%	81	76%	121	71%	93	76%	150	64%
無回答	46	7%	9	8%	11	6%	5	4%	21	9%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか」について、「はい」は22%となっています。国のガイドラインによると、(3)と(4)が1つでも「はい」に該当した場合、うつ傾向が懸念されます。

(5) お酒は飲みますか。(〇は1つ)

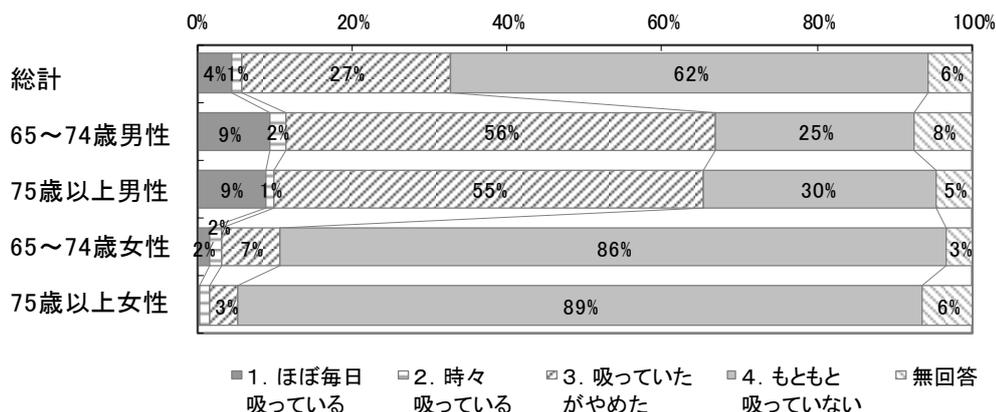
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ほぼ毎日飲む	111	18%	37	35%	58	34%	5	4%	11	5%
2. 時々飲む	74	12%	16	15%	22	13%	14	11%	22	9%
3. ほとんど飲まない	142	22%	16	15%	42	25%	37	30%	47	20%
4. もともと飲まない	271	43%	29	27%	40	24%	62	51%	140	60%
無回答	35	6%	8	8%	8	5%	4	3%	15	6%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



お酒を「ほぼ毎日」または「時々飲む」割合は約3割で、男性で割合が高くなっています。

(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

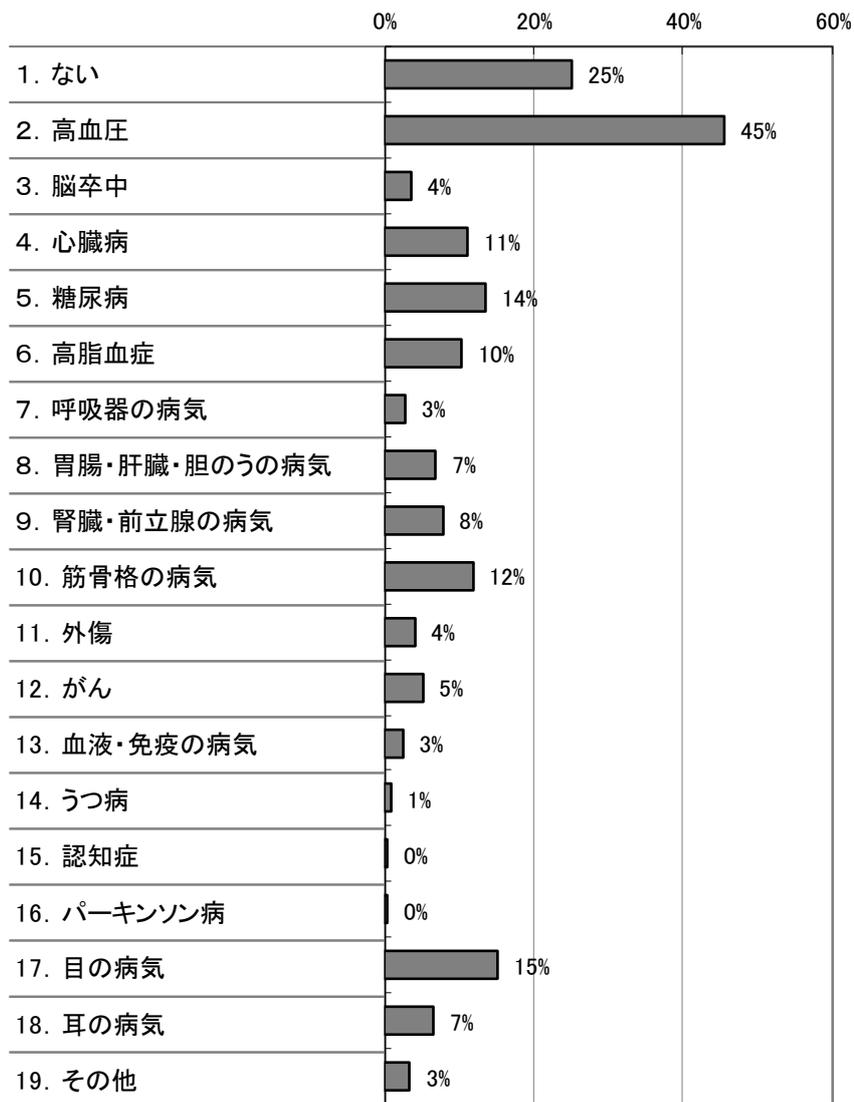
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ほぼ毎日吸っている	28	4%	10	9%	15	9%	2	2%	1	0%
2. 時々吸っている	9	1%	2	2%	2	1%	2	2%	3	1%
3. 吸っていたがやめた	170	27%	59	56%	94	55%	9	7%	8	3%
4. もともと吸っていない	391	62%	27	25%	51	30%	105	86%	208	89%
無回答	35	6%	8	8%	8	5%	4	3%	15	6%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「タバコを毎日または時々吸っている」割合は5%で、男性で割合が高くなっています。

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ない	159	25%	40	38%	32	19%	37	30%	50	21%
2. 高血圧	288	45%	39	37%	75	44%	48	39%	126	54%
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	23	4%	4	4%	12	7%	0	0%	7	3%
4. 心臓病	71	11%	5	5%	27	16%	8	7%	31	13%
5. 糖尿病	86	14%	15	14%	33	19%	12	10%	26	11%
6. 高脂血症(脂質異常)	66	10%	10	9%	8	5%	24	20%	24	10%
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	18	3%	3	3%	7	4%	3	2%	5	2%
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	44	7%	9	8%	13	8%	9	7%	13	6%
9. 腎臓・前立腺の病気	50	8%	13	12%	28	16%	2	2%	7	3%
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	75	12%	6	6%	9	5%	15	12%	45	19%
11. 外傷(転倒・骨折等)	26	4%	2	2%	5	3%	5	4%	14	6%
12. がん(悪性新生物)	33	5%	9	8%	12	7%	9	7%	3	1%
13. 血液・免疫の病気	16	3%	3	3%	3	2%	3	2%	7	3%
14. うつ病	6	1%	1	1%	0	0%	2	2%	3	1%
15. 認知症(アルツハイマー病等)	3	0%	0	0%	1	1%	0	0%	2	1%
16. パーキンソン病	3	0%	0	0%	1	1%	0	0%	2	1%
17. 目の病気	96	15%	6	6%	31	18%	18	15%	41	17%
18. 耳の病気	42	7%	6	6%	12	7%	7	6%	17	7%
19. その他	22	3%	6	6%	6	4%	5	4%	5	2%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「治療中、または後遺症のある病気」は、「高血圧」が45%あるほか、「目の病気」、「糖尿病」、「筋骨格の病気」、「心臓病」などが多くなっています。

第 8 章 認知症について（問 8）

（1）認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は1つ）

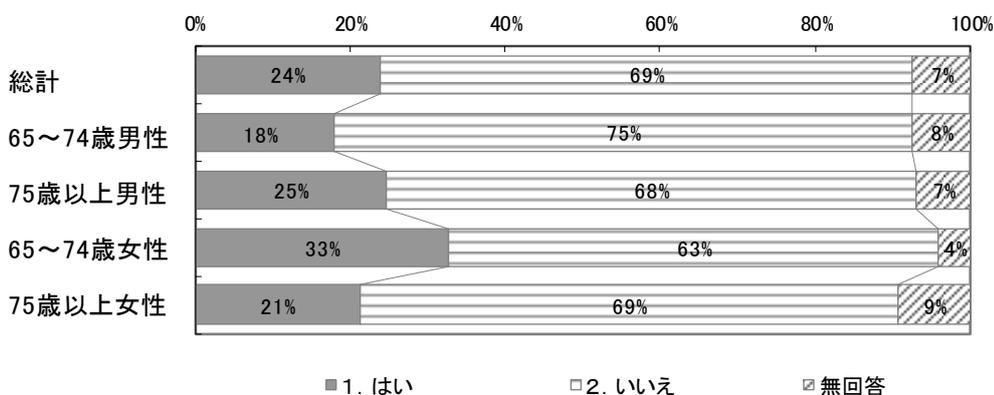
	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	52	8%	10	9%	18	11%	7	6%	17	7%
2. いいえ	538	85%	88	83%	142	84%	111	91%	197	84%
無回答	43	7%	8	8%	10	6%	4	3%	21	9%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



「認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある」割合は8%となっています。

（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は1つ）

	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	151	24%	19	18%	42	25%	40	33%	50	21%
2. いいえ	435	69%	79	75%	116	68%	77	63%	163	69%
無回答	47	7%	8	8%	12	7%	5	4%	22	9%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

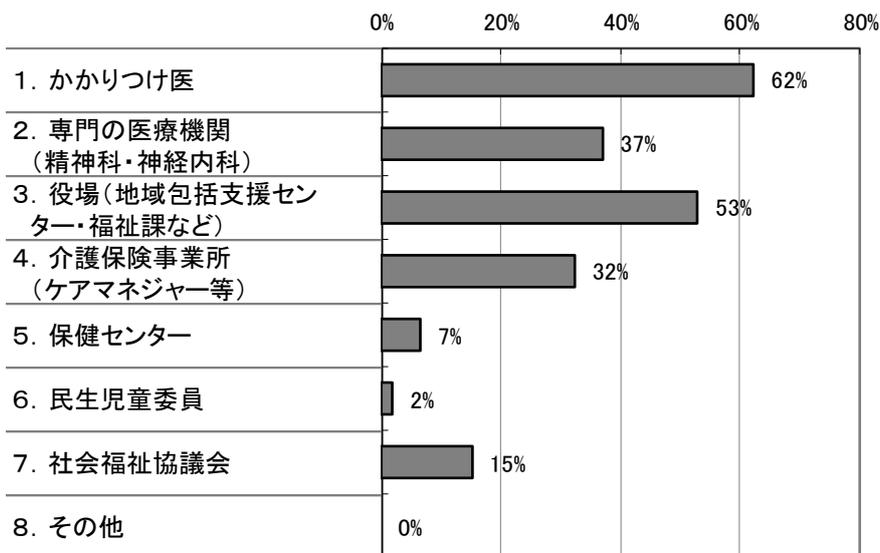


「認知症に関する相談窓口を知っている」割合は24%となっています。

◆（２）において「１．はい」（相談窓口を知っている）に○をつけた方のみ

① あなた自身や家族などの身近な方に認知症の疑いがあるとき、どこへ相談すると思いま
すか。（○はいくつでも）

	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. かかりつけ医	94	62%	9	47%	22	52%	25	63%	38	76%
2. 専門の医療機関（精神科・神経 内科）	56	37%	6	32%	15	36%	16	40%	19	38%
3. 役場（地域包括支援センター・ 福祉課など）	80	53%	7	37%	19	45%	25	63%	29	58%
4. 介護保険事業所（ケアマネジャ ー・ホームヘルパー・デイサービス 職員等）	49	32%	11	58%	12	29%	14	35%	12	24%
5. 保健センター	10	7%	2	11%	2	5%	2	5%	4	8%
6. 民生児童委員	3	2%	0	0%	0	0%	0	0%	3	6%
7. 社会福祉協議会	23	15%	2	11%	10	24%	4	10%	7	14%
8. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	151	100%	19	100%	42	100%	40	100%	50	100%

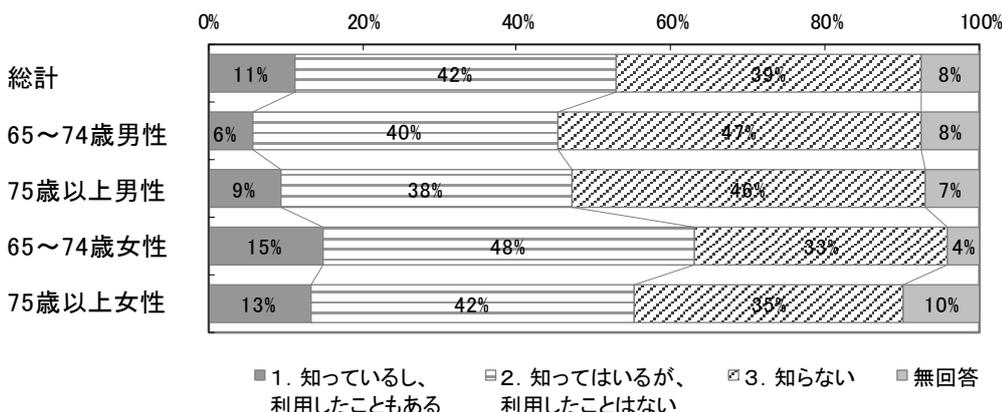


相談窓口を知っているという回答者に、認知症の相談先をたずねたところ、「かかりつけ医」が62%で最も割合が高く、次いで、「役場（地域包括支援センター・福祉課など）」が53%、「専門の医療機関（精神科・神経内科）」が37%などとなっています。

第9章 地域包括支援センターについて（問9）

（1）健康や介護予防のことなど、高齢者の相談を受け付け、地域で暮らす高齢者を総合的に支援する「地域包括支援センター」を、あなたは知っていますか。（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っているし、利用したこともある	71	11%	6	6%	16	9%	18	15%	31	13%
2. 知っているが、利用したことはない	264	42%	42	40%	64	38%	59	48%	99	42%
3. 知らない	250	39%	50	47%	78	46%	40	33%	82	35%
無回答	48	8%	8	8%	12	7%	5	4%	23	10%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

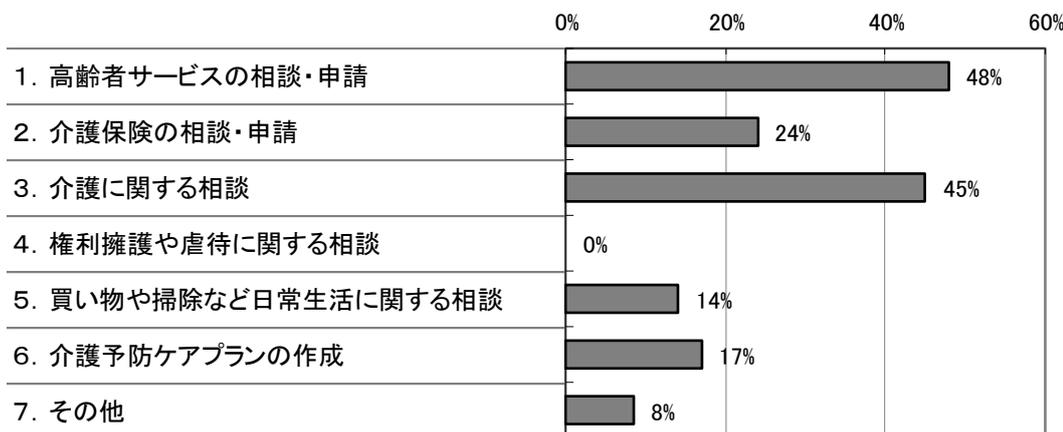


「地域包括支援センター」を「知らない」という回答が4割近くにのびます。

◆（1）において「1. 知っているし、利用したこともある」に○をつけた方のみ

① 今までにどのような理由で地域包括支援センターを利用しましたか。（○はいくつでも）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 高齢者サービスの相談・申請	34	48%	3	50%	9	56%	10	56%	12	39%
2. 介護保険の相談・申請	17	24%	2	33%	4	25%	5	28%	6	19%
3. 介護に関する相談	32	45%	4	67%	8	50%	9	50%	11	35%
4. 権利擁護や虐待に関する相談	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5. 買い物や掃除など日常生活に関する相談	10	14%	1	17%	1	6%	0	0%	8	26%
6. 介護予防ケアプランの作成	12	17%	1	17%	6	38%	2	11%	3	10%
7. その他	6	8%	0	0%	0	0%	4	22%	2	6%
合計	71	100%	6	100%	16	100%	18	100%	31	100%

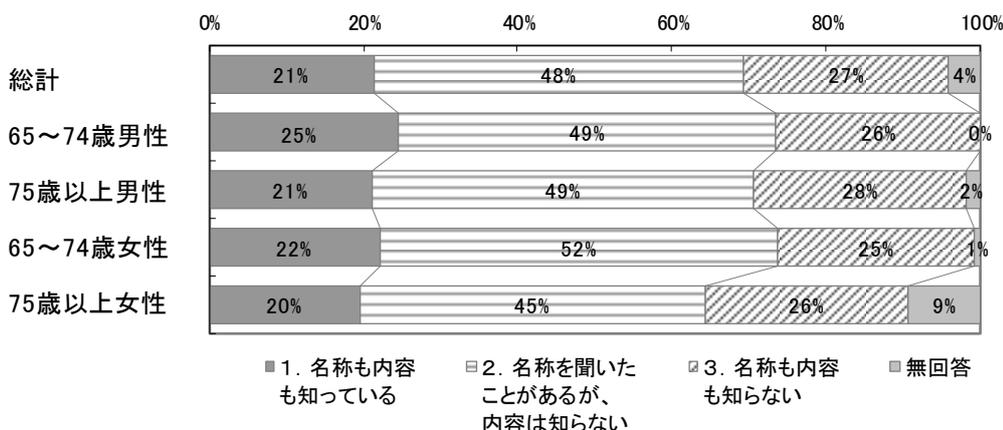


「高齢者サービスの相談・申請」と「介護に関する相談」の割合が高くなっています。

第 10 章 成年後見制度について（問 10）

（1）成年後見制度を知っていますか。（○は1つ）

	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 名称も内容も知っている	135	21%	26	25%	36	21%	27	22%	46	20%
2. 名称を聞いたことがあるが、内容は知らない	304	48%	52	49%	84	49%	63	52%	105	45%
3. 名称も内容も知らない	168	27%	28	26%	47	28%	31	25%	62	26%
無回答	26	4%	0	0%	3	2%	1	1%	22	9%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



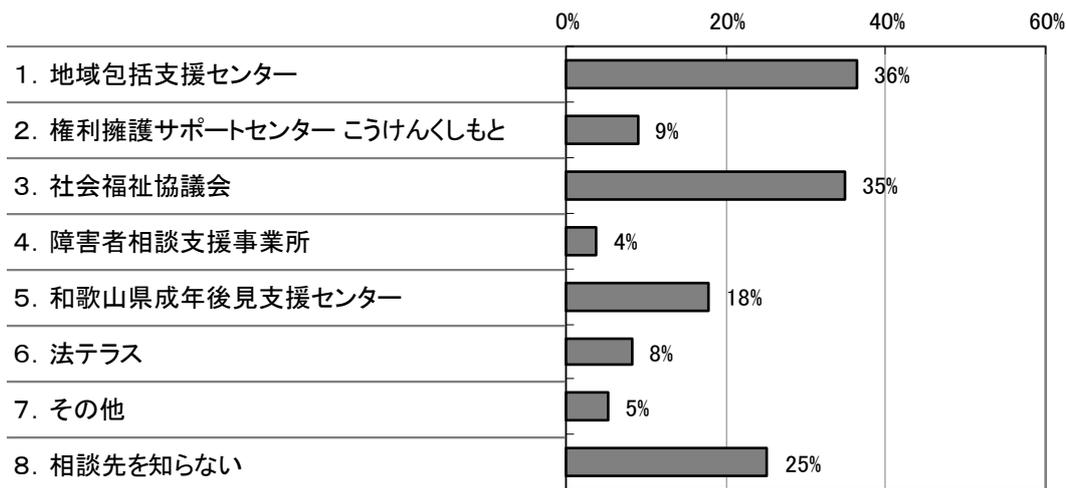
成年後見制度を「名称も内容も知らない」という回答が3割近くにのぼります。

◆【(1)において「1. 名称も内容も知っている」に○をつけた方のみ】

① 成年後見制度の相談先としてどちらをご存じですか。（○はいくつでも）

	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 地域包括支援センター	49	36%	9	35%	16	44%	8	30%	16	35%
2. 権利擁護サポートセンター こうけんくしもと	12	9%	2	8%	3	8%	1	4%	6	13%
3. 社会福祉協議会	47	35%	7	27%	13	36%	8	30%	19	41%
4. 障害者相談支援事業所	5	4%	0	0%	1	3%	1	4%	3	7%
5. 和歌山県成年後見支援センター	24	18%	5	19%	6	17%	2	7%	11	24%
6. 法テラス	11	8%	4	15%	5	14%	0	0%	2	4%
7. その他	7	5%	1	4%	2	6%	1	4%	3	7%
8. 相談先を知らない	34	25%	10	38%	4	11%	11	41%	9	20%
合計	135	100%	26	100%	36	100%	27	100%	46	100%

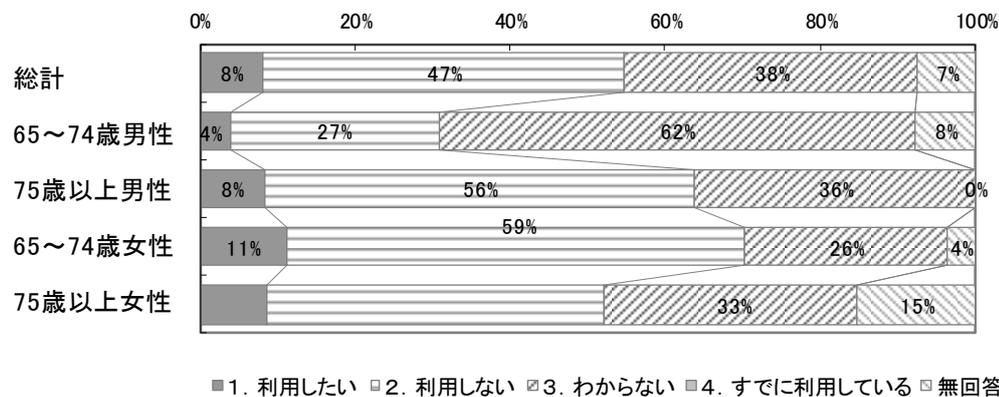
「地域包括支援センター」と「社会福祉協議会」の割合が高くなっています。



◆ 【(1) において「1. 名称も内容も知っている」に○をつけた方のみ】

② 成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用したい	11	8%	1	4%	3	8%	3	11%	4	9%
2. 利用しない	63	47%	7	27%	20	56%	16	59%	20	43%
3. わからない	51	38%	16	62%	13	36%	7	26%	15	33%
4. すでに利用している	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	10	7%	2	8%	0	0%	1	4%	7	15%
合計	135	100%	26	100%	36	100%	27	100%	46	100%

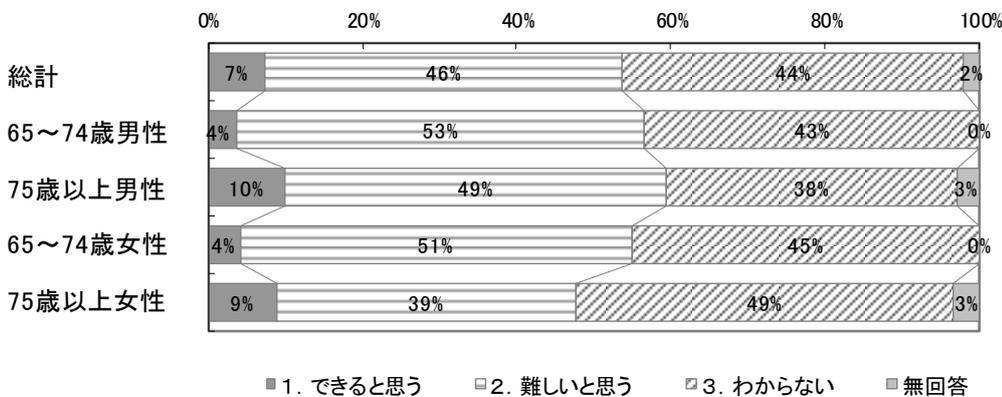


「利用しない」や「わからない」が多く、「利用したい」はわずかです。

第 11 章 今後の暮らし方について（問 11）

（１）病気で治療・療養が必要であるが、通院できない場合などに、医師や看護師などの訪問を受けながら自宅で治療・療養する医療のあり方を「在宅医療」といいます。あなたは、最期まで自宅で療養できるとお考えですか。（○は１つ）

	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できると思う	47	7%	4	4%	17	10%	5	4%	21	9%
2. 難しいと思う	293	46%	56	53%	84	49%	62	51%	91	39%
3. わからない	280	44%	46	43%	64	38%	55	45%	115	49%
無回答	13	2%	0	0%	5	3%	0	0%	8	3%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



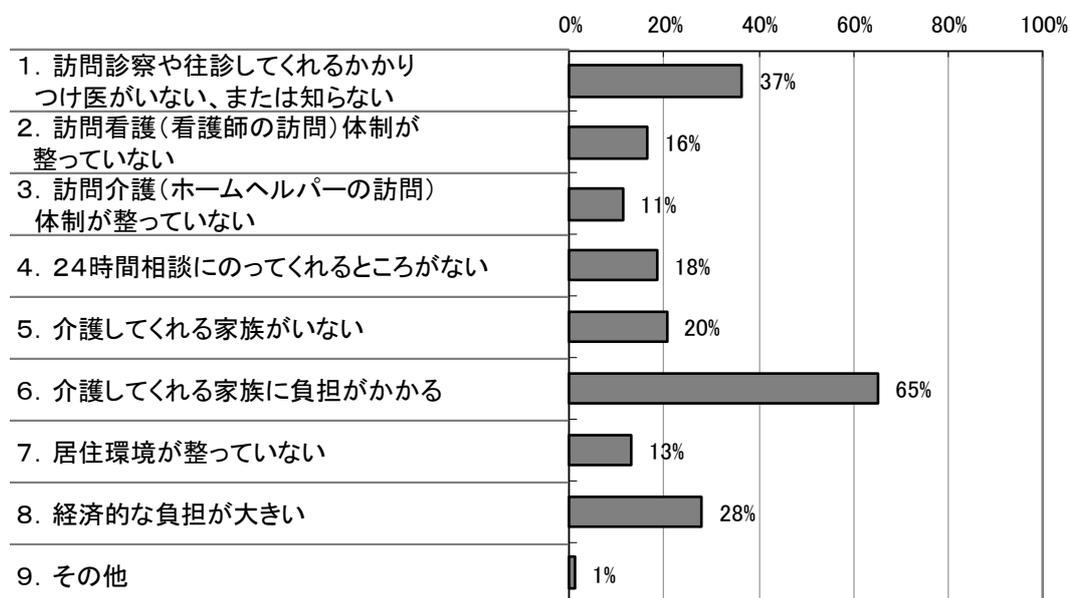
「最期まで自宅で療養できる」と思う割合は7%とわずかです。

◆【（１）において「2. 難しいと思う」に○をつけた方のみ】

① 難しいとお考えになる具体的な理由はどのようなことですか。お考えに近いものを選んでください。（○はいくつでも）

	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 訪問診察や往診してくれるかかりつけ医がいない、または知らない	107	37%	21	38%	39	46%	18	29%	29	32%
2. 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていない	48	16%	9	16%	21	25%	4	6%	14	15%
3. 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていない	33	11%	6	11%	15	18%	5	8%	7	8%
4. 24時間相談にのってくれるところがない	54	18%	6	11%	21	25%	12	19%	15	16%
5. 介護してくれる家族がいない	60	20%	11	20%	12	14%	10	16%	27	30%
6. 介護してくれる家族に負担がかかる	191	65%	38	68%	44	52%	46	74%	63	69%
7. 居住環境が整っていない	38	13%	5	9%	11	13%	10	16%	12	13%
8. 経済的な負担が大きい	82	28%	17	30%	20	24%	17	27%	28	31%
9. その他	3	1%	0	0%	0	0%	1	2%	2	2%
合計	293	100%	56	100%	84	100%	62	100%	91	100%

「最期まで自宅で療養することが難しいと思う理由」は、「介護してくれる家族に負担がかかる」が最も割合が高く、「訪問診察や往診してくれるかかりつけ医がない、または知らない」、「経済的な負担が大きい」と続いています。



第 12 章 自由意見

◆高齢者が暮らしやすいまちづくりのために、ご意見・ご提案がありましたらお書きください。

- ◆ 町に期待しています。【80～84 歳・男性】
- ◆ 人口の少ない町で、これからどうなるのか？ 若い人に申し訳ない。私には答えられない。【80～84 歳・男性】
- ◆ 現在のところ、意見はありません。【65～69 歳・男性】
- ◆ 年金が少なく、税金が高い。【70～74 歳・男性】
- ◆ デイサービスやショートステイの利用が簡単な手続きでできることをお願いします。【65～69 歳・女性】
- ◆ 寝込んだ時は、定期的に、家庭訪問してほしい。【85～89 歳・女性】
- ◆ 医療体制の確保。【75～79 歳・女性】
- ◆ 今はコロナでなかなか地区の人々といろいろな催しごとができないが、早く終息して、皆様との出会いが元のようにできることを願います。【75～79 歳・男性】
- ◆ 6年前に生家に戻り、家の改築、お墓のことなど、役場に相談に伺う機会も増え、対応のまずさには、もうあきらめに近い気持ちです。くしもと病院の対応も、一度、新薬を処方され、顔が腫れ上がるなどし、その時は、くしもと病院の看護師さんの判断と、恵友病院で検査していただき、事なきを得ました。せっかく老後を串本でゆっくり終わりたいという一町民の思いを大事にしていきたいと切に願っています。【65～69 歳・女性】
- ◆ 最近、気力がなくなったことに気がつきます。何をしても面白くなく、やる気なくなりました。できれば、一日を楽しく過ごせる場がほしいです。趣味を生かせる釣り、ゲートボール、グランドゴルフ。活動的なことになるかもしれませんが、免許証返納が気力喪失に大なりと思う。【90 歳以上・男性】
- ◆ 高齢者が自由にできる自由市場（広場）を。不要な物、手作りの品、魚、農作物。集会場。のんびり話す場。【85～89 歳・男性】
- ◆ 役場で相談できるようにしてほしい。【65～69 歳・男性】
- ◆ お気遣い下さることが多く、大変有難く思っています。社協よりお弁当のお世話を受けています。とても有難く思っていますが、そのまま電子レンジに入れられないのが残念なところです。【85～89 歳・女性】
- ◆ コミュニティバスの回数を増やしてほしい。【75～79 歳・女性】
- ◆ 地区の区長が住民のことを良く知ろうと常に歩いたり、自転車で巡回されているので、古座ヴィラ区の高齢者は守られている。三島区長に感謝です。【80～84 歳・男性】
- ◆ 昭和 40 年代は里川で 17 軒ありましたが、現在では私一軒になってしまい、とても不安です。車に乗れなくなると、ますます不安です。家内も足腰が悪くて大変です。【85～89 歳・男性】
- ◆ 在宅医療制度をもっと充実してほしい。【65～69 歳・女性】
- ◆ 私は今、車で買い物に行っていますが、バスを待っている人をみると、つらくなります。暑い中、寒い中、立っている同い年の人に、明日はわが身。腰がだ

るくなり、つらくなります。バスを待っているところに、イスがあればいいなと思います。【80～84歳・女性】

- ◆ 高齢者より若い人が住みやすいまちづくりを考えて！【65～69歳・男性】
- ◆ 串本町にお世話になってまだ3年なので、介護のことはまだ十分に解りかねます。息子は一人になったら言ってくれ、と言っているので、よく考えて行動しようと思います。【70～74歳・男性】
- ◆ 現行制度内で心配なく対応可能と思います。子どもが4人いますが、それぞれ協力してくれていますので、非常の場合は協議して十分対応してくれると思っています。【85～89歳・女性】
- ◆ アンケート項目に老老介護にフォーカスしたものが残念！ 60代が80代、90代の親を介護している場合もかなりあることを知っていてほしい。【65～69歳・男性】
- ◆ 重い病気になって入院しても、よくなればすぐ退院、または施設に入らなければいけない。退院して訪問介護を受けたくても、どこかわからないし、その施設は少ないと思う。在宅医療は整っているのか？ ぜひとも在宅医療を充実させてほしい。【80～84歳・女性】
- ◆ 少しずれる意見かもしれませんが、前々から思っていました。避難所のことで、串本は最南端または山に逃げないと無理と思っていて、串本の下にも高さのある避難所を作ってください。津波に勝てるような。【65～69歳・女性】
- ◆ 一人暮らしの人のサポートが足りないと思います。一人になって3年。つくづくさびしさを思い知らされました。どうか、公共の取り組みをよろしく願います。人のつながりが命を救います。話し相手になってあげるなど、何かできないでしょうか（民生委員様等）。【85～89歳・女性】
- ◆ 高齢者になると、集まることもできません。足元が不安で、本当は隣近所の方たちと世間話をして過ごしたいと思いますが、思うように体が動きません。昔話などを楽しくすることは健康の源だと思います。私は、ヘルパーさんが来て下さると、涙が出るほどうれしいです。週2回はお風呂に入れてもらっています。お風呂の中で、ヘルパーさんが笑顔で背中を流してくれ、心から感謝しております。【90歳以上・女性】
- ◆ 病気で困ったことができて、どこで相談するかわからない。介護のこととは限らないこともある。無料の弁護士の相談は行ったことがあるが、解決できないと思うこともある。【75～79歳・女性】
- ◆ 少子高齢化が進み、空き家が増える。それに伴い、いろんな施設や行事が町の中心部に移行する。郡部はますます過疎化が進む。このような中で、「高齢者が住みやすいまちづくり」をどのように進めていくのか、我々も考えなければと思っているが、町行政としての考え方がまったく見えない。まず、当局としての考え方を知りたい！【75～79歳・男性】
- ◆ 神野川では高齢者が多いのに老人クラブ会員は少ない。皆が助け合うようになればよいと思う。【90歳以上・男性】
- ◆ 潮岬にスーパーがないので、買い物に串本まで行かなければならないので、地元でスーパーを誘致してほしい。【70～74歳・男性】
- ◆ コミュニティバスが近くに停車しないため、駐車場を増やすなど、交通手段を確保できるよう整備をお願いします。【85～89歳・男性】
- ◆ 自分流に生きてるので、不平、不満はない。【85～89歳・男性】

- ◆ 車に乗れなくなった時に、買い物に行きやすいような交通手段が心配です。地区に食料を買える店がない。【65～69 歳・女性】
- ◆ 私たちも、あと 2～3 年もすれば、現実を考えるようになると思います。認知症になった時の不安や介護が必要になった時はどうなるのか、心配です。【75～79 歳・女性】
- ◆ 生活用品の販売車の回数を増やす。自宅から出るための交通手段を考えてください。【80～84 歳・女性】
- ◆ 高齢になり、免許を返納し、買い物、通院が不便。タクシー等の利用の補助があればよい。【80～84 歳・男性】
- ◆ 医療、介護等を必要とする高齢者に対する福祉サービスが必要、重要なことは論を待たない。一方、平素から食生活や運動など、自ら健康に注意しながら生活する高齢者に対する、例えば、ウォーキングやジョギング等の身近な施設の充実などもまた重要な視点であることに留意すべきである。【75～79 歳・男性】
- ◆ 私は、要支援 1 の認定を受けて、週 2 回、1 回 1 時間、買い物と掃除のヘルパーさんのサービスを受けています。他に週 1 回デイサービスを受けています。設問は、介護、介助がほとんどだったので、回答に迷ったところが多々ありました。【85～89 歳・女性】
- ◆ 太地町のように道ばたにベンチを置いて、散歩の休憩ができる場所があればと思います。【80～84 歳・男性】
- ◆ 今のところ、ありません。【75～79 歳・男性】
- ◆ 店がないので、これから先、買い物に不安がある。【85～89 歳・女性】
- ◆ 地域包括支援センターの中さんとは、いつまでもふれあっていたいと思います。これから先のことはわかりませんが、なるべく人様のお世話にならないようにと思っていますが、このような取り組みをしてくださって、ありがたいです。【70～74 歳・女性】
- ◆ 車が運転できなくなった時のことを考えると、大変不安である。【65～69 歳・男性】
- ◆ 健康寿命をできる限り延ばし、最期まで自立を努力。PPK、ピンピン生きて、ころり死にたい。【75～79 歳・男性】
- ◆ 大阪より串本に移住して 3 年余りなので、串本町のことはあまりわかりません。いつもお世話になりありがとうございました。【85～89 歳・女性】
- ◆ 地区自治会が全く信用できない。我利、我利で話にならない。いまだ、古い差別がまかり通っている。災害時の弱者救済も、地区防災の活動からも除外している。「自立が最優先」として、日頃から忘れられない事項です。【80～84 歳・男性】
- ◆ 日本全国で今年生まれた 80 万人に対して、空き家は 800 万棟と言われています。串本町で空き家は何棟ありますか？ 暮らしやすいまちづくりより、空き家をどうするか、緊急の課題とされます。役場、病院、銀行を山の上に引越をして、高齢者が暮らしにくいまちづくりをしてどうするねん？【75～79 歳・男性】
- ◆ これからますます高齢者が増えてくると思います。一人暮らしのため、特にこの先病気になったり動けなくなったらどうしよう、ととても不安な気持ちで過ごしています。介護付きの施設等、すぐに入居できるよう、建設してほしい

です。これとは反対に、元気で身の回りのことができる高齢者専用の施設があれば、私は即、入居したいです。【70～74歳・女性】

- ◆ 買い物がとても不便。現在は主人に乗せてもらっているが、来年初めに、免許更新をしない予定。買い物が便利になるとありがたいです。【80～84歳・女性】
- ◆ 最期までできるだけ自宅で・・・と考えております。よろしくお願い申し上げます。【80～84歳・女性】
- ◆ 地区、地区に、話し、お茶を飲むような施設があれば、ぜひ参加（ボランティアで）してみたいと思っています。それが生きがいになれば、生活の張り合いがでるのではと・・・【70～74歳・女性】
- ◆ 今は、公的にいろんな点をサポートしてくれて、ありがたいと思います。病気になる時のことが心配ですが、現在の状態を維持するために、毎日、食事、運動、規則正しい生活を心がけています。よろしくお願い申し上げます。【80～84歳・女性】
- ◆ どこの老人ホームも、経済的な理由で入りにくい。ホームのお金が高い。【80～84歳・男性】
- ◆ 独居老人の対策を！ 中心から離れた地区の居住者には、町長様のご配慮で、車いす対応のバスを走らせていただき、町長のご英断に心から感謝しております。ありがとうございます。さらにお願いがとありますが、不自由な体なれば、不安を抱いております。例えば、ドラッグストアやコメリの前にバス停があれば、安心して車いす生活でも快適に暮らせます。この案を検討していただきたい。串本町が障害者にやさしい福祉のまちになることを希望します。新宮病院に行こうとしても、バスが田原で終わり、新宮まで行けません。鉄道にしても、階段を越えてホームに行けません。これらの解決方法をぜひ教えてください。【70～74歳・女性】
- ◆ 地域の活動とか、いろいろあるようですが、行かなあかんと思うと苦痛になる。自分がしたいと思うこと、好きなことをする方がよい。私たちのためを思ってくれるのはわかりますが・・・【80～84歳・女性】
- ◆ 町内はコミュニティバスで便利になったが、近隣の町へ行くとき、運行本数の少ない電車だけだと計画が立てにくく、外出しづらい。【65～69歳・女性】
- ◆ 75歳以上の高齢者に手当を支給してほしい。【80～84歳・男性】
- ◆ 私は、人の輪に入って何かをするのが苦手です。今のところ、何とか努力しています。私の母は、認知症になり、「見守り施設」に入り、そこで一生を終えました。そこでは何もすることがなく、認知が進行しました。私のことも覚えていません。若い時から一生懸命働いてきた母は、認知症になって、つらいことも忘れて、幸せになったのかなあ。私は今、体調にあわせたストレッチをしています。先生の指示のもとです。自分の足で歩きたいから。勝手な内容になってしまいました。【65～69歳・女性】
- ◆ 車に乗れなくなった時、今はバスと電車の時刻がほぼ同じ。高齢者が移動しやすく、動きやすく、また、一人暮らしでも誰かに話しやすい、グループホームのような施設があればうれしい。【75～79歳・女性】
- ◆ 高齢者が生活しやすいまちづくり（夢物語として書きました）。・医療面 専門医局の配置（例：泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科など） ・地域に活気を！（人口減対策、出産・育児への援助。若者の働き場所の確保。） ・高速道路完成後の来町者への配慮（江住の道の駅を参考に） ・海洋観光資源の確保（例：潮

岬・大島周辺海域の遊覧。定期の海産物の廉価販売。紀北のめっけもん市場を参考に)【90歳以上・男性】

- ◆ 高齢者が多くなる中、そのような施設が少ないのではないかと思います。順番待ちという声をよく聞きます。不安です。コミュニティバスも、人口も少なくなっていますが、停留所も細かくしてほしい。【75～79歳・女性】
- ◆ 現在、義母の介護をしています。私自身、高齢者の気持ちとか、体のことがわからないので、どのように接したらいいか、毎日、悩んだりしています。例えば、朝起きない、ごはんを食べない、薬を飲みたがらない等です。体の具合が急に悪くなった時など、医者が休みの時など、気軽に電話できる場所（24時間）があれば安心できます。介護のことについて学べる機会があればいいと思います。【65～69歳・女性】
- ◆ 老いて、買い物に行けない時、行けないようになった時は、代行で買い物をお願いできる業者さんがあれば、ぜひ利用したい。【70～74歳・女性】
- ◆ この住宅に住んでいる人たちは、若い人たちも多くおられますけれども、65歳以上の人たちも多数おられます。けれども民生委員さんは一度もまわってこられたことはありません。【85～89歳・女性】
- ◆ 高齢者が日常の不便を気遣いなく申し出でき、対応できる部署を考えてください。【65～69歳・男性】
- ◆ 日用品、食品の買い物が近くでできる店があるとよい。【85～89歳・女性】
- ◆ こころへんでも、ホームに入りたい場合、順番待ち、順番待ちと何年も待っているのをよく聞くけれど、そんなのを早くなくしてほしいと思う。【85～89歳・男性】
- ◆ 子どもたちが皆、外へ出て行って生活しているため、老親二人になり、これから先が心配でしょうがない。いつもそれが頭から離れません。【80～84歳・女性】
- ◆ 認知症の人とその家族を対象にした相談・交流会を月4回ほど開いてほしい。【85～89歳・男性】
- ◆ 地域の一人暮らしの高齢者に対しては、近所に住む住民が常々つながりを持って声かけできたり、心配できたりと見守ってゆくことで、高齢者が安心して生活していけるのではないのかなと感じます。【70～74歳・男性】
- ◆ 基本的には子供達と思いますが、重い負担を掛けるのも辛い。最後には、老人ホーム等、施設にお願いしたい。経済的に心配しています。【80～84歳・男性】
- ◆ コミュニティバスですが、もっとふやしてほしい。10時にのったら13時10分にしかありません。どうしたらいいのでしょうか？【80～84歳・女性】
- ◆ 最後まで自宅で療養したいですね。在宅医療ができるお医者さんがたくさんできればいいなあと思います。いつもありがとうございます。【65～69歳・女性】
- ◆ わかりません。【85～89歳・女性】
- ◆ 小さな子供のパワーでお年寄りもなごみ、元気をもらえるかも。子供もお年寄りを大事にする優しさや見習うことなどできるのでは。子供とお年寄りが一緒に過ごせる園を作っては・・・大島は不便なので、バスが混んでいる時もあり乗り合いタクシーなど考えていただければ・・・できればバスの回数を増やしていただきたい。【65～69歳・女性】

- ◆ 年金の増額と税金の軽減がなければ、高齢者はもちろん、それ以外の人でも暮らしづらくなりつつあります。【70～74 歳・男性】
- ◆ 車に乗れなくなった時の生活のことを思うと不安でなりません。停電で電話が通じなくなる事があります、携帯は圏外で、緊急の連絡が出来ないなどの心配もあります。【75～79 歳・女性】
- ◆ にしき園のような施設があと一軒程有れば良い。希望者が多いために入れないことが有る。不安だらけです。【70～74 歳・男性】
- ◆ 難問です。【85～89 歳・男性】
- ◆ 近辺にも高齢者（特に女性の一人暮らし）が多くなりました。週に一度でもお茶を飲みながら、おしゃべり出来る場所があればと思います。【75～79 歳・女性】
- ◆ 子、孫が近くに居らず、一人、又は夫婦のみで生活している高齢者が回りに多くいます。若者が居残れるまちづくりを、本町のみならず近隣の市町村と協力して実現させていただきたいと思います。【75～79 歳・男性】
- ◆ あらためて自分自身を考えることが出来ました。【80～84 歳・女性】
- ◆ 串本町が老人福祉に力を入れてほしい。【90 歳以上・男性】
- ◆ 私は、今の年齢になって、健康に気をつけて楽しく最後を迎えたいと考えています。【80～84 歳・女性】
- ◆ 高齢者が目的を持って運動出来るように、例えば1キロ、2キロ、3キロ、とコースを設けたり、簡単な運動遊具を設置した誰でも安心して使用出来る運動公園を整備してほしいです。【65～69 歳・女性】
- ◆ 訪問診療や往診をしてくれるかかりつけ医がいらないわが串本町ですね。そのためにも訪問介護体制が整ってほしいです。経済的な負担も心配です。【85～89 歳・女性】
- ◆ 私の住んでいるご近所も、ほとんどの方が70才以上と一人暮らし、又は夫婦のみ。空き家が多い。10年後どうなっているのか心配です。近所で孫がいるのは家だけです。皆で子育てしてくれ、助け合いも来ています。【65～69 歳・女性】
- ◆ 自宅近くに店がないので、今は運転できるが今後が心配。かかりつけ医院がなく、いざという時、救急車を呼んでも、串本病院に限定される。希望の地域の病院（かかりつけ病院）に行きたい。【70～74 歳・女性】
- ◆ 介護施設が足りないと思います。希望者は町内で全員受け入れが出来るくらいに増やしてほしい。今後、年金6万円で十分に食べていけるのか？ 介護を受け入れるのが心配です。（今は仕事を出来るが…）【65～69 歳・男性】
- ◆ バス、タクシーを利用しておりますが、どこへ行くにも不便ですネ。【80～84 歳・女性】
- ◆ 近所の庭木、葉っぱが落ちて、掃除に、足腰が痛いので困ってます。在宅医療が受けられる制度が早く出来てほしいと思います。【90 歳以上・女性】
- ◆ 病気やケガになった時、近くの病院が充実していると安心です。【65～69 歳・女性】
- ◆ 串本病院の対応が悪く、町民が不安を感じている。指摘しても直そうとしない。【80～84 歳・女性】
- ◆ 心も体も自分らしく1日1日大切に。感謝しています。ありがとう。【90 歳

以上・女性】

- ◆ 今までは関係ないと思っていたことが、買い物に行く店が無くなり、自転車では少し遠くなり不自由になりました。だんだん老いていく中、不安です。買い物は身近で出来ることが大切なことだと思います。認知症予防にも繋がると思います。【70～74 歳・女性】
- ◆ 介護を受けると、家族などの訪問などができなくなると聞きましたが本当でしょうか？【75～79 歳・男性】
- ◆ 勉強をしてみたい。【80～84 歳・女性】
- ◆ 民生委員が誰がやっているのかもわからないし、1人暮らしの老人には、たまには見回りに来てくれれば安心できる。【90 歳以上・男性】
- ◆ 年金暮らしで経済的負担の少ない施設があれば良いと思う。適度の運動と社交の場があると、会話も豊かに（心から）なるだろう。町営がいいです。そうすると仕事をする人が県内外に行く流れを防ぐ。【75～79 歳・女性】
- ◆ 子ども食堂というものがあるようですが、ジジババ食堂みたいなのがあって、安価で利用できる場所があれば良いなと思う。みんなで寄り集まって、おしゃべりしながら食事等できれば、年を取っても楽しく暮らせると思う。【75～79 歳・女性】
- ◆ 私の町に、古座に、Aコープが9月からなくなって、食品その他が不便です。95 歳で乗り物に乗れないし、ひとり暮らしですからつらいです。手押し車ではバスに乗れない。親戚の従兄弟にたまに買ってきてもらいます。孫にも頼みません。不自由です。【90 歳以上・女性】
- ◆ みんなで声を掛け合いましょう。何でも良いから！【65～69 歳・男性】
- ◆ バス停まで遠い→地域の中まで乗合バスが欲しい。交通手段がないので買い物等外出が出来ない。【80～84 歳・女性】
- ◆ 最期を自宅で迎えたい（最終は病院でお世話になるでしょうが）と願う高齢者は昔も今も多いと思います。更なる在宅医療の充実を期待しますが、子育て支援の充実も将来に向けて大切だと思いますので、限られた町財政の中、舵取りは難しいでしょうが期待しております。【65～69 歳・女性】
- ◆ 民生委員、自治会長など高齢者を頻繁に見回って貰えたらと思います。あまり動きがない。【80～84 歳・女性】
- ◆ お金がかかるのは高齢者だけではありませんが、経済的な面での支援をよろしくお願ひしたいです。【65～69 歳・女性】
- ◆ 高齢ですが車の運転をしています。高齢者の事故など問題になっていますが、免許証等返納すると生活に支障をきたします。役場としてこの問題にどのように対応しますか？【80～84 歳・男性】
- ◆ 町にどの様なサービスがあるのか、誰が利用できるのか、それはどこに相談すれば良いのか、一覧表を各家庭に配布してほしい。細かい冊子とは別に。介護だけでなく、子育て支援や障害者支援なども含めて。【65～69 歳・女性】
- ◆ バスと電車の発着をつなげていただけたらと思います。町外の病院などに行く時に助かります。【70～74 歳・女性】
- ◆ ふるさとバスが道路の通行困難で通れない場所があるので不便です。高池を大回りしてでもバスを通るようにすべきです。不公平だと思います！【70～74 歳・男性】
- ◆ 私たち夫婦、84 歳を過ぎて、何かにつけて、わかりません。10 万円、5 万

円と2回も受け取っている人もいます。どういう手続きをすればもらえますか？ コロナで外出時間も少なく、電気料金も困ります。どうすればもらえるのか、教えてください！【80～84歳・女性】

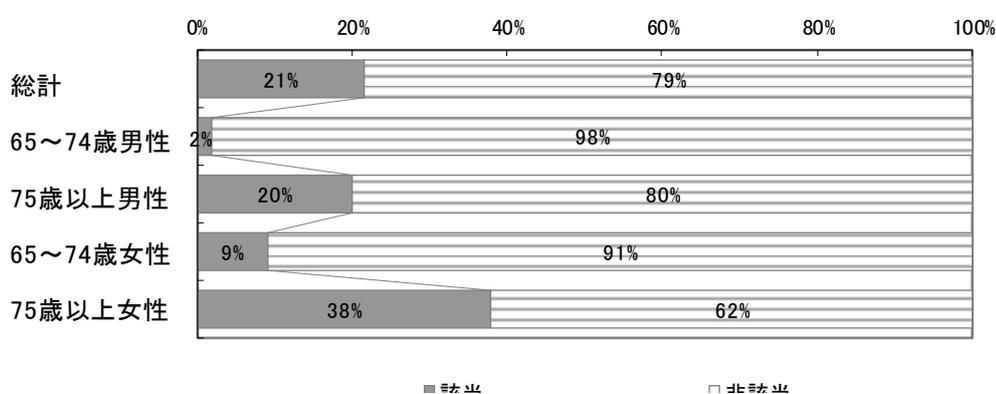
- ◆ おかげさまで、そこそこ健康であります。もう何十年も、医者に、ほとんどかかっていません。けれど、介護保険料が高いので、つらいです。高齢者の医療保険料も同じく高いので、何とか、少しでも安くしてほしいです。【90歳以上・男性】
- ◆ ・福祉タクシーをもっと安くしてほしい。・品数の多い移動販売車が来てほしい。・郵便ポストを近くにほしい。・町内放送で福祉で相談、悩みがあれば来いとのこと。遠方で外出できない者は困る。【85～89歳・女性】
- ◆ できるだけ、行事などに参加すればよい。【70～74歳・男性】
- ◆ 一人暮らしの場合、買い物を依頼するとしても、希望するとおりのものが手に入るかどうか不安。掃除、洗濯、食事にしても、依頼したとおりの結果が得られるかどうか不安のため、無理して自分で処理せざるをえない。自分でやっていると、できるからといって、あまり真剣に考えてもらえない。動けなくなるまで、自分でやらなければ、仕方ない現状です。【90歳以上・男性】
- ◆ 駅の階段で苦勞します。足が悪いので、何とかならないでしょうか？【85～89歳・女性】

第 13 章 「生活機能低下」の該当者の状況

この章では、介護予防ケアマネジメントで用いる「基本チェックリスト」のスクリーニング手法に基づき、「生活機能低下」の該当者の状況を把握します。

1 運動器機能低下のリスク

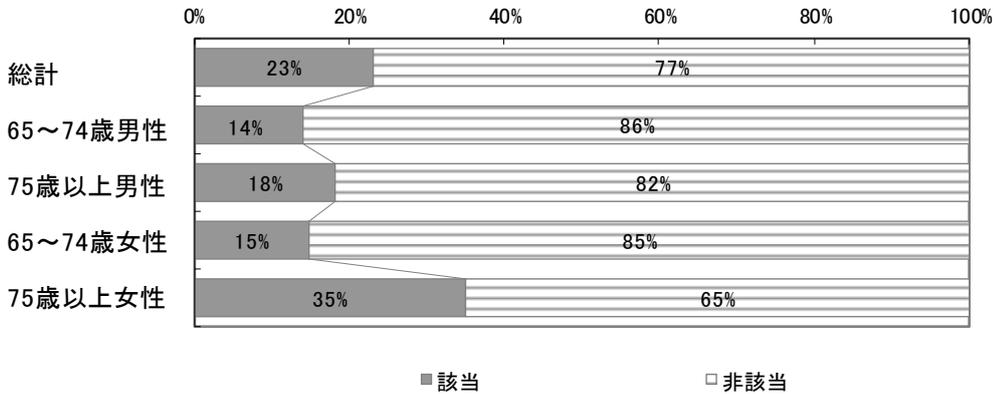
	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
該当	136	21%	2	2%	34	20%	11	9%	89	38%
非該当	497	79%	104	98%	136	80%	111	91%	146	62%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



運動器機能低下のリスクがある方（問 2（1）～（3）の「3」、問 2（4）～（5）の「1」または「2」について 3 項目以上該当）は、回答者全体の 21%で、男性より女性の方が該当者の割合が高く、75 歳以上女性では 38%にのびります。

2 閉じこもりのリスク

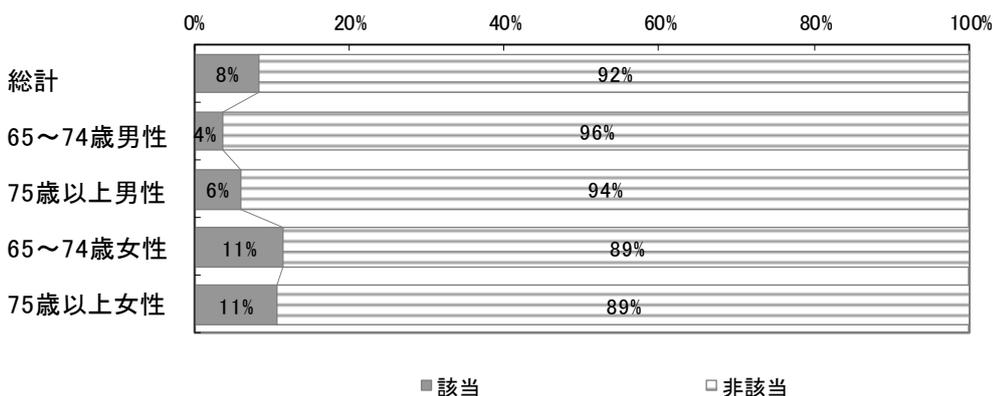
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
該当	146	23%	15	14%	31	18%	18	15%	82	35%
非該当	487	77%	91	86%	139	82%	104	85%	153	65%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



閉じこもりのリスクがある方（問2（6）が「1」または「2」の方）は、回答者全体の23%で、75歳以上女性では35%にのびます。

3 低栄養のリスク

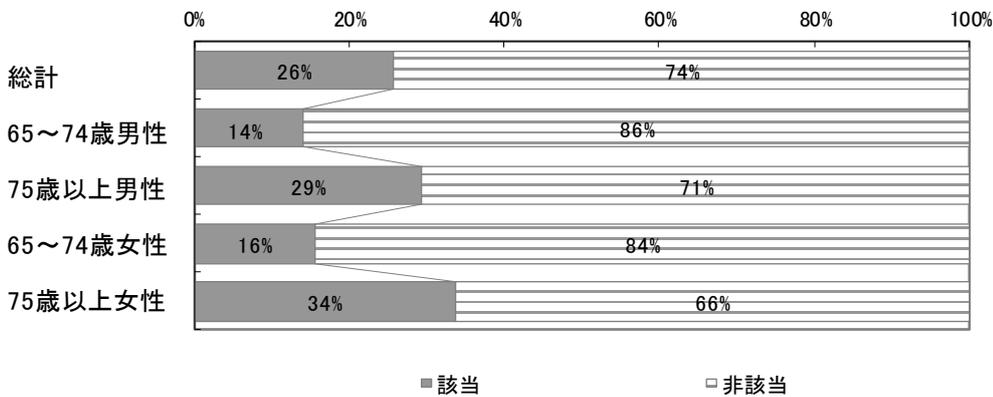
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
該当	53	8%	4	4%	10	6%	14	11%	25	11%
非該当	580	92%	102	96%	160	94%	108	89%	210	89%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



低栄養のリスクがある方（問3（1）でBMIが18.5未満の方）は、回答者全体の8%で、男性より女性の方が該当者の割合が高くなっています。

4 口腔機能低下のリスク

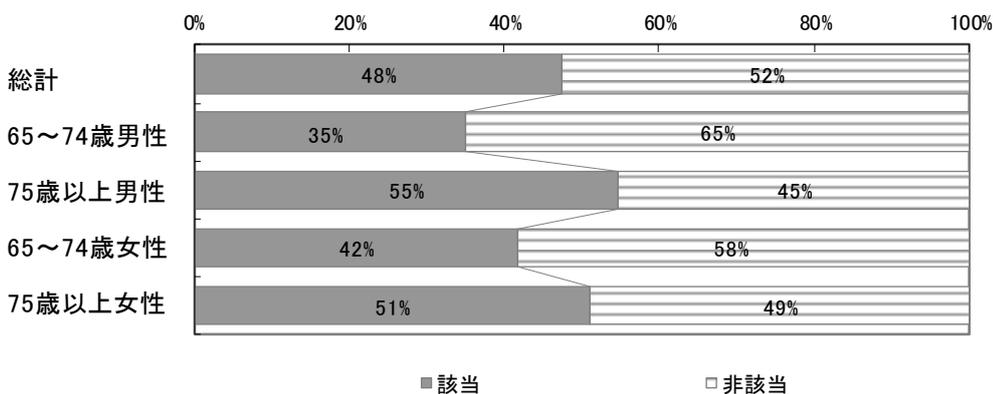
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
該当	163	26%	15	14%	50	29%	19	16%	79	34%
非該当	470	74%	91	86%	120	71%	103	84%	156	66%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



口腔機能低下のリスクがある方（問3（4）～（6）で「1」が2項目以上の方）は、回答者全体の26%で、年齢が高いほど、割合が高くなっています。

5 認知機能低下のリスク

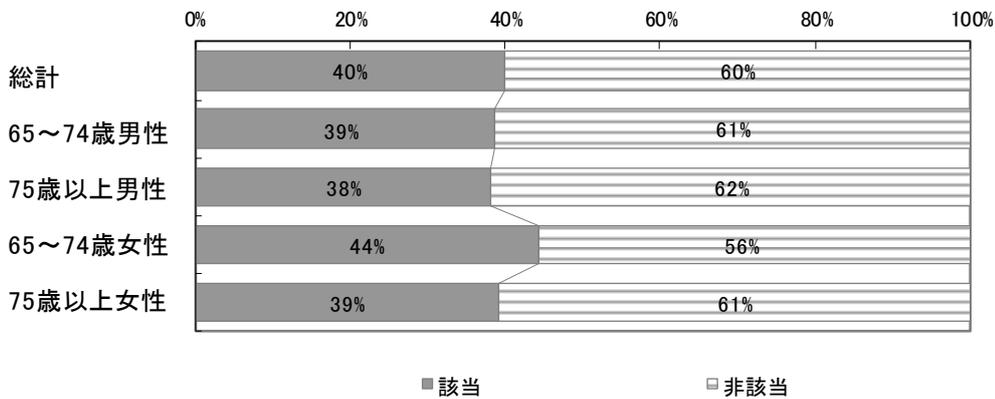
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
該当	301	48%	37	35%	93	55%	51	42%	120	51%
非該当	332	52%	69	65%	77	45%	71	58%	115	49%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



認知機能低下のリスクがある方（問4（1）で「1」に該当する方）は、回答者全体の48%で、年齢が高いほど、割合が高くなっています。

6 うつのリスク

	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
該当	252	40%	41	39%	65	38%	54	44%	92	39%
非該当	381	60%	65	61%	105	62%	68	56%	143	61%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



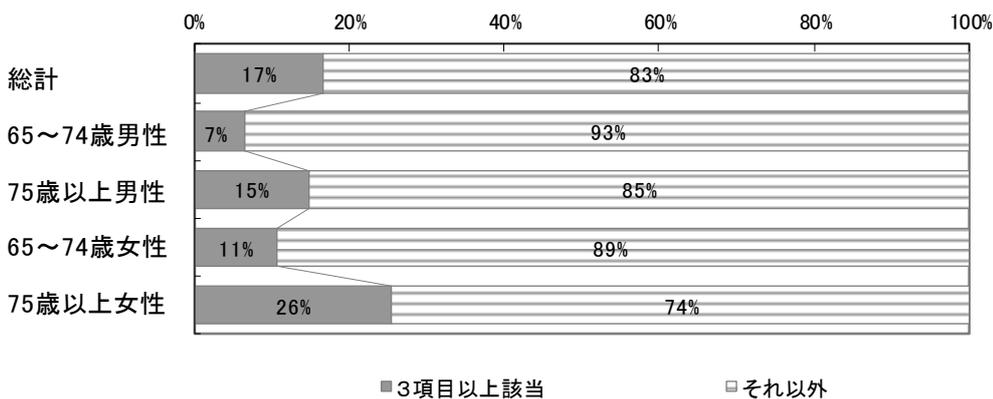
うつのリスクがある方（問7（3）と（4）でいずれかが「1」の方）は、回答者全体の40%で、他の項目ほど、性別や年齢による差はみられない状況です。

7 6項目中の該当の数

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1項目のみ該当	199	31%	38	36%	51	30%	41	34%	69	29%
2項目のみ該当	121	19%	13	12%	38	22%	18	15%	52	22%
3項目のみ該当	60	9%	7	7%	18	11%	8	7%	27	11%
4項目のみ該当	31	5%	0	0%	5	3%	3	2%	23	10%
5項目のみ該当	10	2%	0	0%	0	0%	2	2%	8	3%
6項目すべて該当	4	1%	0	0%	2	1%	0	0%	2	1%
いずれにも該当しない	208	33%	48	45%	56	33%	50	41%	54	23%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%

〔再掲〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3項目以上該当	105	17%	7	7%	25	15%	13	11%	60	26%
それ以外	528	83%	99	93%	145	85%	109	89%	175	74%
合計	633	100%	106	100%	170	100%	122	100%	235	100%



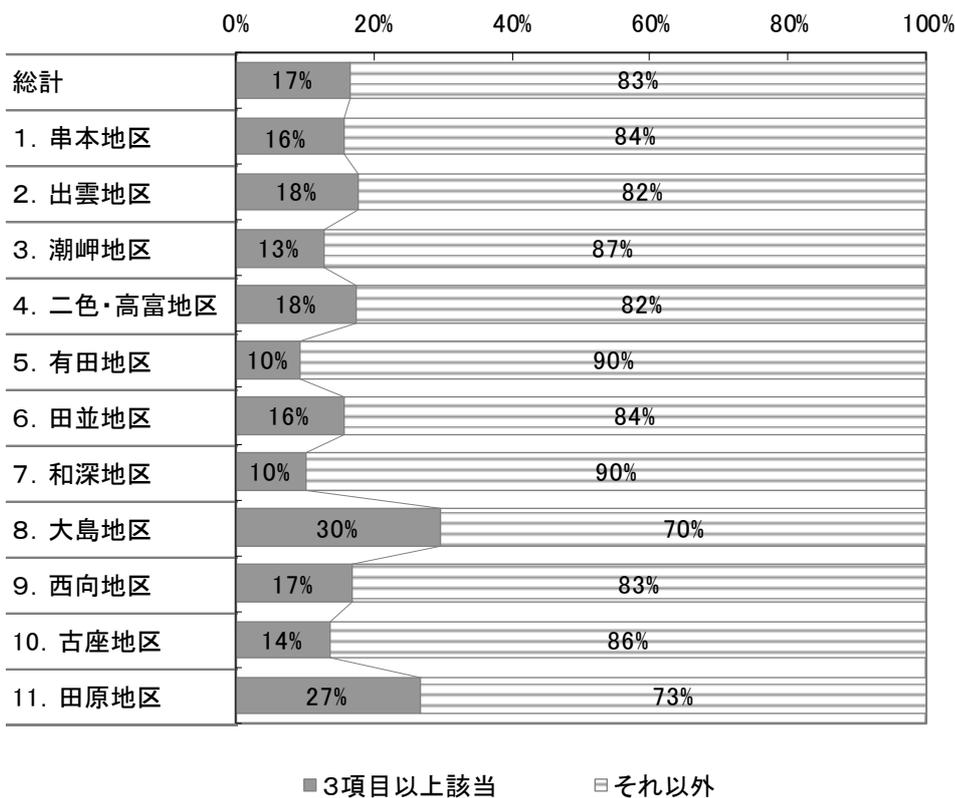
この「生活機能低下の6つのリスクのうち、3項目以上に該当する方」は17%で、要介護状態に進行するリスクの高い、いわゆる「フレイル」(虚弱)の該当者と考えられます。

なお、6項目すべてに該当する方が4人、5項目該当する方が10人みられました。

〔「3項目以上該当者」の地区別の状況〕

	総計		3項目該当		それ以外	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 串本地区（鬮野川、サンゴ台を含む）	158	100%	25	16%	133	84%
2. 出雲地区	28	100%	5	18%	23	82%
3. 潮岬地区	86	100%	11	13%	75	87%
4. 二色・高富地区	17	100%	3	18%	14	82%
5. 有田地区（有田上、吐生を含む）	21	100%	2	10%	19	90%
6. 田並地区（田並上、江田を含む）	32	100%	5	16%	27	84%
7. 和深地区（田子～和深～里川）	39	100%	4	10%	35	90%
8. 大島地区（須江、檜野を含む）	37	100%	11	30%	26	70%
9. 西向地区（姫～古田まで）	119	100%	20	17%	99	83%
10. 古座地区（中湊、上野山、津荷を含む）	51	100%	7	14%	44	86%
11. 田原地区（上田原、佐部を含む）	45	100%	12	27%	33	73%
合計	633	100%	105	17%	528	83%

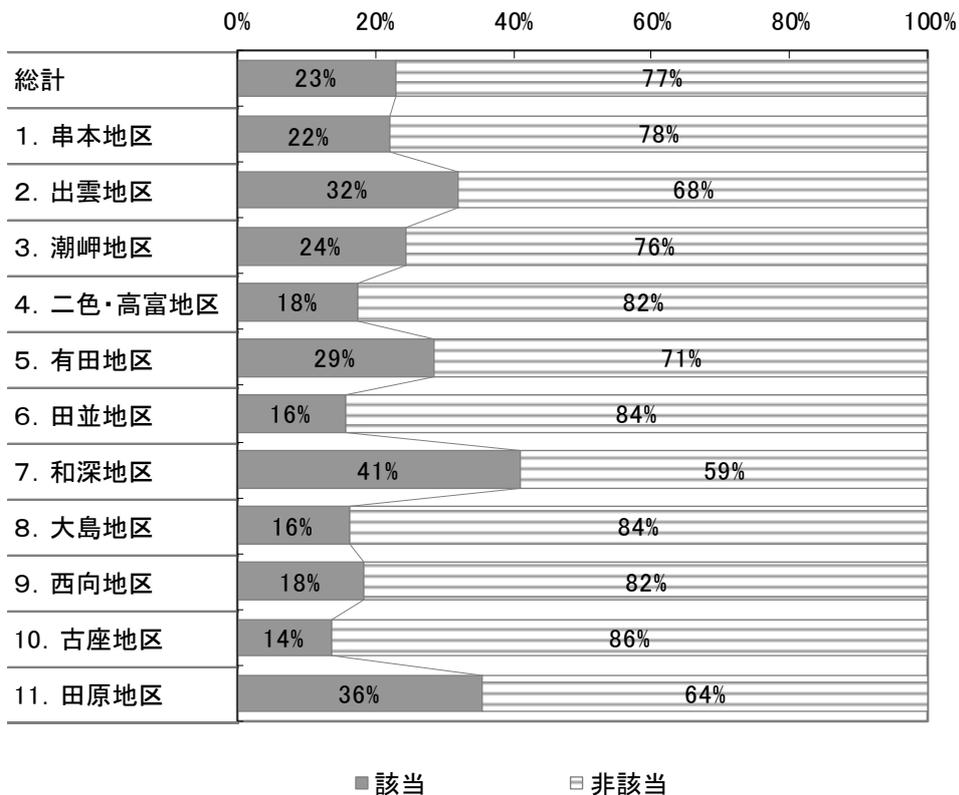
「生活機能低下の6つのリスクのうち、3項目以上に該当する方」の居住地区別の分布をみると、「大島地区」と「田原地区」でやや高く、「有田地区」、「和深地区」、「潮岬地区」でやや低い傾向がみられます。



〔「閉じこもりのリスク」の地区別の状況〕

	総計		該当		それ以外	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 串本地区（鬮野川、サンゴ台を含む）	158	100%	35	22%	123	78%
2. 出雲地区	28	100%	9	32%	19	68%
3. 潮岬地区	86	100%	21	24%	65	76%
4. 二色・高富地区	17	100%	3	18%	14	82%
5. 有田地区（有田上、吐生を含む）	21	100%	6	29%	15	71%
6. 田並地区（田並上、江田を含む）	32	100%	5	16%	27	84%
7. 和深地区（田子～和深～里川）	39	100%	16	41%	23	59%
8. 大島地区（須江、檜野を含む）	37	100%	6	16%	31	84%
9. 西向地区（姫～古田まで）	119	100%	22	18%	97	82%
10. 古座地区（中湊、上野山、津荷を含む）	51	100%	7	14%	44	86%
11. 田原地区（上田原、佐部を含む）	45	100%	16	36%	29	64%
合計	633	100%	146	23%	487	77%

本町は、公共交通手段の不足による外出しづらさが課題となっていることから、「閉じこもりのリスク」について、地区別の分布をみると、「和深地区」、「田原地区」、「出雲地区」で、該当割合が3割を超え、高い割合になっています。



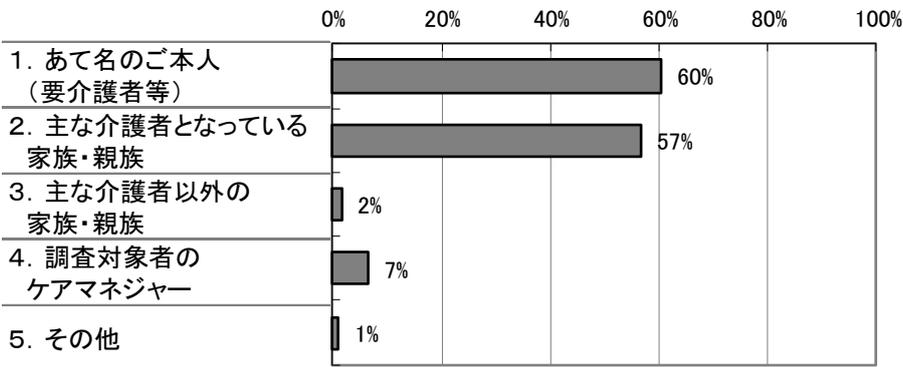
第3編 在宅介護実態調査の集計結果

第1章 属性（基本事項）

A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか？（複数選択可）

	総計	
	人数	割合
1. あて名のご本人（要介護者等）	111	60%
2. 主な介護者となっている家族・親族	104	57%
3. 主な介護者以外の家族・親族	3	2%
4. 調査対象者のケアマネジャー	12	7%
5. その他	2	1%
合計	184	100%

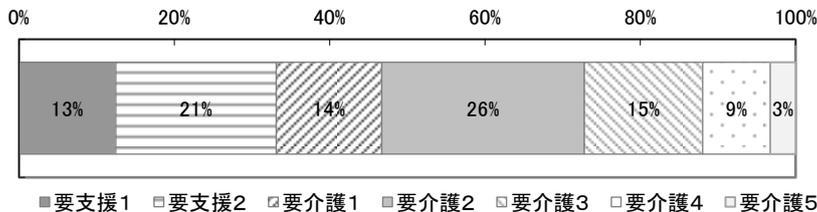
回答者は、「あて名のご本人（要介護者等）」が60%、「主な介護者となっている家族・親族」が57%となっています。



本人の要介護度

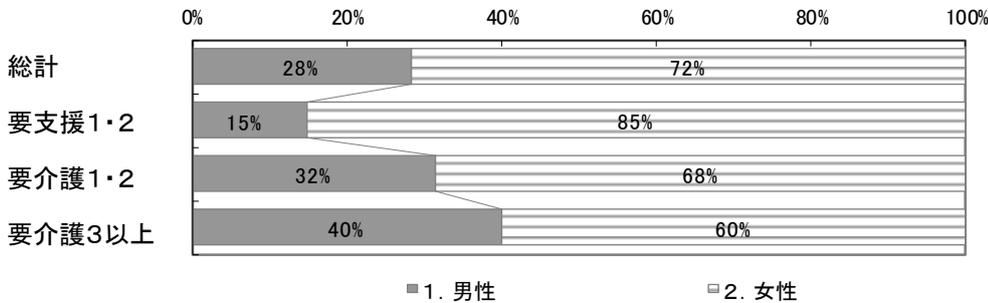
	総計	
	人数	割合
要支援1	23	13%
要支援2	38	21%
要介護1	25	14%
要介護2	48	26%
要介護3	28	15%
要介護4	16	9%
要介護5	6	3%
合計	184	100%

要介護度（要介護認定データに基づく）は、「要介護2」が26%で最も多く、「要支援2」が21%で続いています。以降の調査結果は、要介護度を「要支援1・2」、「要介護1・2」、「要介護3以上」の3つに区分し、各設問の要介護度による傾向の違いをみます。



本人の性別

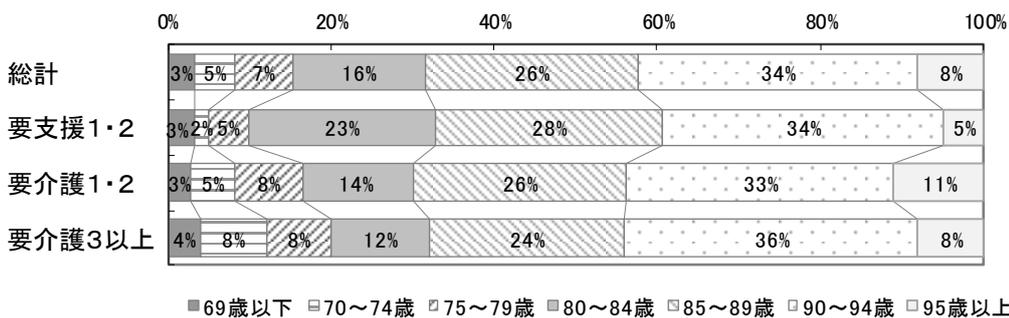
	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	52	28%	9	15%	23	32%	20	40%
2. 女性	132	72%	52	85%	50	68%	30	60%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



性別（要介護認定データに基づく）は、女性が多くなっています。

本人の年齢

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
69歳以下	6	3%	2	3%	2	3%	2	4%
70～74歳	9	5%	1	2%	4	5%	4	8%
75～79歳	13	7%	3	5%	6	8%	4	8%
80～84歳	30	16%	14	23%	10	14%	6	12%
85～89歳	48	26%	17	28%	19	26%	12	24%
90～94歳	63	34%	21	34%	24	33%	18	36%
95歳以上	15	8%	3	5%	8	11%	4	8%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



年齢（要介護認定データに基づく）は、「90～94歳」が34%で最も多く、次いで「85～89歳」が26%、「80～84歳」が16%などとなっています。

障害高齢者自立度

	総計		要支援 1・2		要介護 1・2		要介護 3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自立	1	1%	1	2%	0	0%	0	0%
J 1	7	4%	6	10%	1	1%	0	0%
J 2	49	27%	31	51%	17	23%	1	2%
A 1	39	21%	18	30%	15	21%	6	12%
A 2	44	24%	5	8%	32	44%	7	14%
B 1	15	8%	0	0%	8	11%	7	14%
B 2	20	11%	0	0%	0	0%	20	40%
C 1	3	2%	0	0%	0	0%	3	6%
C 2	6	3%	0	0%	0	0%	6	12%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%

本調査は、要介護認定データと突合することにより、本人の属性をより詳細に把握しています。

要介護認定データより、障害高齢者自立度を集計すると、表のとおりです。

<参考>障害高齢者自立度の判断基準

ランク		判断基準
生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄をベッドから離れて行う 2. 介助により車椅子に移乗する
	ランク C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうたない

認知症高齢者自立度

	総計		要支援 1・2		要介護 1・2		要介護 3 以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自立	49	27%	30	49%	12	16%	7	14%
I	58	32%	26	43%	27	37%	5	10%
II a	18	10%	5	8%	10	14%	3	6%
II b	37	20%	0	0%	23	32%	14	28%
III a	15	8%	0	0%	1	1%	14	28%
III b	3	2%	0	0%	0	0%	3	6%
IV	4	2%	0	0%	0	0%	4	8%
M	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%

要介護認定データより、認知症高齢者自立度を集計すると、表のとおりです。

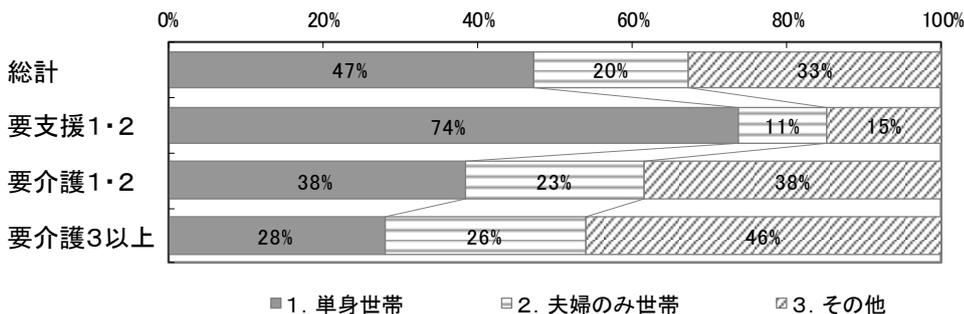
<参考>認知症高齢者自立度の判断基準

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでにできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態がみられる	服薬管理が出来ない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがみられ、介護を必要とする	
III a	日中を中心として上記IIIの状態がみられる	着替え、食事、排便排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上のIIIの状態がみられる	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医を必要とする	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に関連する問題行動が持続する状態等

第2章 回答者の心身の状況や介護の状況（A票）

問1 ご本人（認定調査対象者）の世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

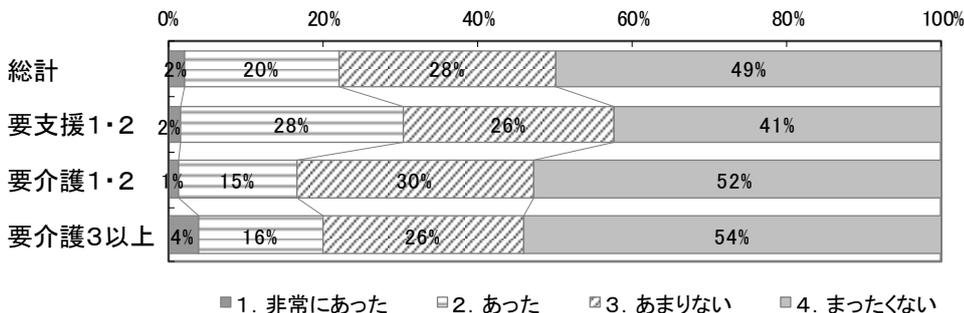
	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 単身世帯	87	47%	45	74%	28	38%	14	28%
2. 夫婦のみ世帯	37	20%	7	11%	17	23%	13	26%
3. その他	60	33%	9	15%	28	38%	23	46%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



世帯構成は、「単身世帯」が47%で最も多く、要支援1・2の層では7割を超えています。

問2 ご本人（認定調査対象者）は、この2年間あまりの新型コロナウイルス感染症の影響により、精神的、身体的に変化はありましたか（1つを選択）

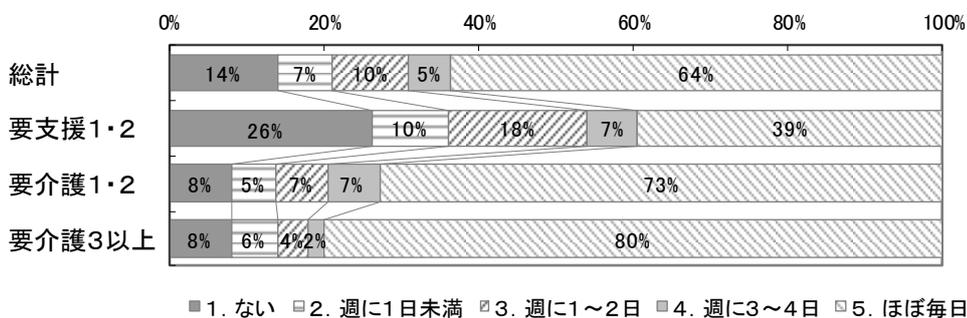
	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 非常にあった	4	2%	1	2%	1	1%	2	4%
2. あった	36	20%	17	28%	11	15%	8	16%
3. あまりない	51	28%	16	26%	22	30%	13	26%
4. まったくない	90	49%	25	41%	38	52%	27	54%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



「新型コロナウイルス感染症の影響」は、「非常にあった」が2%、「あった」が20%、「あまりない」が28%、「まったくない」が49%となっています。

問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ない	26	14%	16	26%	6	8%	4	8%
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	13	7%	6	10%	4	5%	3	6%
3. 家族・親族の介護は、週に1～2日ある	18	10%	11	18%	5	7%	2	4%
4. 家族・親族の介護は、週に3～4日ある	10	5%	4	7%	5	7%	1	2%
5. 家族・親族の介護は、ほぼ毎日ある	117	64%	24	39%	53	73%	40	80%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%

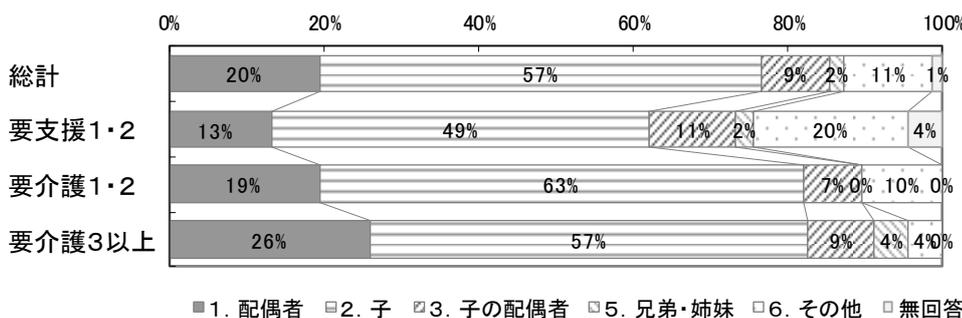


1週間あたりの家族や親族の介護日数は、「ほぼ毎日」が約6割と多くなっています。

問4 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

※問3で選択肢2～5の分を集計しています。

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者	31	20%	6	13%	13	19%	12	26%
2. 子	90	57%	22	49%	42	63%	26	57%
3. 子の配偶者	14	9%	5	11%	5	7%	4	9%
4. 孫	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5. 兄弟・姉妹	3	2%	1	2%	0	0%	2	4%
6. その他	18	11%	9	20%	7	10%	2	4%
無回答	2	1%	2	4%	0	0%	0	0%
合計	158	100%	45	100%	67	100%	46	100%

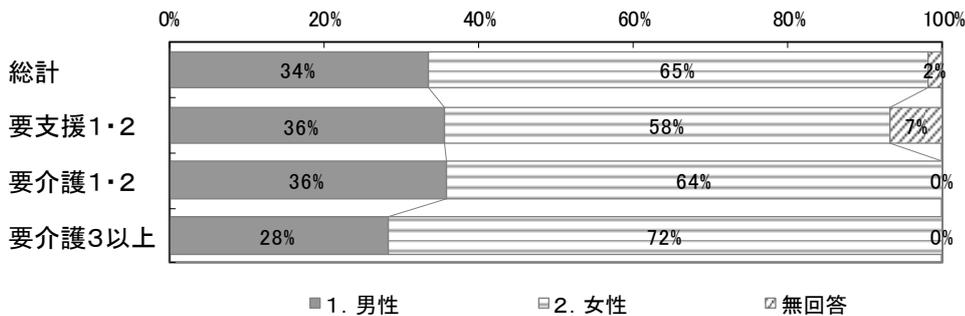


主な介護者は「子」が57%、「配偶者」が20%などとなっています。

問5 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

※問3で選択肢2～5の分を集計しています。

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	53	34%	16	36%	24	36%	13	28%
2. 女性	102	65%	26	58%	43	64%	33	72%
無回答	3	2%	3	7%	0	0%	0	0%
合計	158	100%	45	100%	67	100%	46	100%

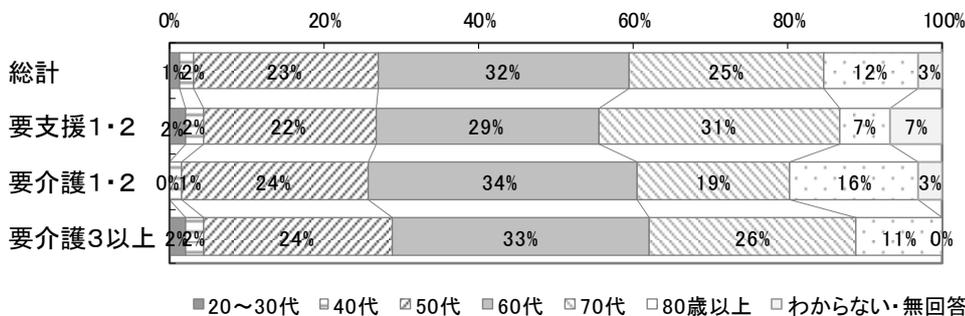


主な介護者は男性が34%、女性が65%となっています。

問6 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

※問3で選択肢2～5の分を集計しています。

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20歳未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
20代	2	1%	1	2%	0	0%	1	2%
30代	2	1%	0	0%	1	1%	1	2%
40代	3	2%	1	2%	1	1%	1	2%
50代	37	23%	10	22%	16	24%	11	24%
60代	51	32%	13	29%	23	34%	15	33%
70代	39	25%	14	31%	13	19%	12	26%
80歳以上	19	12%	3	7%	11	16%	5	11%
わからない	3	2%	1	2%	2	3%	0	0%
無回答	2	1%	2	4%	0	0%	0	0%
合計	158	100%	45	100%	67	100%	46	100%



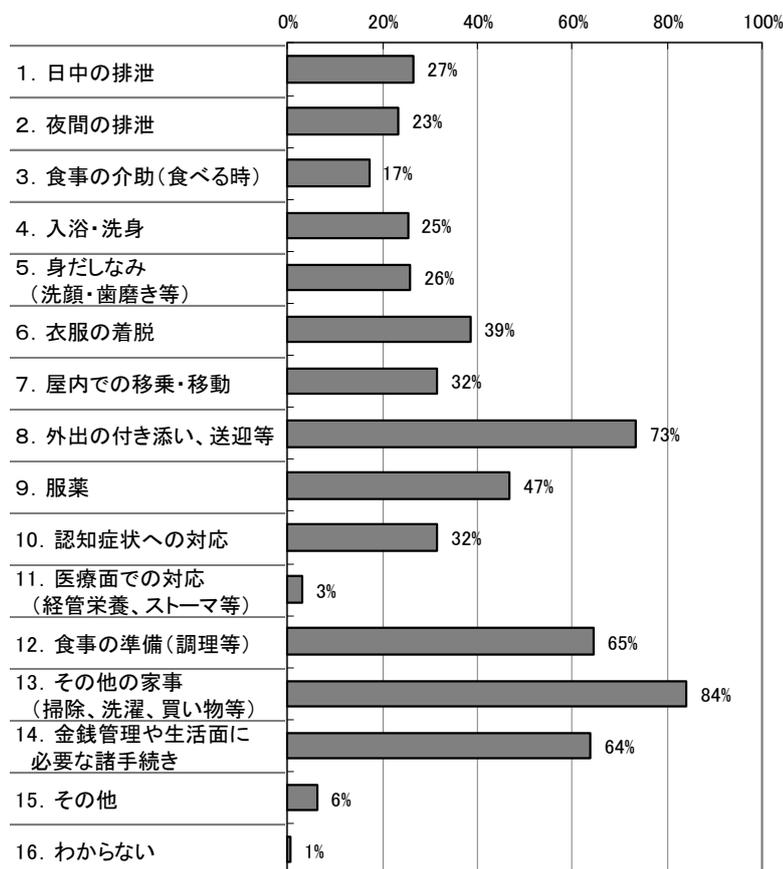
主な介護者の年齢は50代から70代にかけてが多くなっています。

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

※問3で選択肢2～5の分を集計しています。

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 日中の排泄	42	27%	0	0%	13	19%	29	63%
2. 夜間の排泄	37	23%	1	2%	12	18%	24	52%
3. 食事の介助（食べる時）	27	17%	0	0%	5	7%	22	48%
4. 入浴・洗身	40	25%	2	4%	18	27%	20	43%
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	41	26%	1	2%	15	22%	25	54%
6. 衣服の着脱	61	39%	2	4%	29	43%	30	65%
7. 屋内での移乗・移動	50	32%	4	9%	19	28%	27	59%
8. 外出の付き添い、送迎等	116	73%	29	64%	52	78%	35	76%
9. 服薬	74	47%	3	7%	37	55%	34	74%
10. 認知症状への対応	50	32%	4	9%	21	31%	25	54%
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	5	3%	0	0%	0	0%	5	11%
12. 食事の準備（調理等）	102	65%	13	29%	52	78%	37	80%
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	133	84%	30	67%	62	93%	41	89%
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	101	64%	16	36%	47	70%	38	83%
15. その他	10	6%	6	13%	2	3%	2	4%
16. わからない	1	1%	1	2%	0	0%	0	0%
合計	158	100%	45	100%	67	100%	46	100%

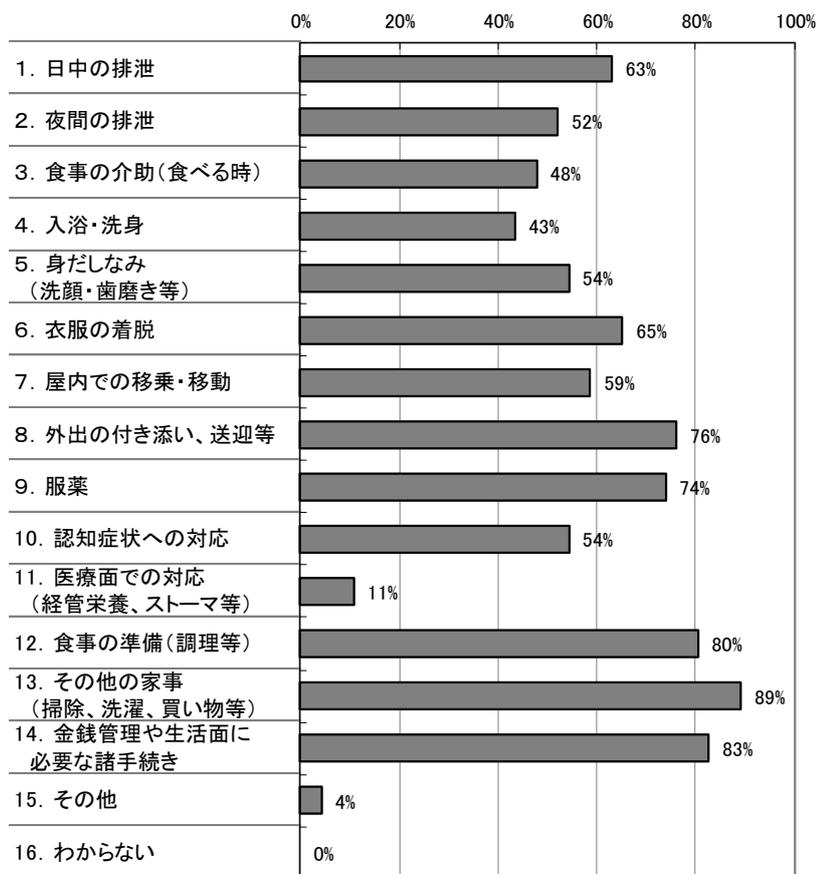
〔総計〕



主な介護者が行っている介護の内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「服薬」の順に多くなっています。

要介護3以上の層をみると、回答の順位傾向に大きな違いはみられませんが、排泄など、身体介護に関する内容の割合が高くなっています。

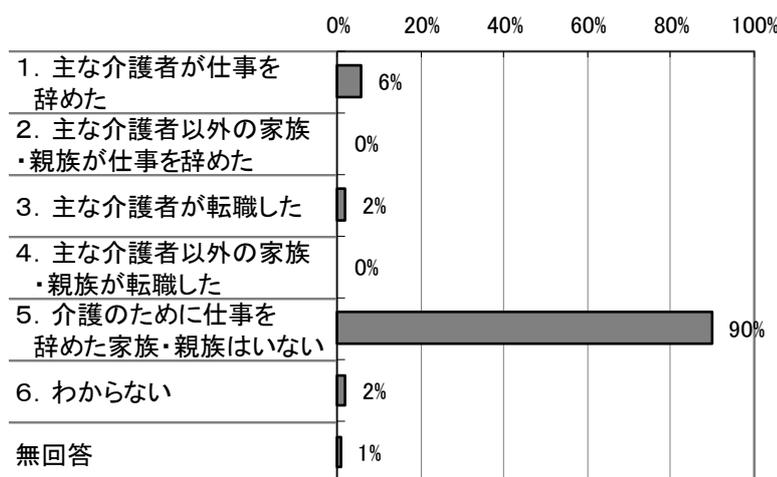
[要介護3以上]



問8 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はおられますか。(複数選択可)

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。
 ※自営業や農林水産業の仕事を辞めた・転職した場合も含まれます。
 ※問3で選択肢2～5の分を集計しています。

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)	9	6%	0	0%	6	9%	3	7%
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職を除く)	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3. 主な介護者が転職した	3	2%	1	2%	2	3%	0	0%
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	142	90%	43	96%	58	87%	41	89%
6. わからない	3	2%	0	0%	1	1%	2	4%
無回答	1	1%	1	2%	0	0%	0	0%
合計	158	100%	45	100%	67	100%	46	100%

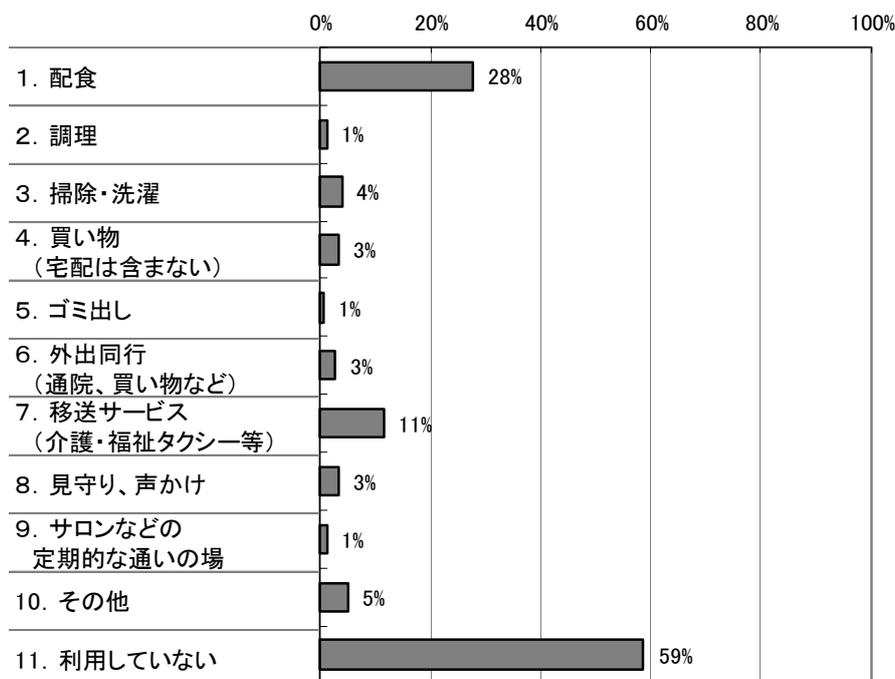


過去1年の間に、介護者等が仕事を辞めたり転職したかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が90%を占め、「主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)」は6%、「主な介護者が転職した」は2%とわずかです。

問9 現在、利用している、「介護サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

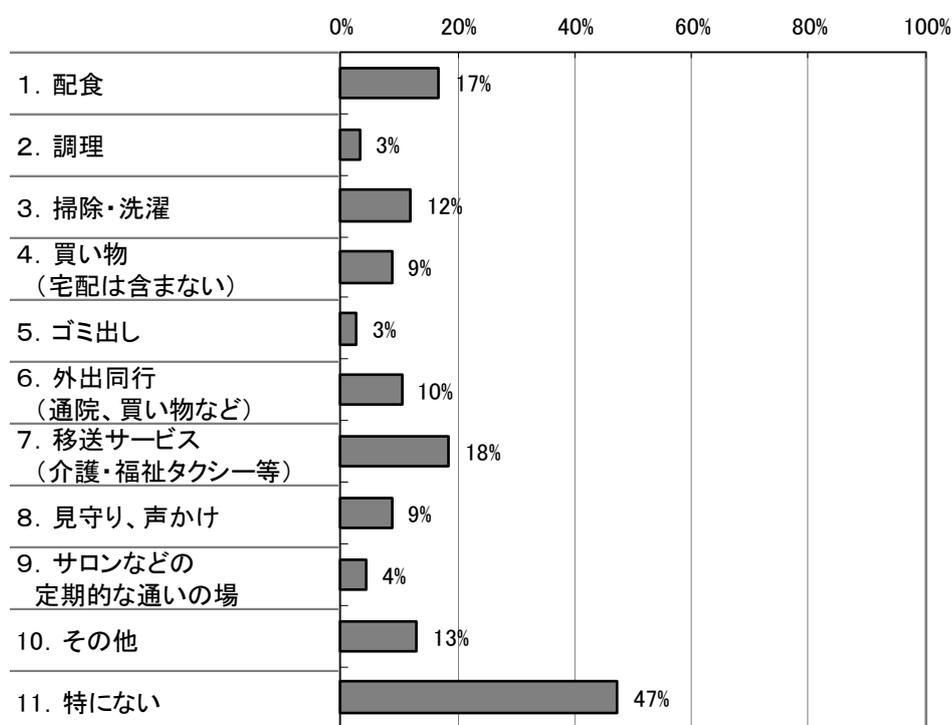
	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配食	51	28%	15	25%	22	30%	14	28%
2. 調理	2	1%	1	2%	1	1%	0	0%
3. 掃除・洗濯	7	4%	2	3%	4	5%	1	2%
4. 買い物（宅配は含まない）	6	3%	2	3%	2	3%	2	4%
5. ゴミ出し	1	1%	1	2%	0	0%	0	0%
6. 外出同行（通院、買い物など）	5	3%	1	2%	3	4%	1	2%
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	21	11%	7	11%	10	14%	4	8%
8. 見守り、声かけ	6	3%	4	7%	2	3%	0	0%
9. サロンなどの定期的な通いの場	2	1%	0	0%	1	1%	1	2%
10. その他	9	5%	3	5%	3	4%	3	6%
11. 利用していない	108	59%	34	56%	44	60%	30	60%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況は、「配食」が28%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11%などとなっています。

問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数回答可）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配食	31	17%	11	18%	12	16%	8	16%
2. 調理	6	3%	2	3%	4	5%	0	0%
3. 掃除・洗濯	22	12%	8	13%	13	18%	1	2%
4. 買い物（宅配は含まない）	16	9%	5	8%	8	11%	3	6%
5. ゴミ出し	5	3%	1	2%	4	5%	0	0%
6. 外出同行（通院、買い物など）	19	10%	8	13%	6	8%	5	10%
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	34	18%	9	15%	17	23%	8	16%
8. 見守り、声かけ	16	9%	6	10%	9	12%	1	2%
9. サロンなどの定期的な通いの場	8	4%	4	7%	3	4%	1	2%
10. その他	24	13%	7	11%	8	11%	9	18%
11. 特にない	87	47%	28	46%	34	47%	25	50%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



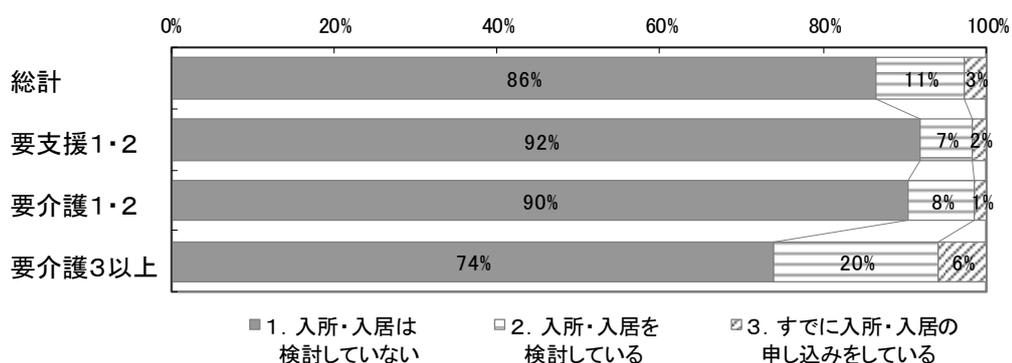
「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用意向は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」に2割近い意向があるなど、多くの項目で、現状（問9）より今後の意向（問9）の方が総じて高くなっています。

身体介護サービスが介護保険サービスで提供されているためか、要介護度が高い層でも、これらのサービスの利用意向は、回答者全体とあまり変わらない状況です。

問 11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

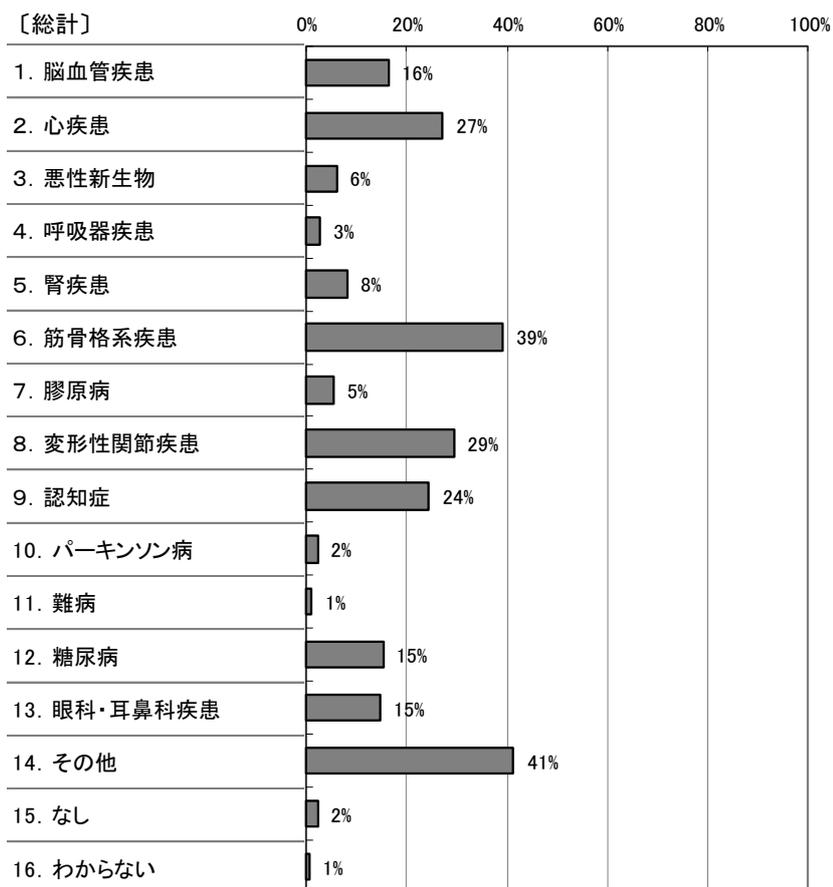
	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 入所・入居は検討していない	159	86%	56	92%	66	90%	37	74%
2. 入所・入居を検討している	20	11%	4	7%	6	8%	10	20%
3. すでに入所・入居の申し込みをしている	5	3%	1	2%	1	1%	3	6%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



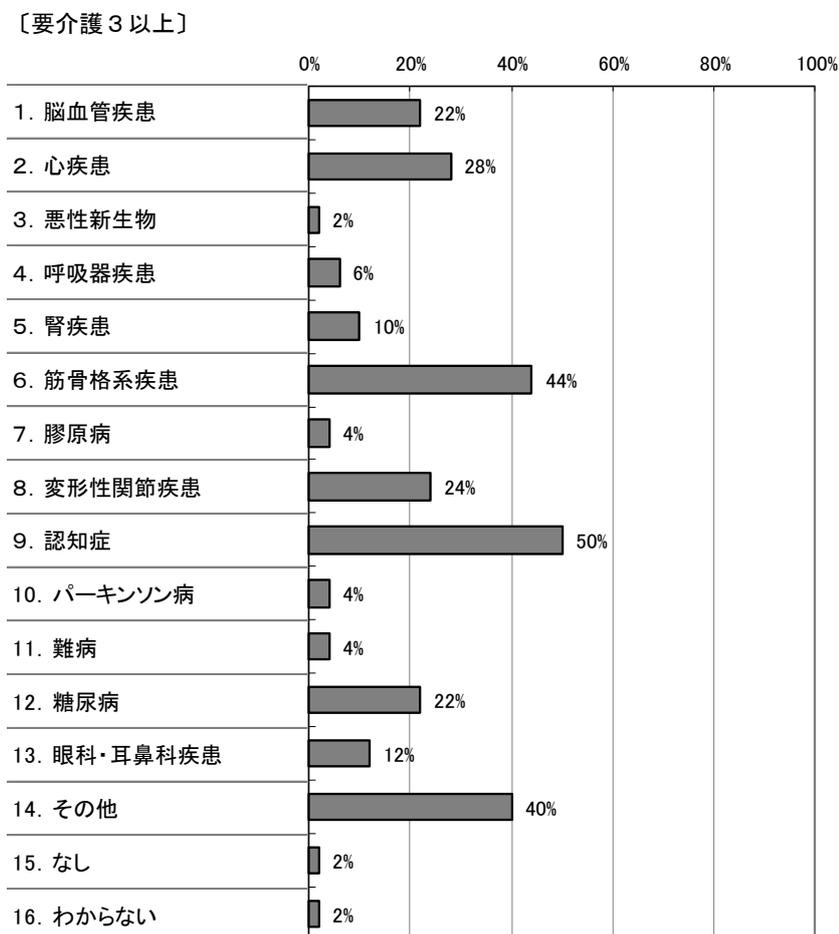
施設等への入所・入居の意向は、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が3%となっており、要介護3以上の層では、6%となっています。

問 12 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 脳血管疾患（脳卒中）	30	16%	3	5%	16	22%	11	22%
2. 心疾患（心臓病）	50	27%	18	30%	18	25%	14	28%
3. 悪性新生物（がん）	11	6%	4	7%	6	8%	1	2%
4. 呼吸器疾患	5	3%	0	0%	2	3%	3	6%
5. 腎疾患（透析）	15	8%	2	3%	8	11%	5	10%
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	72	39%	25	41%	25	34%	22	44%
7. 膠原病（関節リウマチ含む）	10	5%	4	7%	4	5%	2	4%
8. 変形性関節疾患	54	29%	20	33%	22	30%	12	24%
9. 認知症	45	24%	1	2%	19	26%	25	50%
10. パーキンソン病	4	2%	0	0%	2	3%	2	4%
11. 難病（パーキンソン病を除く）	2	1%	0	0%	0	0%	2	4%
12. 糖尿病	28	15%	7	11%	10	14%	11	22%
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	27	15%	7	11%	14	19%	6	12%
14. その他	76	41%	27	44%	29	40%	20	40%
15. なし	4	2%	3	5%	0	0%	1	2%
16. わからない	1	1%	0	0%	0	0%	1	2%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



現在抱えている傷病については、「その他」が41%、「筋骨格系疾患」が39%、「変形性関節疾患」が29%、「心疾患」が27%、「認知症」が24%などとなっています。
「その他」の自由記入欄には「高血圧」という回答が多くみられました。

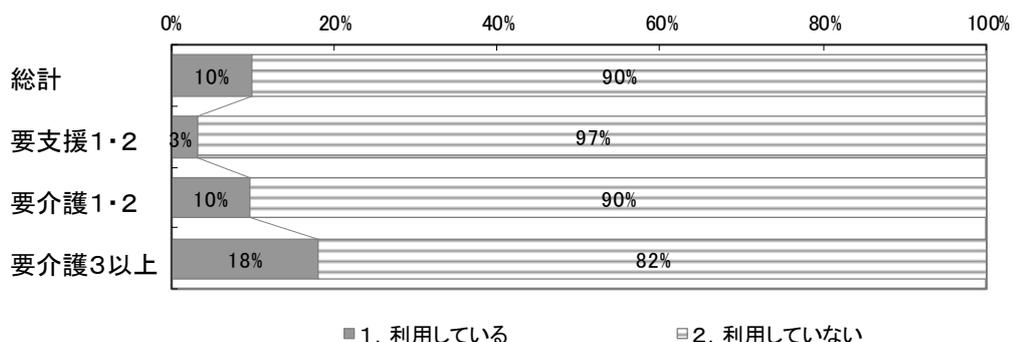


要介護3以上の層では、「認知症」が50%と最も多くなっています。

問 13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

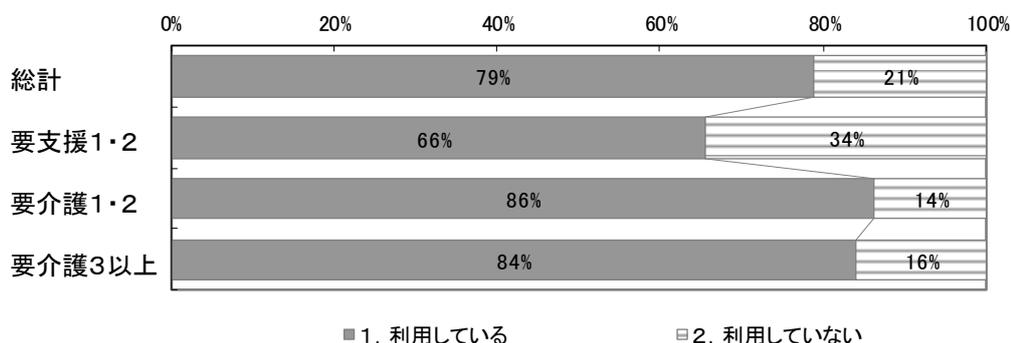
	総計		要支援 1・2		要介護 1・2		要介護 3 以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	18	10%	2	3%	7	10%	9	18%
2. 利用していない	166	90%	59	97%	66	90%	41	82%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



訪問診療の利用状況については、「利用している」は10%で、要介護3以上の層では18%と高くなっています。

問 14 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

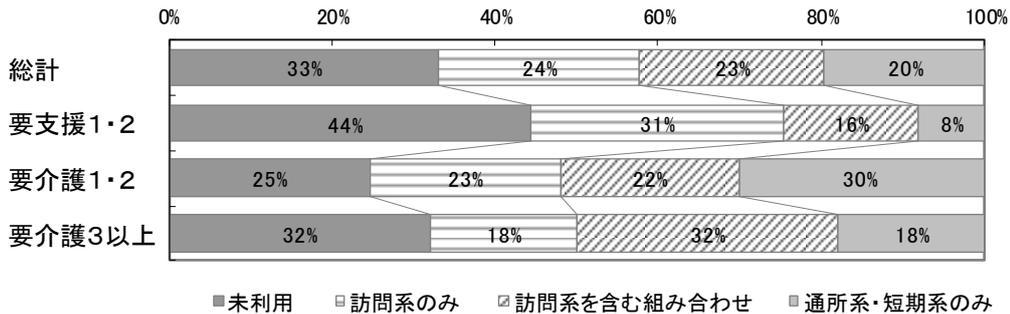
	総計		要支援 1・2		要介護 1・2		要介護 3 以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	145	79%	40	66%	63	86%	42	84%
2. 利用していない	39	21%	21	34%	10	14%	8	16%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用の有無は、「利用している」は79%、「利用していない」は21%となっており、要支援1・2の層は、利用率が66%と他の層と比べ低くなっています。

◆要介護認定データに基づく「サービス利用の組み合わせ」ごとの利用の有無

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
未利用	61	33%	27	44%	18	25%	16	32%
訪問系のみ利用	45	24%	19	31%	17	23%	9	18%
訪問系を含む組み合わせでの利用	42	23%	10	16%	16	22%	16	32%
通所系・短期入所系のみ利用	36	20%	5	8%	22	30%	9	18%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



各介護保険サービスを、訪問系、通所系、短期入所系に分類し、要介護認定データに基づく利用状況を「訪問系のみ利用」、「訪問系を含む組み合わせでの利用」、「通所系・短期入所系のみ利用」に区分して集計しました。訪問系は家庭内介護の代替機能を、通所系・短期入所系は、レスパイト機能をもつことに着目しています。

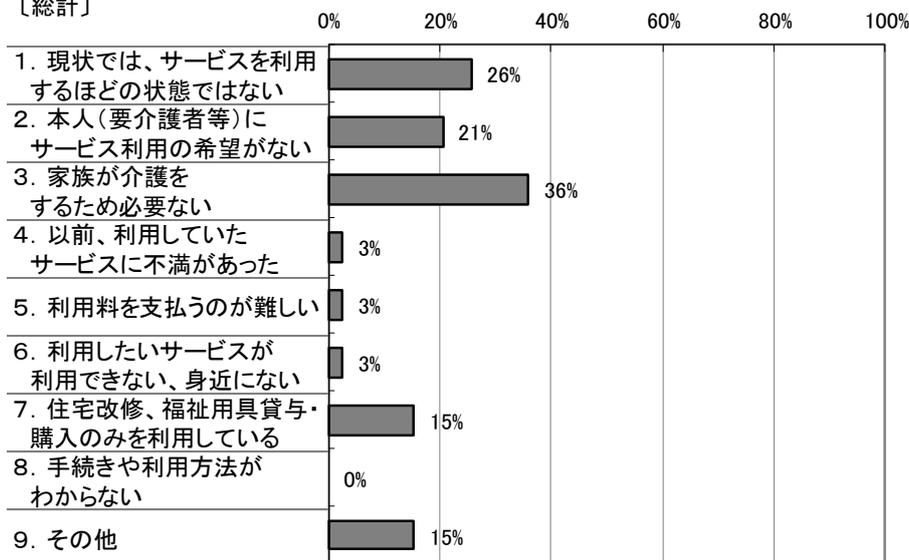
その結果、「訪問系のみ利用」が24%、「訪問系を含む組み合わせでの利用」が23%、「通所系・短期入所系のみ利用」が20%という分布状況で、「未利用」は33%でした。

要介護度別にみると、要支援1・2の層は、要介護1以上の層に比べ「未利用」が多く、要介護1・2の層は「通所系・短期入所系のみ利用」が多く、要介護3以上の層は「訪問系を含む組み合わせでの利用」が多いという特徴があり、要介護度の重度化により、各サービス形態を組み合わせた利用が進む実態がみてとれます。

問 15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

	総計		要支援 1・2		要介護 1・2		要介護 3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	10	26%	8	38%	2	20%	0	0%
2. 本人（要介護者等）にサービス利用の希望がない	8	21%	4	19%	2	20%	2	25%
3. 家族が介護をするため必要ない	14	36%	3	14%	5	50%	6	75%
4. 以前、利用していたサービスに不満があった	1	3%	1	5%	0	0%	0	0%
5. 利用料を支払うのが難しい	1	3%	0	0%	0	0%	1	13%
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない	1	3%	0	0%	0	0%	1	13%
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用している	6	15%	2	10%	2	20%	2	25%
8. サービスを利用したいが手続きや利用方法がわからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9. その他	6	15%	4	19%	1	10%	1	13%
合計	39	100%	21	100%	10	100%	8	100%

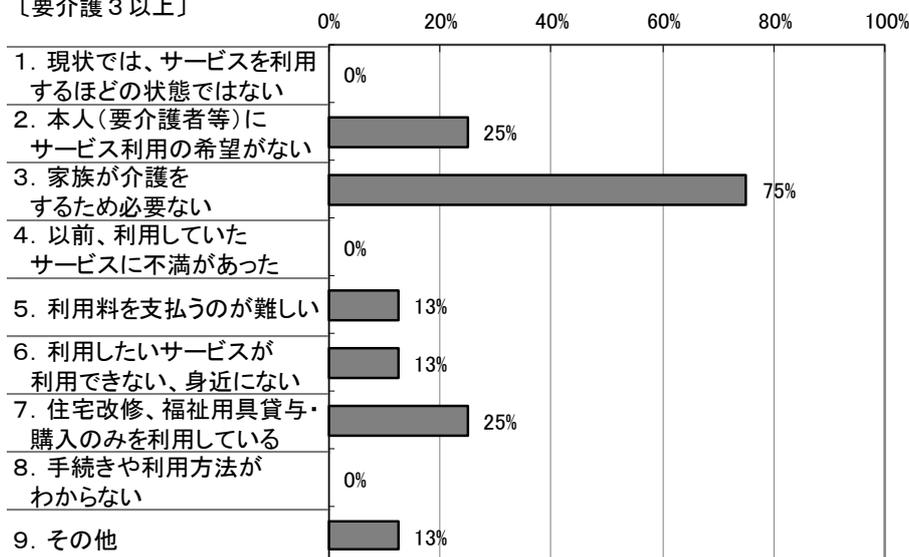
〔総計〕



介護保険サービスを利用していない理由は、「家族が介護をするため必要ない」が36%で、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が26%、「本人（要介護者等）にサービス利用の希望がない」が21%などとなっています。

要介護3以上の層では、「家族が介護をするため必要ない」が75%と高い割合になっています。

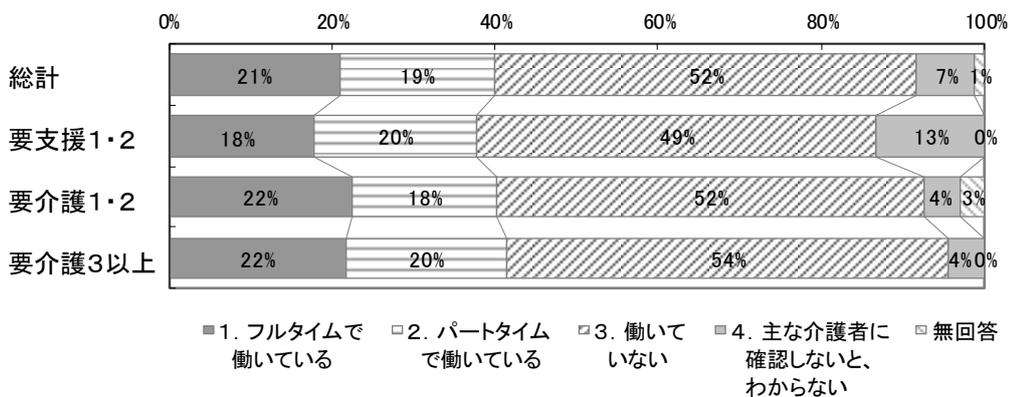
〔要介護3以上〕



第3章 介護者への負担の状況（B票）

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. フルタイムで働いている	33	21%	8	18%	15	22%	10	22%
2. パートタイムで働いている	30	19%	9	20%	12	18%	9	20%
3. 働いていない	82	52%	22	49%	35	52%	25	54%
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	11	7%	6	13%	3	4%	2	4%
無回答	2	1%	0	0%	2	3%	0	0%
合計	158	100%	45	100%	67	100%	46	100%

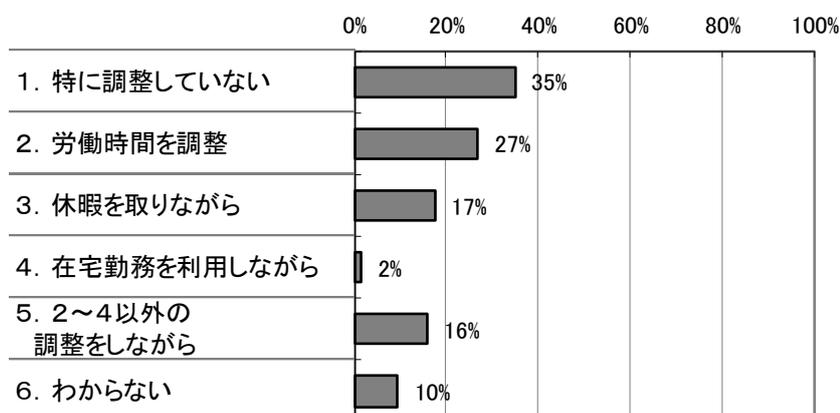


主な介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が21%、「パートタイムで働いている」が19%、「働いていない」が52%などとなっています。要介護3以上の層の介護者でも22%がフルタイムで働いています。

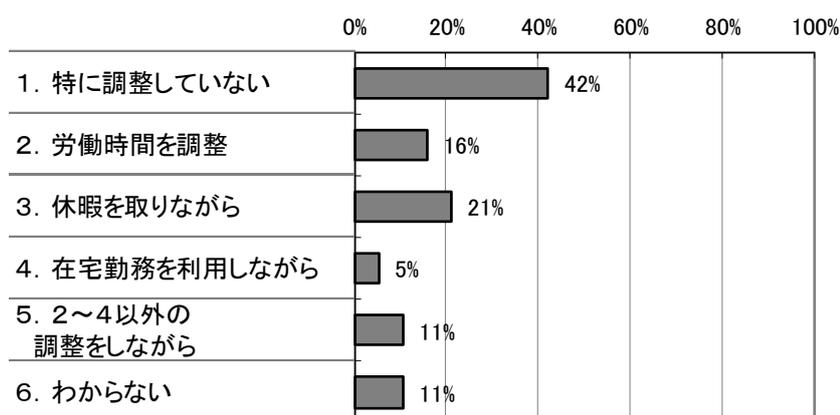
問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 特に調整していない	22	35%	5	29%	9	33%	8	42%
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	17	27%	4	24%	10	37%	3	16%
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	11	17%	4	24%	3	11%	4	21%
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	1	2%	0	0%	0	0%	1	5%
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	10	16%	3	18%	5	19%	2	11%
6. 主な介護者に確認しないと、わからない	6	10%	2	12%	2	7%	2	11%
合計	63	100%	17	100%	27	100%	19	100%

〔総計〕



〔要介護3以上〕



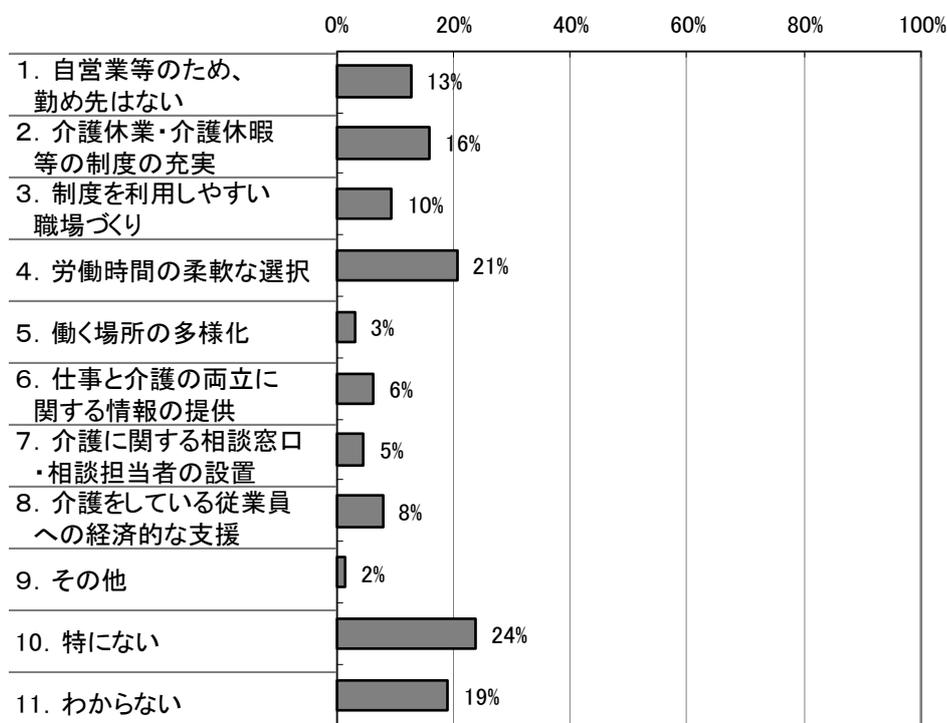
働き方についての調整等については、「特に調整していない」が35%、「労働時間を調整しながら、働いている」が27%、「休暇を取りながら、働いている」が17%、「労働時間調整、休暇、在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」が16%などとなっています。

要介護3以上の層でも、「特に調整していない」が42%と多く、就労と介護を両立している実態がみてとれます。

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	8	13%	2	12%	3	11%	3	16%
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実	10	16%	2	12%	4	15%	4	21%
3. 制度を利用しやすい職場づくり	6	10%	2	12%	1	4%	3	16%
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）	13	21%	2	12%	7	26%	4	21%
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワーク等）	2	3%	0	0%	2	7%	0	0%
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供	4	6%	1	6%	2	7%	1	5%
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	3	5%	1	6%	1	4%	1	5%
8. 介護をしている従業員への経済的な支援	5	8%	2	12%	3	11%	0	0%
9. その他	1	2%	0	0%	1	4%	0	0%
10. 特にない	15	24%	2	12%	8	30%	5	26%
11. 主な介護者に確認しないと、わからない	12	19%	6	35%	4	15%	2	11%
合計	63	100%	17	100%	27	100%	19	100%

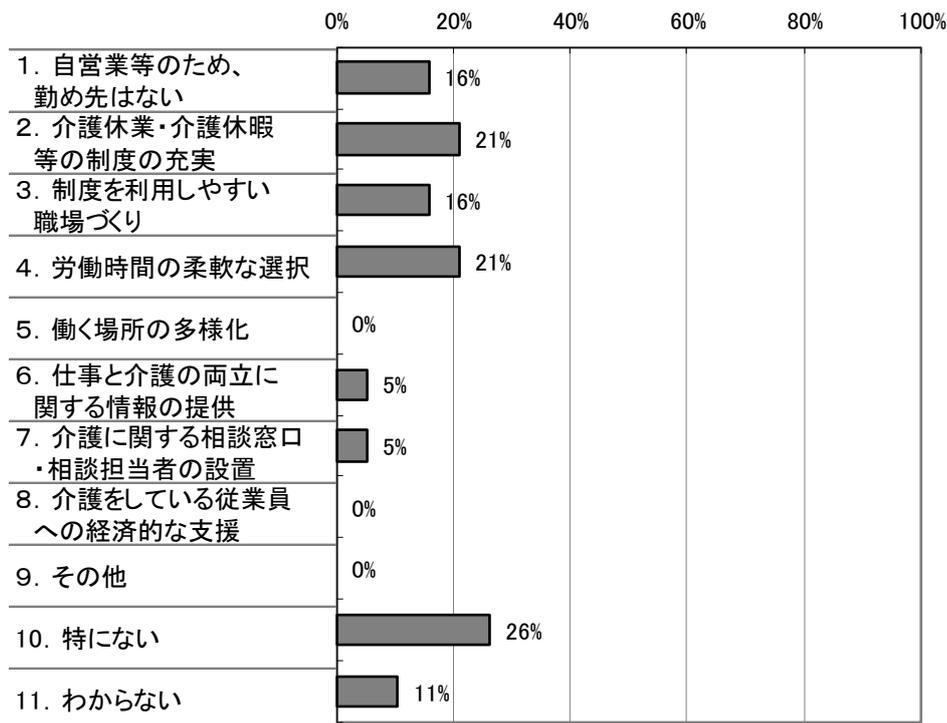
〔総計〕



仕事と介護の両立に効果がある支援については、「特にない」も多くなっていますが、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）」が21%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が16%などとなっています。

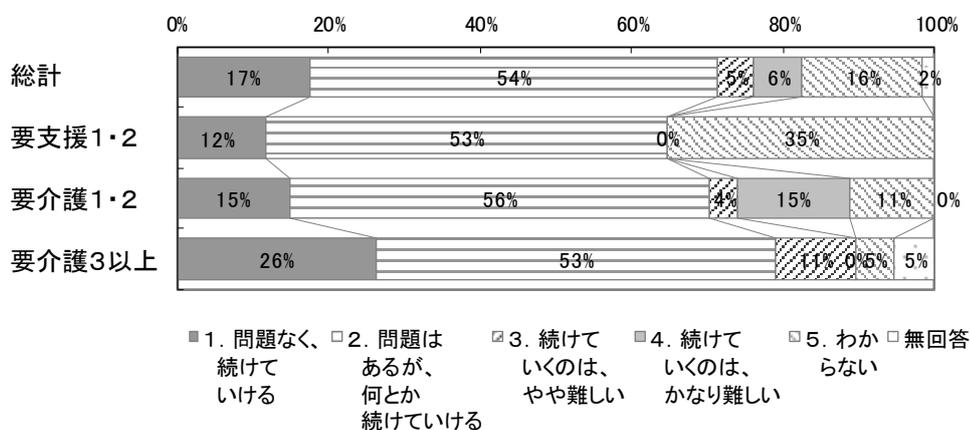
要介護3以上の層でも、概ね同様の傾向を示しています。

[要介護3以上]



問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 問題なく、続けていける	11	17%	2	12%	4	15%	5	26%
2. 問題はあるが、何とか続けていける	34	54%	9	53%	15	56%	10	53%
3. 続けていくのは、やや難しい	3	5%	0	0%	1	4%	2	11%
4. 続けていくのは、かなり難しい	4	6%	0	0%	4	15%	0	0%
5. 主な介護者に確認しないと、わからない	10	16%	6	35%	3	11%	1	5%
無回答	1	2%	0	0%	0	0%	1	5%
合計	63	100%	17	100%	27	100%	19	100%

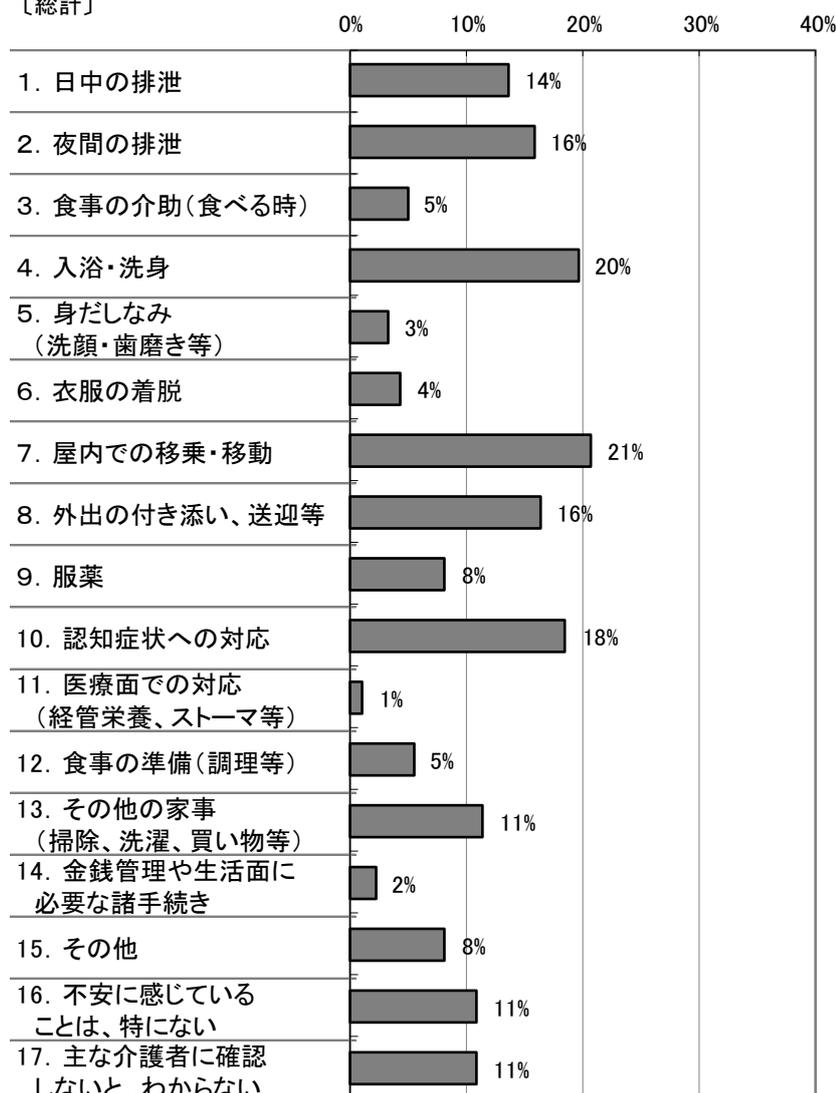


働きながら介護を続けていくことについては、「続けていくのは、かなり難しい」は6%、「続けていくのは、やや難しい」は5%となっています。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

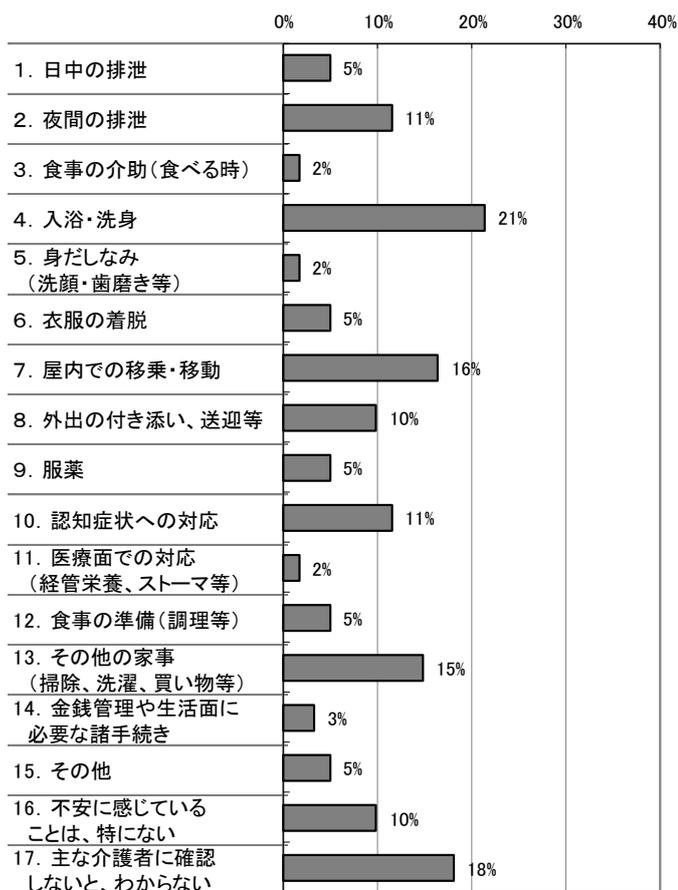
	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 日中の排泄	25	14%	3	5%	10	14%	12	24%
2. 夜間の排泄	29	16%	7	11%	12	16%	10	20%
3. 食事の介助（食べる時）	9	5%	1	2%	4	5%	4	8%
4. 入浴・洗身	36	20%	13	21%	15	21%	8	16%
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6	3%	1	2%	3	4%	2	4%
6. 衣服の着脱	8	4%	3	5%	3	4%	2	4%
7. 屋内での移乗・移動	38	21%	10	16%	19	26%	9	18%
8. 外出の付き添い、送迎等	30	16%	6	10%	16	22%	8	16%
9. 服薬	15	8%	3	5%	10	14%	2	4%
10. 認知症状への対応	34	18%	7	11%	16	22%	11	22%
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	2	1%	1	2%	1	1%	0	0%
12. 食事の準備（調理等）	10	5%	3	5%	6	8%	1	2%
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	21	11%	9	15%	11	15%	1	2%
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	4	2%	2	3%	1	1%	1	2%
15. その他	15	8%	3	5%	1	1%	11	22%
16. 不安に感じていることは、特にない	20	11%	6	10%	8	11%	6	12%
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	20	11%	11	18%	5	7%	4	8%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%

〔総計〕

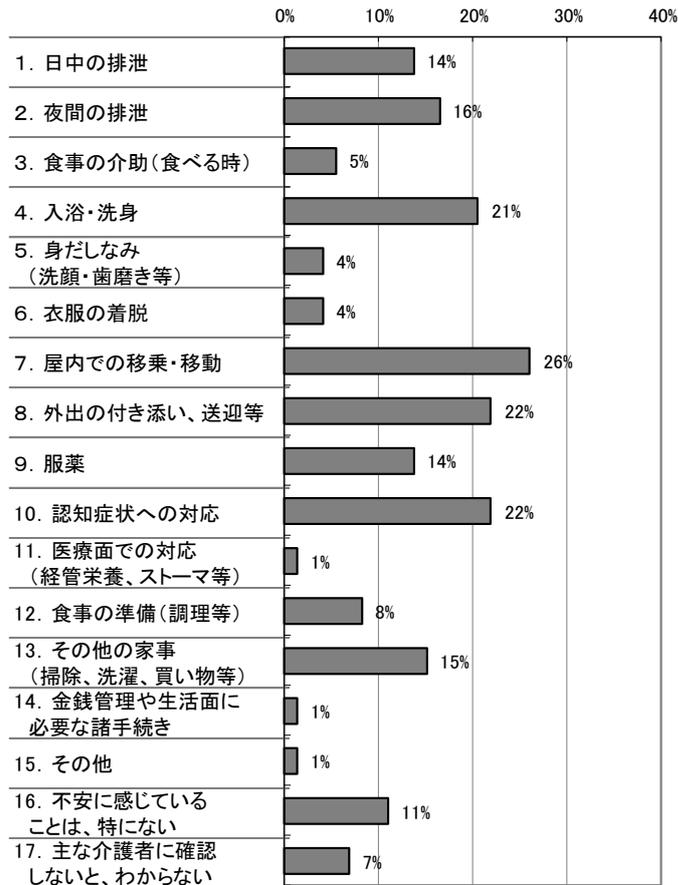


現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安を感じる介護の内容は、「屋内での移乗・移動」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」、「外出の付き添い、送迎等」、「夜間の排泄」の順に多くなっています。

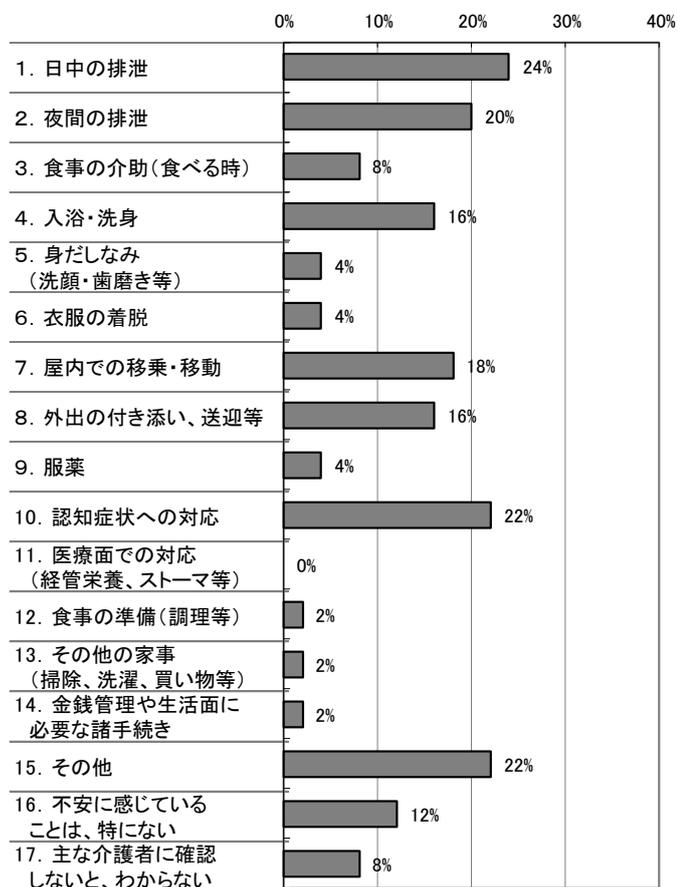
〔要支援 1・2〕



〔要介護 1・2〕



〔要介護 3以上〕



「主な介護者が不安に感じる介護の内容」を要介護度別にみると、要支援 1・2 では少ない「認知症状への対応」が要介護 1 以上で多くなり、関連して、「服薬」も同様の傾向を示しています。

第4章 自由意見

★ 最後に、高齢者への公的な支援について、ご意見、ご要望があれば、お寄せください。

- 妻が月2回、1週間のショートステイを利用しており、その時に独りになるため、不安である。
- 介護者が病気や体調不良のため、どうしたらいいか心配です。
- 往診、救急訪問診療の充実（特に夜間）。
- 訪問診療は、短期入所中に受けたもの。
- 夫婦二人暮らしで、息子二人はすでに他界しており、今後の生活に不安を感じている。
- 夫婦二人暮らし。息子二人はすでに他界。不安が大きい。
- ヘルパーの訪問が、夕方 16~17 時を希望しているが、曜日によってばらつきがある。配食後、サイドテーブルに準備しているが、ベッド下によく落としている。
- 治療食の配食サービスをしてほしい。
- 介護者がいないため、B票記入なし。
- オムツ支給。最終の残金に自費を足してでも、満額使えればよい。
- ベッドアームがないと立てないが、要介護1に下がって、外しますと言われてつらかった。現在は自費でそのまま使っている。
- 自然災害時の避難支援。
- 介護者の働き方の調整の内容は、「時間給を減らしている」、「年に3回有休をとれる」、「急な場合は交代してもらおう」などをしてもらっている。高齢のため、代替わりの人を探してもらっているが、不規則な仕事のため、後継者が定まらない。
- ・ショートステイの予約が取りにくい。・介護者の働き方の調整については、介護者が配食サービスに従事しており、要介護者本人も利用者になっているので、勤務時間の中で、配達の順番を調整している。
- 介護者は、本人が認知症のため、ガスの事故を心配している。
- コロナの影響について。12月3日、オミクロン予防接種後、入浴後、気分不良。意識消失した。
- コロナの影響について。昨年暮れのコロナ感染から、一気にADLが低下した。
- 介護保険サービスは、今までは必要なかったが、先月からADLの低下により、サービスを希望されている。
- 「働き方の調整」は自営業なので、仕事の合間に介護を行っている。

- ・介護タクシーを増やしてほしい。・介護者のストレスのフォローをしてほしい（認知症介護者の会のようなものがほしい。）。
- 自力で動けなくなった時がつらい。
- ・タクシー事業所の不足で、通院手段に困る人が多い。・ヘルパー事業所も不足している。特に土日。ショートステイの利用日数を増やしたいが、限度額が足りない。

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護・介助の「その他」

- △ 書類の代筆
- △ 身体介護は、主に見守り。
- △ 安否確認。ショートステイの送り出し・荷物準備。
- △ 畑の仕事（できる範囲で）。
- △ 本人の体調が悪いとき。
- △ 月2回見守り隊
- △ 体調が悪い時
- △ 対象者以外の要介護者の送迎
- △ 判断できないことに対する雑談。
- △ 月1回程度、様子をみにくる。
- △ 本人が気にするので、雨戸を開ける
- △ 法事、盆正月の準備

問9 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスの「その他」

- △ バスの割引
- △ 知人に、金銭管理とケアプラン作成への参加を頼んでいる。
- △ 草引き、ガラスふき（シルバー人材センター）
- △ 庭仕事、仏壇のお供え
- △ 庭の手入れ
- △ リハビリのボランティア
- △ 自費で家事支援
- △ ショートステイ

問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスの「その他」

- △ 手すり貸与など
- △ シルバーカーレンタル
- △ 夜間の訪問介護（オムツ交換）、ポータブル浴槽での入浴介助
- △ 在宅生活が困難になってきている。
- △ デイサービス、車いすレンタル
- △ オムツ支給の数が足りない。
- △ ショートステイ
- △ ヘルプサービス
- △ ショートステイ、ヘルプサービス
- △ 通所リハ
- △ 移動販売
- △ ヘルプサービス
- △ ヘルプサービス、訪問リハ、通所
- △ リハビリ、通所
- △ デイケア
- △ ヘルパー
- △ 手すりの貸与
- △ 緊急時の対応。
- △ 介護をする私が体調が悪い時に、様子を見てくれる人がほしい。
- △ 薬の管理が心配。
- △ 夜間の見守り

問 12 ご本人が、現在抱えている傷病の「その他」

- △ 高血圧（同様の記述 21 件）
- △ 高血圧、逆流性食道炎
- △ 高血圧、甲状腺の病気
- △ 高血圧、高尿酸血症、高脂血症
- △ 高血圧、脂質異常症（同様の記述 2 件）
- △ 高血圧、脂質異常症、甲状腺機能低下症
- △ 高血圧、前立腺肥大
- △ 高血圧、めまい
- △ 高血圧、両側外反母趾
- △ 知的障害、高血圧

- △ 泌尿器科、高血圧、未確定のパーキンソン症候群
- △ 高脂血症、尋常性乾癬
- △ C型肝炎、肝膿瘍
- △ C型肝炎、橋本病
- △ 潰瘍性大腸炎、憩室炎、高血圧、甲状腺の病気
- △ 逆流性食道炎、子宮筋腫後の癒着
- △ 急性胆のう炎（手術の必要あり）
- △ 甲状腺腫
- △ 甲状腺の病気、貧血
- △ 小脳失調、多発神経炎、脳梗塞後遺症
- △ 脳梗塞後遺症
- △ 骨折
- △ 大腿骨骨折（同様の記述3件）
- △ 圧迫骨折歴
- △ 膝人工関節手術
- △ 膝の痛み
- △ 唾液腺が詰まって年1回通院中。
- △ 痛風
- △ 日光角化症
- △ 皮膚炎
- △ バセドー病
- △ 自律神経失調症
- △ てんかん
- △ 統合失調症（同様の記述2件）
- △ 貧血
- △ めまい症（同様の記述2件）
- △ 不眠のため、精神安定剤服用中
- △ 軽度腎機能低下、高血圧
- △ 慢性腎臓病（透析は受けていない）
- △ ウロストマ
- △ 神経因性排尿障害
- △ 前立腺の病気、アルコール依存症
- △ 前立腺肥大、高血圧

第5章 追加の設問間クロス集計

この章では、本町が推進すべき高齢者施策の方向を定める根拠データとして、在宅介護実態調査の対象者である要介護・要支援者とその介護者の心身や生活の実態の違い、そしてそれらによる施策に関する意向の違いを、設問間のクロス集計を細かく行うことによって明らかにします。

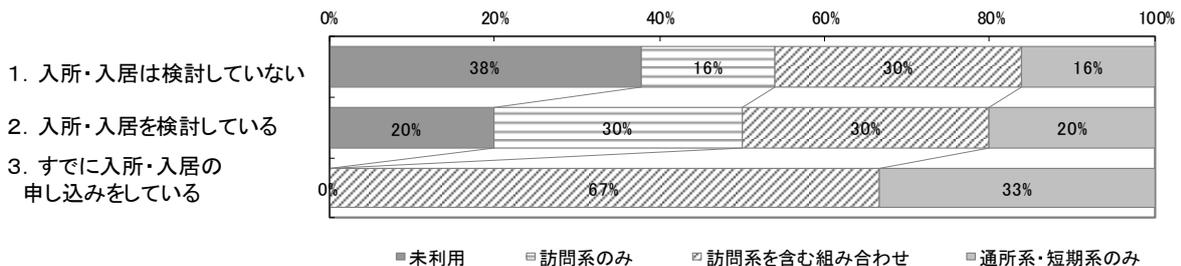
1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

この節では、「どのようなサービス利用パターンの場合」に、「在宅生活を継続することができると考えているのか」、もしくは「介護者の不安が軽減されているのか」を分析します。

(1) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

〔要介護3以上の層〕

「サービス利用の組み合わせ」× A票問11	総計		1. 入所・入居は検討していない		2. 入所・入居を検討している		3. すでに入所・入居の申し込みをしている	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
未利用	16	32%	14	38%	2	20%	0	0%
訪問系のみ	9	18%	6	16%	3	30%	0	0%
訪問系を含む組み合わせでの利用	16	32%	11	30%	3	30%	2	67%
通所系・短期系のみ利用	9	18%	6	16%	2	20%	1	33%
合計	50	100%	37	100%	10	100%	3	100%



要介護3以上の層において、「(要介護認定データによる) サービス利用の組み合わせ」と、A票問11の「施設入所の検討状況」の関係を見ると、「すでに入所・入居の申し込みをしている」層は、「訪問系を含む組み合わせでの利用」または「通所系・短期系のみ利用」がみられ、「訪問系のみ」のサービス利用のケースでは、「すでに入所・入居の申し込みをしている」はみられませんでした。

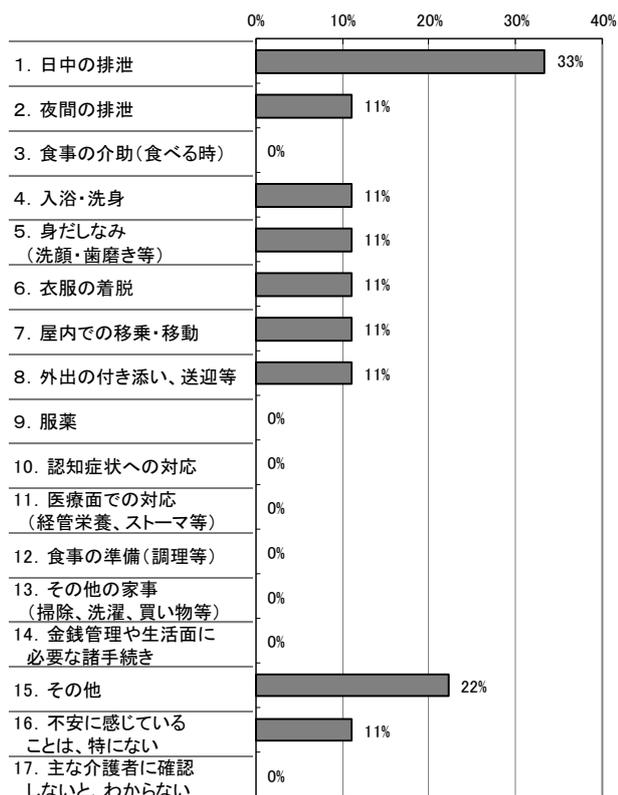
(2)「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

〔要介護3以上の層〕

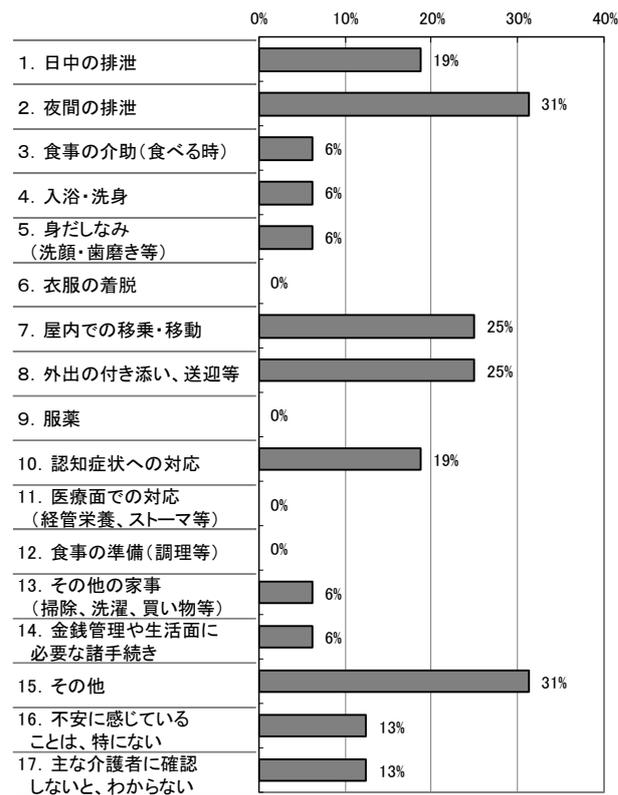
B票問5×「サービス利用の組み合わせ」	総計		未利用		訪問系のみ の利用		訪問系を含む 組み合わせで の利用		通所系・短期 系のみ の利用	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 日中の排泄	12	24%	4	25%	3	33%	3	19%	2	22%
2. 夜間の排泄	10	20%	3	19%	1	11%	5	31%	1	11%
3. 食事の介助（食べる時）	4	8%	2	13%	0	0%	1	6%	1	11%
4. 入浴・洗身	8	16%	5	31%	1	11%	1	6%	1	11%
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	2	4%	0	0%	1	11%	1	6%	0	0%
6. 衣服の着脱	2	4%	1	6%	1	11%	0	0%	0	0%
7. 屋内での移乗・移動	9	18%	3	19%	1	11%	4	25%	1	11%
8. 外出の付き添い、送迎等	8	16%	3	19%	1	11%	4	25%	0	0%
9. 服薬	2	4%	1	6%	0	0%	0	0%	1	11%
10. 認知症状への対応	11	22%	5	31%	0	0%	3	19%	3	33%
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
12. 食事の準備（調理等）	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	1	11%
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	1	2%	0	0%	0	0%	1	6%	0	0%
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	1	2%	0	0%	0	0%	1	6%	0	0%
15. その他	11	22%	2	13%	2	22%	5	31%	2	22%
16. 不安に感じていることは、特にない	6	12%	1	6%	1	11%	2	13%	2	22%
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	4	8%	1	6%	0	0%	2	13%	1	11%
合計	50	100%	16	100%	9	100%	16	100%	9	100%

要介護3以上の層において、「(要介護認定データによる) サービス利用の組み合わせ」と、B票問5の「主な介護者が不安に感じる介護」の関係は、表の通りです。「通所系・短期系のみ」を利用している介護者は、「日中の排泄」、「食事の介助（食べる時）」など、訪問介護員が行う支援項目に該当する選択肢について、訪問系サービスを利用している層より高い不安を感じている傾向があるという一般的な状況を検証する集計表ですが、要介護者本人の状態像によって大きく変化する内容であることもあり、本調査では、明確な差異はみられませんでした。

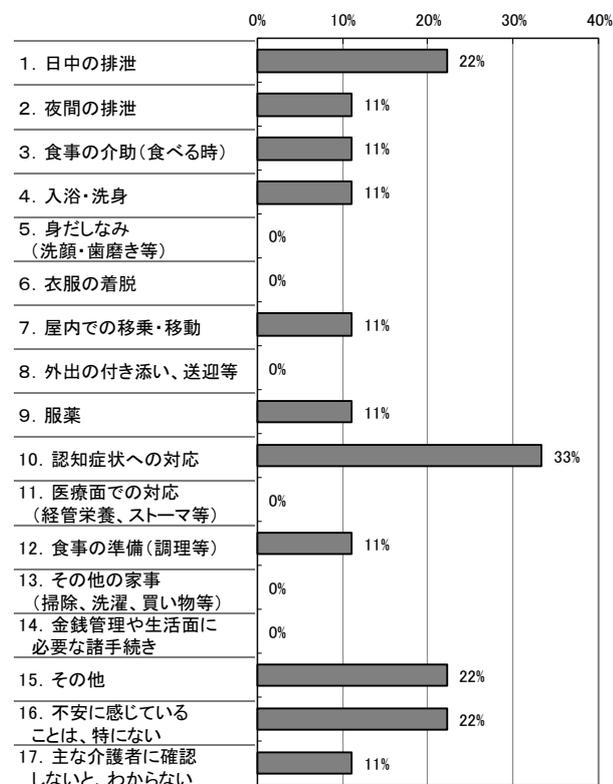
訪問系のみ利用している層



訪問系を含む組み合わせで利用している層



通所系・短期系のみ利用している層

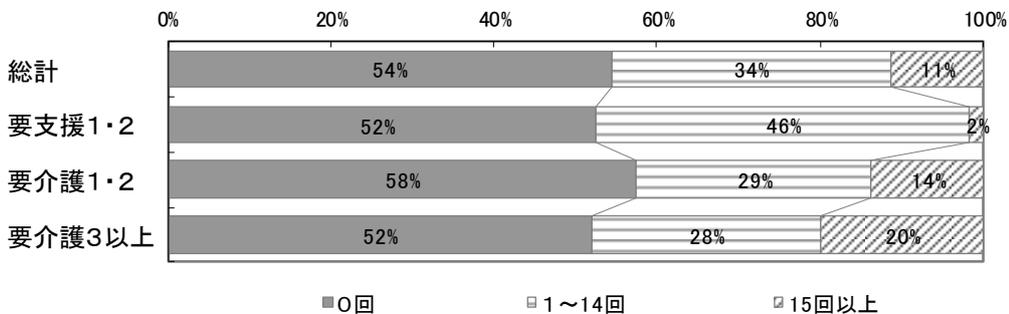


(3) 訪問系・通所系・短期入所系サービスの利用回数

「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係をみる前提として、要介護認定データより、アンケート回答者の「訪問系・通所系・短期入所系サービスの月あたりの利用回数」を集計すると、表のとおりです。
要介護度は重度になるほど、各サービスの利用回数は増えます。

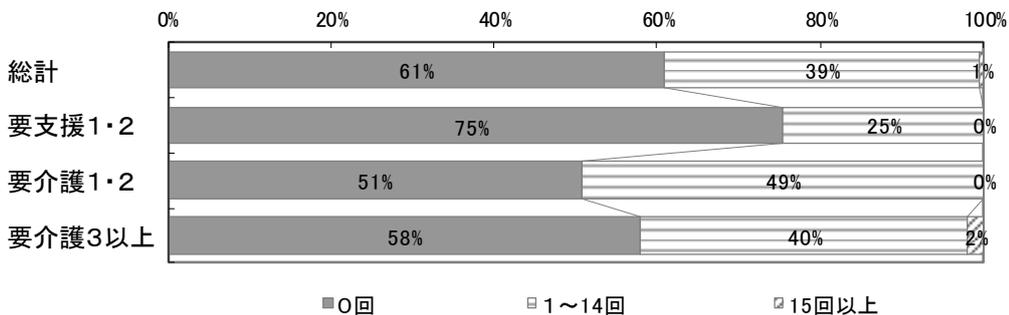
〔訪問系サービス〕

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0回	100	54%	32	52%	42	58%	26	52%
1～14回	63	34%	28	46%	21	29%	14	28%
15回以上	21	11%	1	2%	10	14%	10	20%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



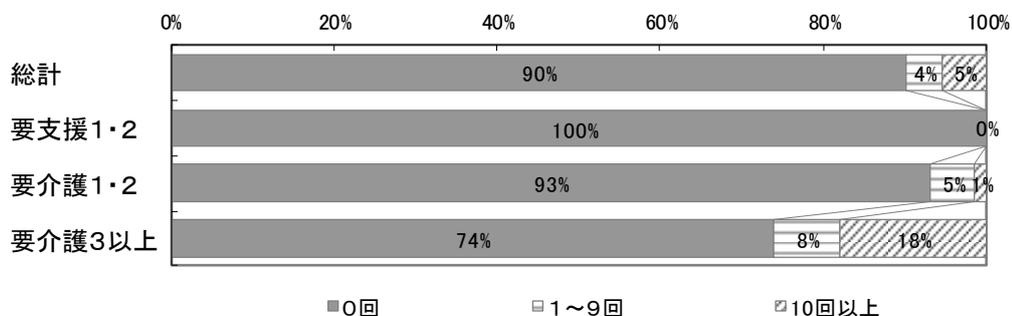
〔通所系サービス〕

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0回	112	61%	46	75%	37	51%	29	58%
1～14回	71	39%	15	25%	36	49%	20	40%
15回以上	1	1%	0	0%	0	0%	1	2%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



【短期入所系サービス】

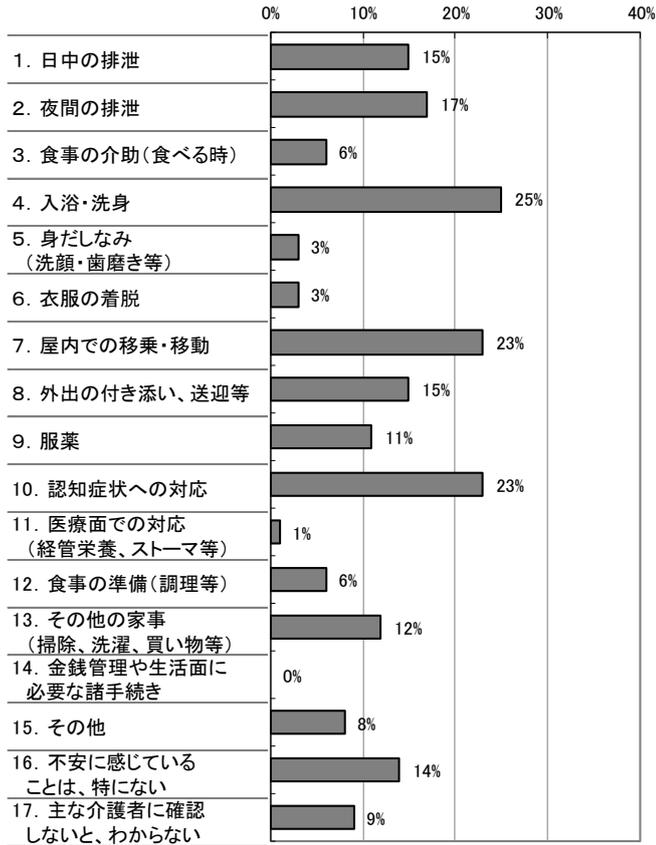
	総計		要支援 1・2		要介護 1・2		要介護 3 以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0回	166	90%	61	100%	68	93%	37	74%
1～9回	8	4%	0	0%	4	5%	4	8%
10回以上	10	5%	0	0%	1	1%	9	18%
合計	184	100%	61	100%	73	100%	50	100%



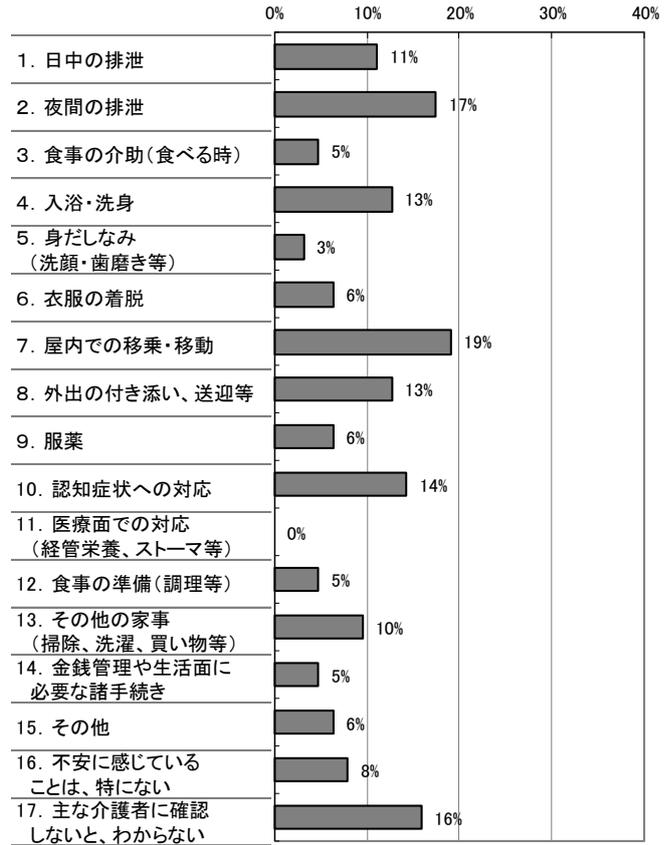
(4) 「訪問系サービスの利用回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」

B票問5×「訪問系サービスの利用回数」	総計		訪問系サービス 月0回		訪問系サービス 月1～14回		訪問系サービス 月15回以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 日中の排泄	25	14%	15	15%	7	11%	3	14%
2. 夜間の排泄	29	16%	17	17%	11	17%	1	5%
3. 食事の介助（食べる時）	9	5%	6	6%	3	5%	0	0%
4. 入浴・洗身	36	20%	25	25%	8	13%	3	14%
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6	3%	3	3%	2	3%	1	5%
6. 衣服の着脱	8	4%	3	3%	4	6%	1	5%
7. 屋内での移乗・移動	38	21%	23	23%	12	19%	3	14%
8. 外出の付き添い、送迎等	30	16%	15	15%	8	13%	7	33%
9. 服薬	15	8%	11	11%	4	6%	0	0%
10. 認知症状への対応	34	18%	23	23%	9	14%	2	10%
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	2	1%	1	1%	0	0%	1	5%
12. 食事の準備（調理等）	10	5%	6	6%	3	5%	1	5%
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	21	11%	12	12%	6	10%	3	14%
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	4	2%	0	0%	3	5%	1	5%
15. その他	15	8%	8	8%	4	6%	3	14%
16. 不安に感じていることは、特になし	20	11%	14	14%	5	8%	1	5%
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	20	11%	9	9%	10	16%	1	5%
合計	184	100%	100	100%	63	100%	21	100%

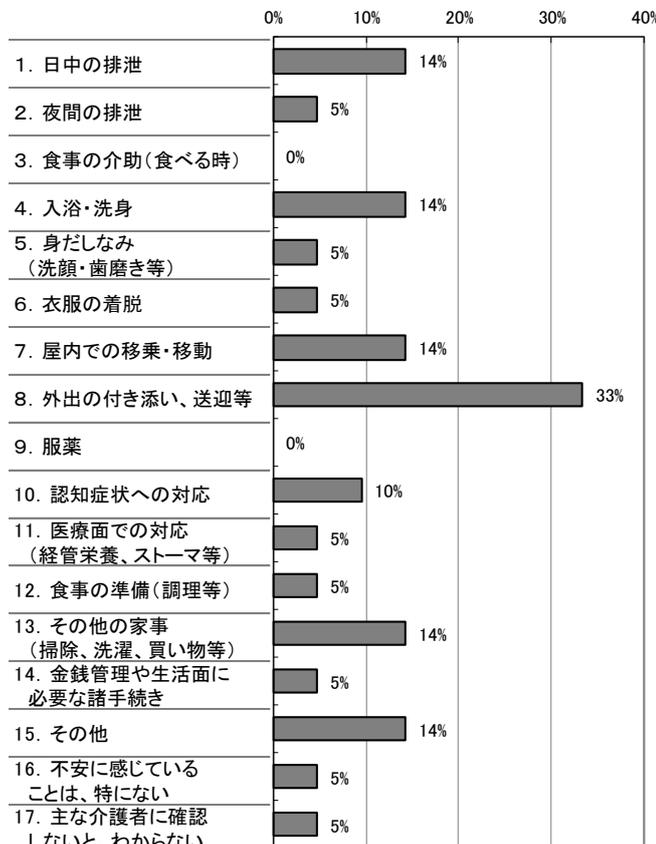
「訪問系サービス月0回」の層



「訪問系サービス月1~14回」の層



「訪問系サービス月15回以上」の層



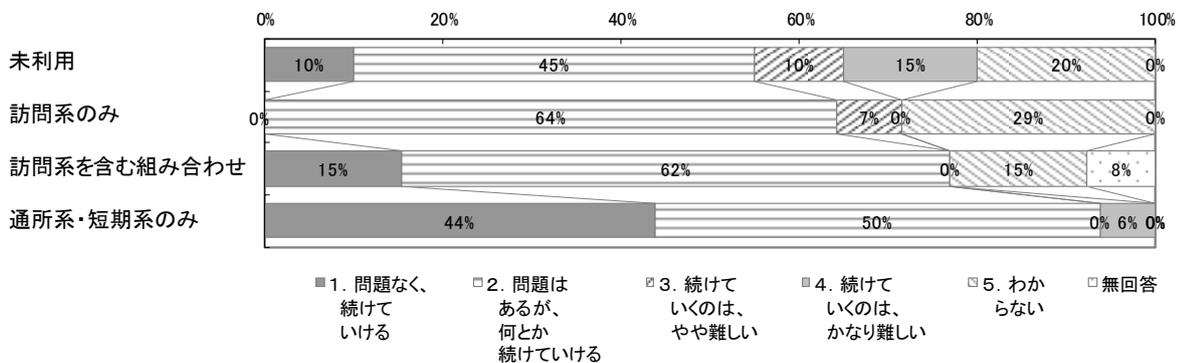
「訪問系サービスの利用回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係をみると、全般的には、「訪問系サービスの利用回数」が増えることによる明確な不安軽減の傾向はみられないものの、「夜間の排泄」、「服薬」は、「訪問系サービス月15回以上」の層は、訪問介護の利用により、不安が軽減されていることが推察される結果となっています。

2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

この節では、「どのようなサービス利用」や「働き方の調整・職場の支援」を受けている場合に、「就労を継続することができる」という見込みを持つことができるのかを分析します。

(1) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

B票問4×「介護保険サービスの利用状況」	総計		介護保険サービス未利用		訪問系のみ利用		訪問系を含む組み合わせでの利用		通所系・短期系のみ利用	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 問題なく、続けていける	11	17%	2	10%	0	0%	2	15%	7	44%
2. 問題はあるが、何とか続けていける	34	54%	9	45%	9	64%	8	62%	8	50%
3. 続けていくのは、やや難しい	3	5%	2	10%	1	7%	0	0%	0	0%
4. 続けていくのは、かなり難しい	4	6%	3	15%	0	0%	0	0%	1	6%
5. 主な介護者に確認しないと、わからない	10	16%	4	20%	4	29%	2	15%	0	0%
無回答	1	2%	0	0%	0	0%	1	8%	0	0%
合計	63	100%	20	100%	14	100%	13	100%	16	100%



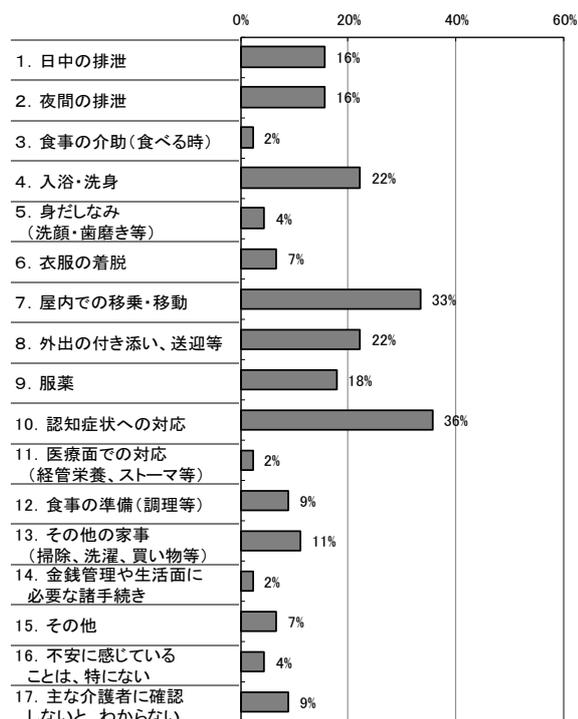
「サービス利用の組み合わせ」とB票問4「就労継続見込み」の関係を見ると、「介護保険サービス未利用」や「通所系・短期系のみ利用」の場合に、介護者の就労継続がかなり難しいという回答がみられ、訪問系サービスの利用により、就労継続のハードルが下がる可能性が示唆されます。

(2) 「就労継続見込み」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

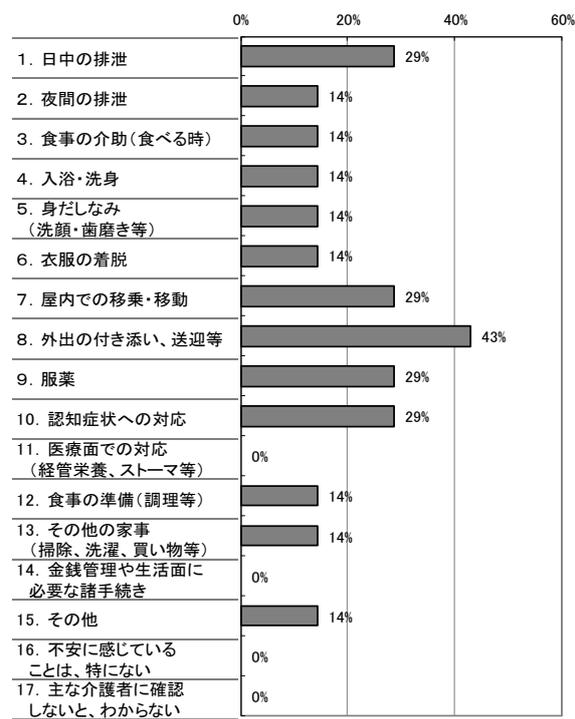
B票問5×B票問4	就労を続けていける		続けていくのは難しい	
	人数	割合	人数	割合
1. 日中の排泄	7	16%	2	29%
2. 夜間の排泄	7	16%	1	14%
3. 食事の介助（食べる時）	1	2%	1	14%
4. 入浴・洗身	10	22%	1	14%
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	2	4%	1	14%
6. 衣服の着脱	3	7%	1	14%
7. 屋内での移乗・移動	15	33%	2	29%
8. 外出の付き添い、送迎等	10	22%	3	43%
9. 服薬	8	18%	2	29%
10. 認知症状への対応	16	36%	2	29%
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	1	2%	0	0%
12. 食事の準備（調理等）	4	9%	1	14%
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	5	11%	1	14%
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	1	2%	0	0%
15. その他	3	7%	1	14%
16. 不安に感じていることは、特にない	2	4%	0	0%
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	4	9%	0	0%
合計	45	100%	7	100%

B票問4の「就労継続見込み」別に、B票問5の「主な介護者が不安を感じる介護」の内容をみると、B票問4で「就労を続けていくのは難しい」（「やや難しい」と「かなり難しい」の合計）と回答した層は、「続けていける」（「問題なく」と「何とか」の合計）と回答した層と比べ、「外出の付き添い、送迎等」や「日中の排泄」などいくつかの項目で不安を感じている割合が高く、こういった介護を公的サービスに頼れる環境を作ることにより、就労継続の可能性が高まる余地があると示唆されます。

「就労を続けていける」層



「続けていくのは難しい」層

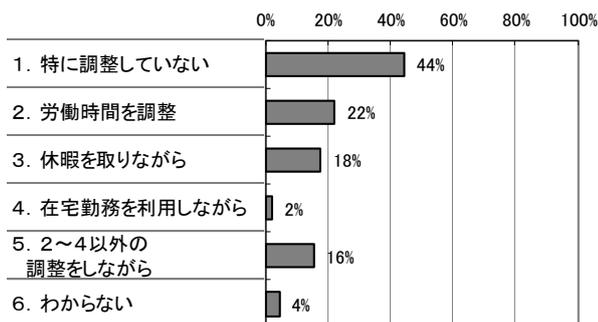


(3) 「就労継続見込み」と「介護のための働き方の調整」の関係

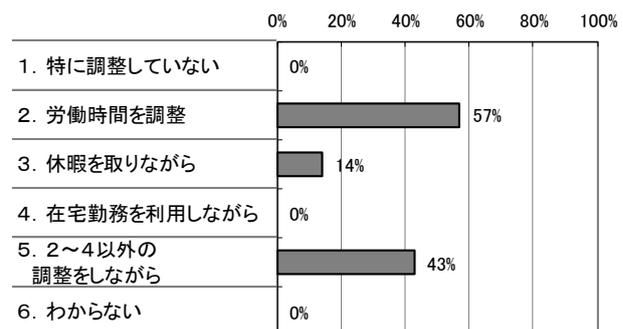
B票問2×B票問4	総計		就労を続けていける		続けていくのは難しい	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 特に調整していない	22	35%	20	44%	0	0%
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	17	27%	10	22%	4	57%
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	11	17%	8	18%	1	14%
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	1	2%	1	2%	0	0%
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	10	16%	7	16%	3	43%
6. 主な介護者に確認しないと、わからない	6	10%	2	4%	0	0%
合計	63	100%	45	100%	7	100%

B票問4の「就労継続見込み」別に、B票問2の「介護のための働き方の調整」の内容をみると、B票問4で「就労を続けていくのは難しい」（「やや難しい」と「かなり難しい」の合計）と回答した層も、働き方の調整を行っている状況が読み取れます。

「就労を続けていける」層



「続けていくのは難しい」層

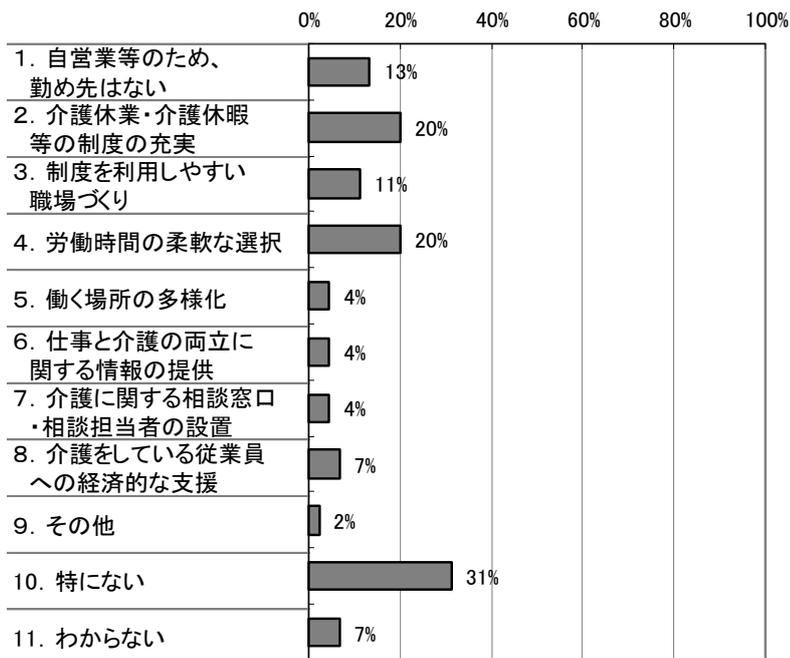


(4) 「就労継続見込み」と「効果的な勤め先からの支援」の関係

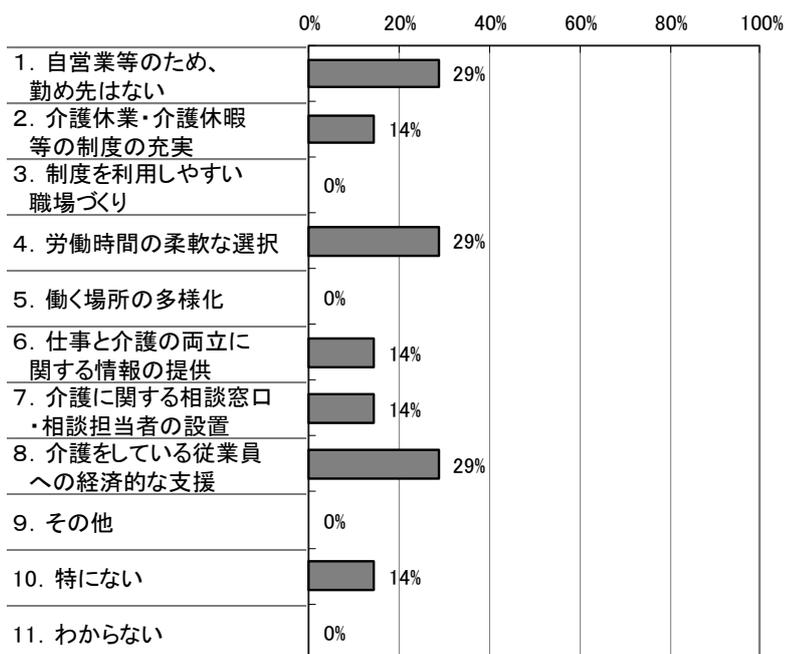
B票問3×B票問4	総計		就労を続けていける		続けていくのは難しい	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	8	13%	6	13%	2	29%
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実	10	16%	9	20%	1	14%
3. 制度を利用しやすい職場づくり	6	10%	5	11%	0	0%
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）	13	21%	9	20%	2	29%
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワーク等）	2	3%	2	4%	0	0%
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供	4	6%	2	4%	1	14%
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	3	5%	2	4%	1	14%
8. 介護をしている従業員への経済的な支援	5	8%	3	7%	2	29%
9. その他	1	2%	1	2%	0	0%
10. 特にない	15	24%	14	31%	1	14%
11. 主な介護者に確認しないと、わからない	12	19%	3	7%	0	0%
合計	63	100%	45	100%	7	100%

B票問4の「就労継続見込み」別に、B票問3の「効果的な勤め先からの支援」の意向をみると、B票問4で「就労を続けていくのは難しい」（「やや難しい」と「かなり難しい」の合計）と回答した層は、「続けていける」（「問題なく」と「何とか」の合計）と回答した層と比べ、「介護をしている従業員への経済的な支援」などに高い意向を持っていることが読み取れます。

「就労を続けていける」層



「続けていくのは難しい」層



3 「介護保険外の支援・サービス」を中心とした地域資源の整備の検討

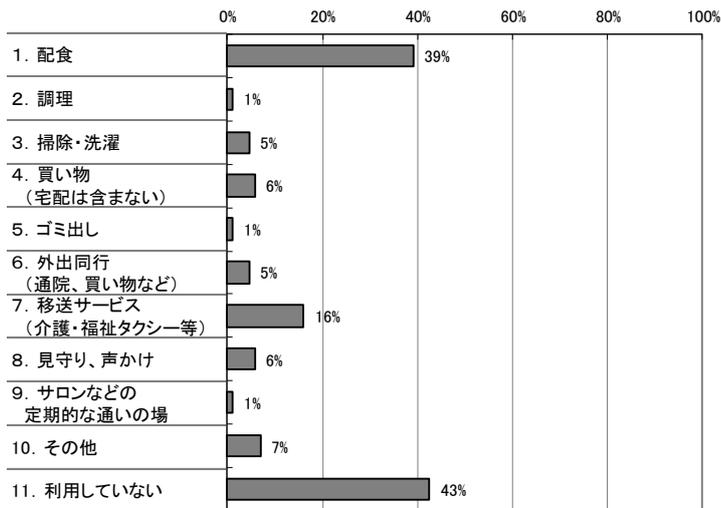
この節では、生活支援体制整備事業の推進などのために活用していく参考データとして、「介護保険外の支援・サービス」の利用の現状や意向を分析します。

(1) 世帯類型と「介護保険外の支援・サービスの利用状況」の関係

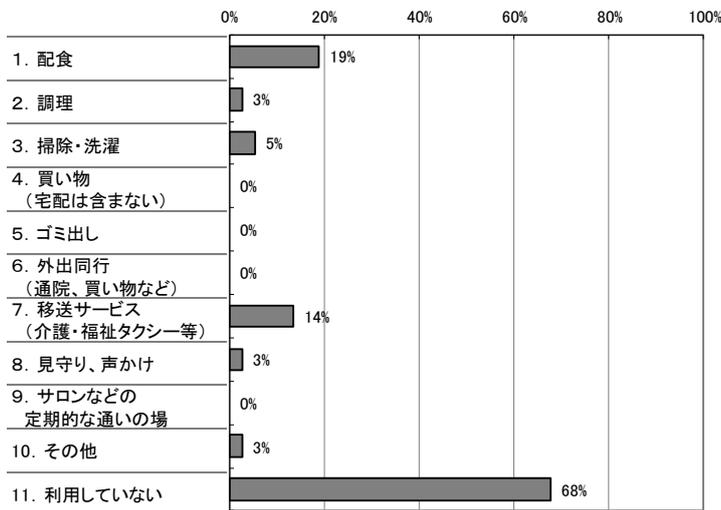
A票問9×A票問1	総計		1. 単身世帯		2. 夫婦のみ世帯		3. その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配食	51	28%	34	39%	7	19%	10	17%
2. 調理	2	1%	1	1%	1	3%	0	0%
3. 掃除・洗濯	7	4%	4	5%	2	5%	1	2%
4. 買い物（宅配は含まない）	6	3%	5	6%	0	0%	1	2%
5. ゴミ出し	1	1%	1	1%	0	0%	0	0%
6. 外出同行（通院、買い物など）	5	3%	4	5%	0	0%	1	2%
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	21	11%	14	16%	5	14%	2	3%
8. 見守り、声かけ	6	3%	5	6%	1	3%	0	0%
9. サロンなどの定期的な通いの場	2	1%	1	1%	0	0%	1	2%
10. その他	9	5%	6	7%	1	3%	2	3%
11. 利用していない	108	59%	37	43%	25	68%	46	77%
合計	184	100%	87	100%	37	100%	60	100%

A票問1の世帯類型別に、A票問9の「介護保険外の支援・サービスの利用状況」をみると、「単身世帯」や「夫婦のみ世帯」では、「配食」を筆頭に、様々な「介護保険外の支援・サービス」で、単身以外の世帯より、高い利用率となっています。

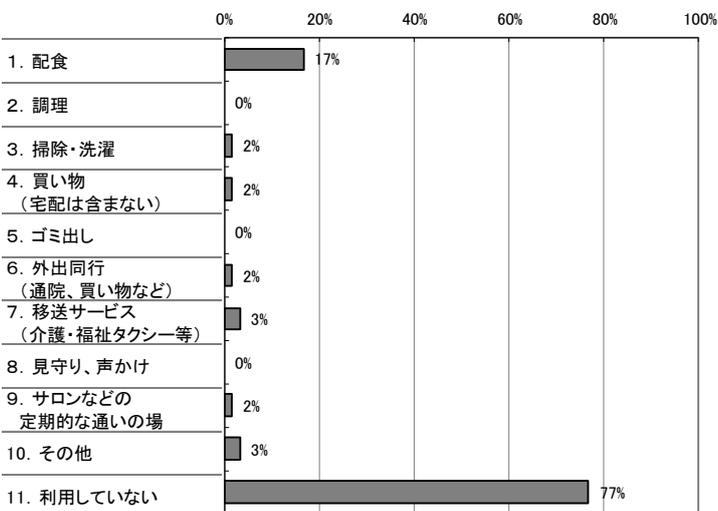
単身世帯



夫婦のみ世帯



単身・夫婦のみ以外の世帯

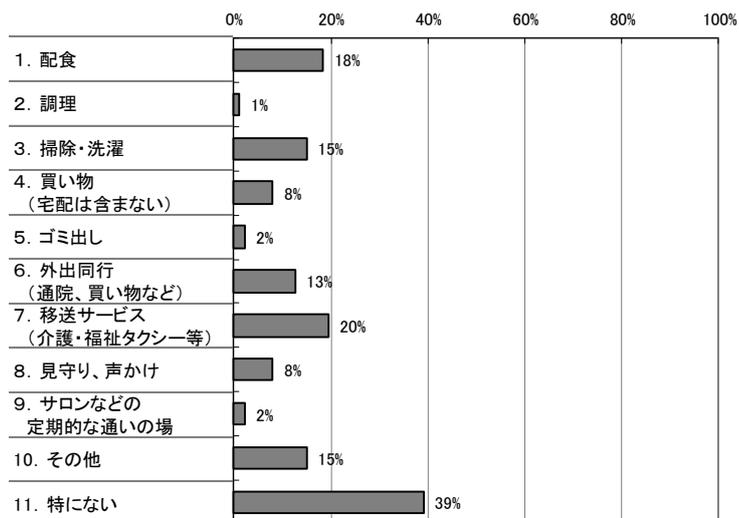


(2) 世帯類型と「必要と感じる介護保険外の支援・サービス」の関係

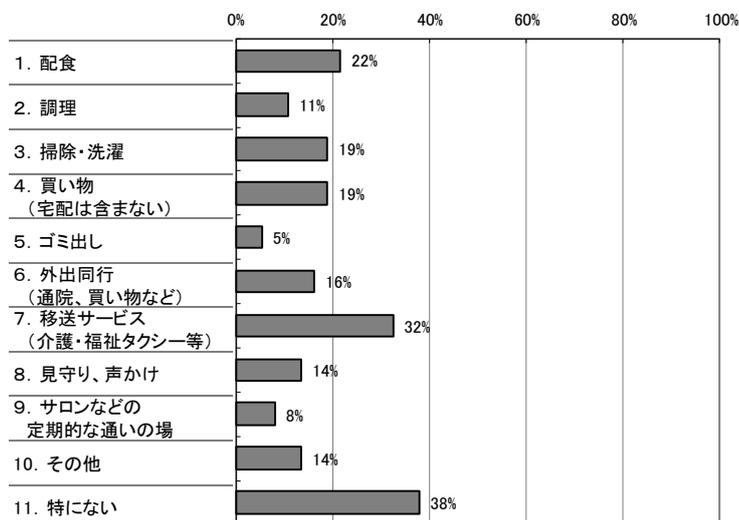
A票問 10×A票問 1	総計		1. 単身世帯		2. 夫婦のみ世帯		3. その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配食	31	17%	16	18%	8	22%	7	12%
2. 調理	6	3%	1	1%	4	11%	1	2%
3. 掃除・洗濯	22	12%	13	15%	7	19%	2	3%
4. 買い物（宅配は含まない）	16	9%	7	8%	7	19%	2	3%
5. ゴミ出し	5	3%	2	2%	2	5%	1	2%
6. 外出同行（通院、買い物など）	19	10%	11	13%	6	16%	2	3%
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	34	18%	17	20%	12	32%	5	8%
8. 見守り、声かけ	16	9%	7	8%	5	14%	4	7%
9. サロンなどの定期的な通いの場	8	4%	2	2%	3	8%	3	5%
11. その他	24	13%	13	15%	5	14%	6	10%
12. 特になし	87	47%	34	39%	14	38%	39	65%
合計	184	100%	87	100%	37	100%	60	100%

A票問 1 の世帯類型別に、A票問 10 の「必要と感じる介護保険外の支援・サービス」をみると、「単身世帯」や「夫婦のみ世帯」では、「単身・夫婦のみ以外の世帯」と比べ、様々な「介護保険外の支援・サービス」で、高い利用希望率となっています。

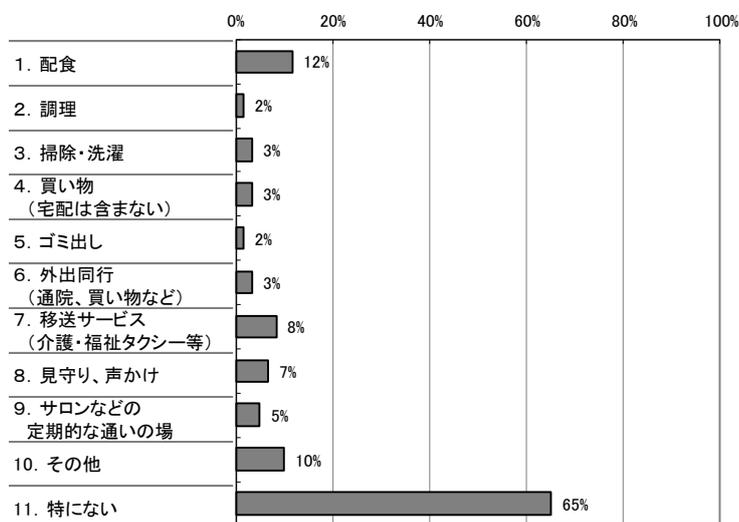
単身世帯



夫婦のみ世帯



単身・夫婦のみ以外の世帯

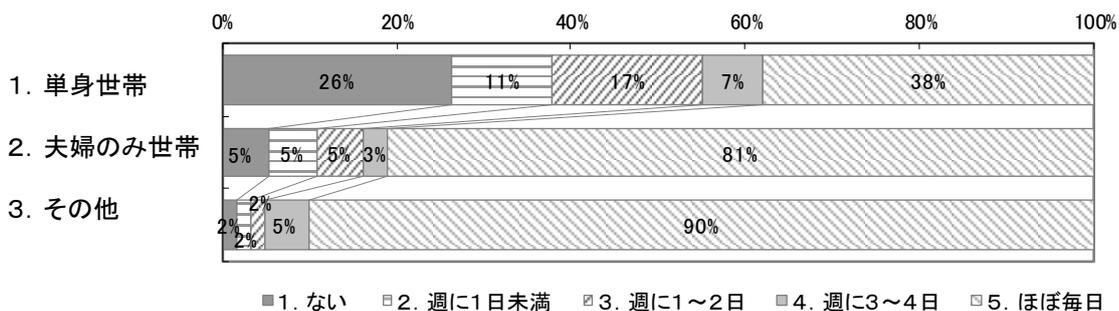


4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

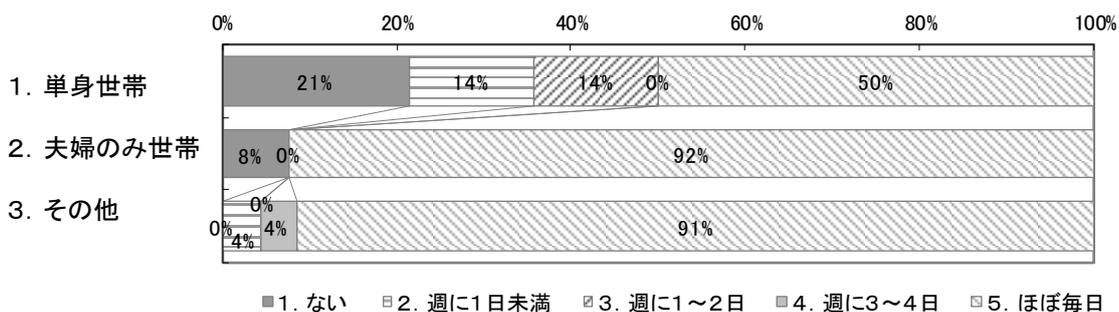
この節では、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、世帯類型別の「家族等による介護の頻度」、「サービス利用の組み合わせ」、「施設等検討の状況」を分析します。

(1) 世帯類型と「家族等による介護の頻度」の関係

A票問1×A票問3 回答者全体	1. 単身世帯		2. 夫婦のみ世帯		3. その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ない	23	26%	2	5%	1	2%
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	10	11%	2	5%	1	2%
3. 家族・親族の介護は、週に1～2日ある	15	17%	2	5%	1	2%
4. 家族・親族の介護は、週に3～4日ある	6	7%	1	3%	3	5%
5. 家族・親族の介護は、ほぼ毎日ある	33	38%	30	81%	54	90%
合計	87	100%	37	100%	60	100%



A票問1×A票問2 要介護3以上	1. 単身世帯		2. 夫婦のみ世帯		3. その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ない	3	21%	1	8%	0	0%
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	2	14%	0	0%	1	4%
3. 家族・親族の介護は、週に1～2日ある	2	14%	0	0%	0	0%
4. 家族・親族の介護は、週に3～4日ある	0	0%	0	0%	1	4%
5. 家族・親族の介護は、ほぼ毎日ある	7	50%	12	92%	21	91%
合計	14	100%	13	100%	23	100%

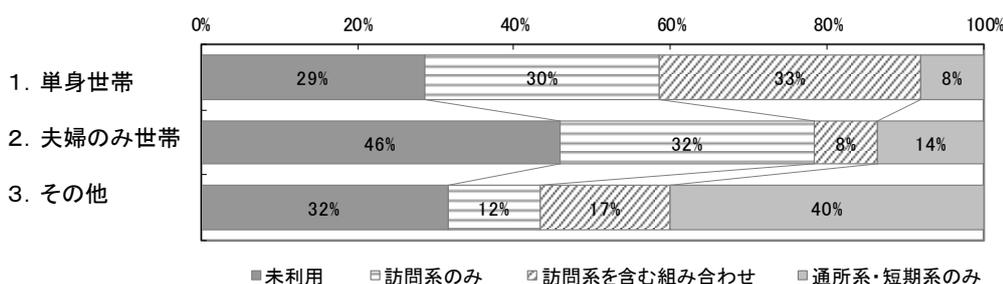


A票問1の世帯類型別に、A票問2の「家族等による週あたりの介護の頻度」をみると、「単身世帯」や「夫婦のみ世帯」では、「単身・夫婦のみ以外の世帯」と比べ、「家族等による週あたりの介護の頻度」は低くなっています。

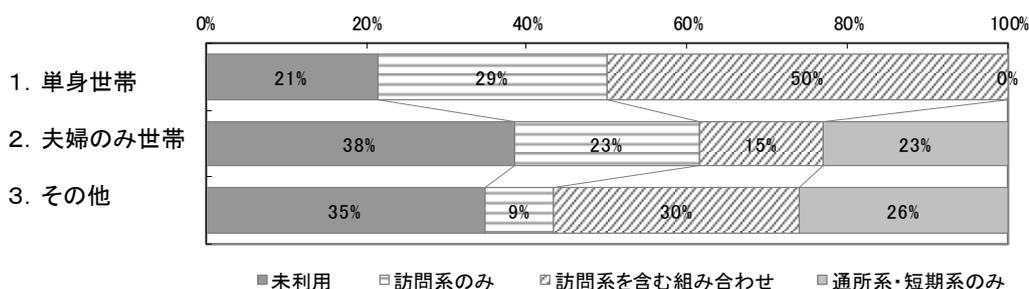
また、要介護3以上の層だけを抽出してみると、世帯類型別の「家族等による週あたりの介護の頻度」は、回答者全体より多い傾向がありますが、要介護3以上の層においても、「家族等による介護」が「ない」という回答もみられます。

(2) 世帯類型と「サービス利用の組み合わせ」の関係

A票問1×「サービス利用の組み合わせ」 回答者全体	1. 単身世帯		2. 夫婦のみ世帯		3. その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護保険サービス未利用	25	29%	17	46%	19	32%
訪問系のみ利用	26	30%	12	32%	7	12%
訪問系を含む組み合わせでの利用	29	33%	3	8%	10	17%
通所系・短期系のみ利用	7	8%	5	14%	24	40%
合計	87	100%	37	100%	60	100%



A票問1×「サービス利用の組み合わせ」 要介護3以上	1. 単身世帯		2. 夫婦のみ世帯		3. その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護保険サービス未利用	3	21%	5	38%	8	35%
訪問系のみ利用	4	29%	3	23%	2	9%
訪問系を含む組み合わせでの利用	7	50%	2	15%	7	30%
通所系・短期系のみ利用	0	0%	3	23%	6	26%
合計	14	100%	13	100%	23	100%

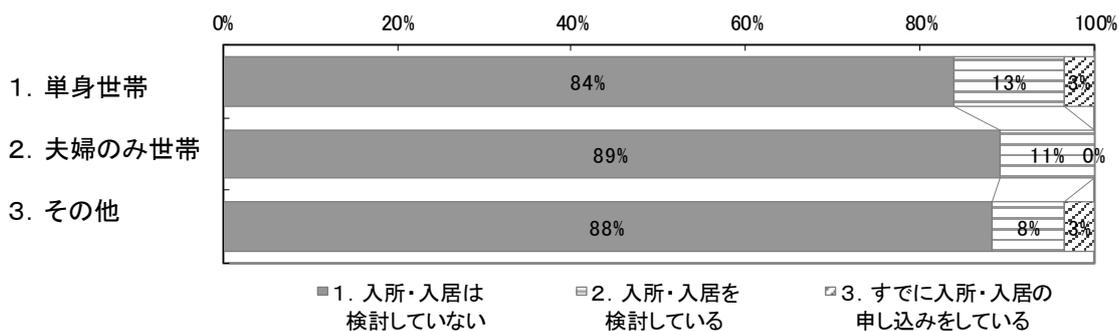


A票問1の世帯類型別に、「サービス利用の組み合わせ」をみると、「単身世帯」や「夫婦のみ世帯」では、「単身・夫婦のみ以外の世帯」と比べ、訪問系サービスの利用割合が高くなっています。

また、この傾向は、要介護3以上の層でも同様であり、要介護状態が重くなっても、訪問系サービスを活用しながら在宅生活を継続している実態がみてとれます。

(3) 世帯類型と「施設等検討の状況」の関係

A票問1×A票問11	1. 単身世帯		2. 夫婦のみ世帯		3. その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 入所・入居は検討していない	73	84%	33	89%	53	88%
2. 入所・入居を検討している	11	13%	4	11%	5	8%
3. すでに入所・入居の申し込みをしている	3	3%	0	0%	2	3%
合計	87	100%	37	100%	60	100%



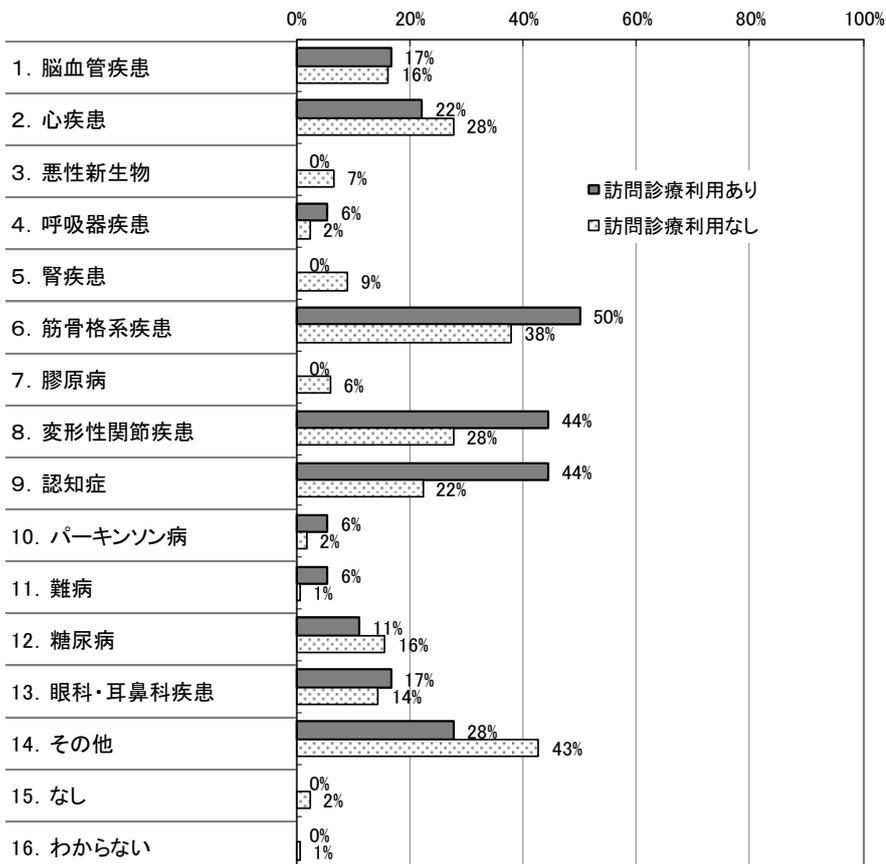
A票問1の世帯類型別に、A票問11の「施設等検討の状況」をみると、世帯類型による入所意向の差はほとんどみられない状況です。

5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

この節では、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるため、訪問診療の利用者の状況を分析します。

(1) 「訪問診療の利用の有無」と「抱えている傷病」の関係

A 票問 12×A 票問 13	訪問診療利用あり		訪問診療利用なし	
	人数	割合	人数	割合
1. 脳血管疾患（脳卒中）	3	17%	27	16%
2. 心疾患（心臓病）	4	22%	46	28%
3. 悪性新生物（がん）	0	0%	11	7%
4. 呼吸器疾患	1	6%	4	2%
5. 腎疾患（透析）	0	0%	15	9%
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	9	50%	63	38%
7. 膠原病（関節リウマチ含む）	0	0%	10	6%
8. 変形性関節疾患	8	44%	46	28%
9. 認知症	8	44%	37	22%
10. パーキンソン病	1	6%	3	2%
11. 難病（パーキンソン病を除く）	1	6%	1	1%
12. 糖尿病	2	11%	26	16%
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	3	17%	24	14%
14. その他	5	28%	71	43%
15. なし	0	0%	4	2%
16. わからない	0	0%	1	1%
合計	18	100%	166	100%

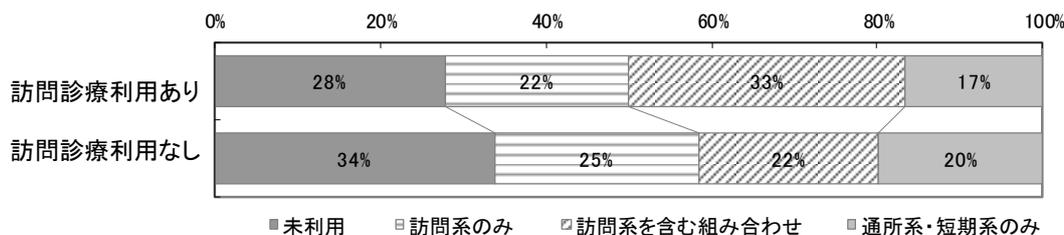


A 票問 13 の「訪問診療の利用の有無」別に、A 票問 12 の「抱えている傷病」をみると、「変形性関節疾患」や「筋骨格系疾患」や「変形性関節疾患」といった整形外科系の傷病において、訪問診療利用者の方が未利用者より罹患率が高い傾向がみられます。

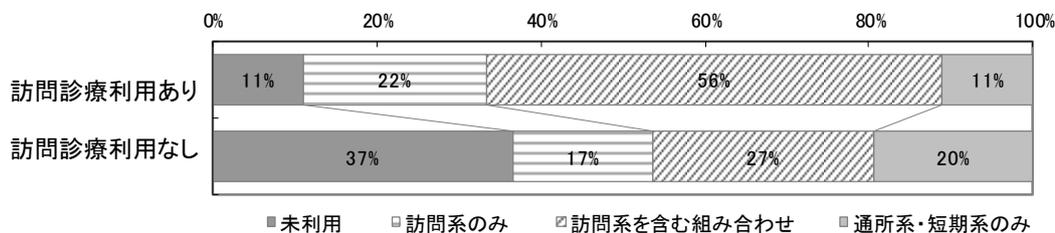
これらは、通院が困難になるケースも多いことから、訪問診療の利用率が高いと推察されます。

(2) 「訪問診療の利用の有無」と「サービス利用の組み合わせ」の関係

「サービス利用の組み合わせ」 × A票問 13 回答者全体	訪問診療利用あり		訪問診療利用なし	
	人数	割合	人数	割合
介護保険サービス未利用	5	28%	56	34%
訪問系のみ利用	4	22%	41	25%
訪問系を含む組み合わせでの利用	6	33%	36	22%
通所系・短期系のみ利用	3	17%	33	20%
合計	18	100%	166	100%



「サービス利用の組み合わせ」 × A票問 13 要介護3以上	訪問診療利用あり		訪問診療利用なし	
	人数	割合	人数	割合
介護保険サービス未利用	1	11%	15	37%
訪問系のみ利用	2	22%	7	17%
訪問系を含む組み合わせでの利用	5	56%	11	27%
通所系・短期系のみ利用	1	11%	8	20%
合計	9	100%	41	100%



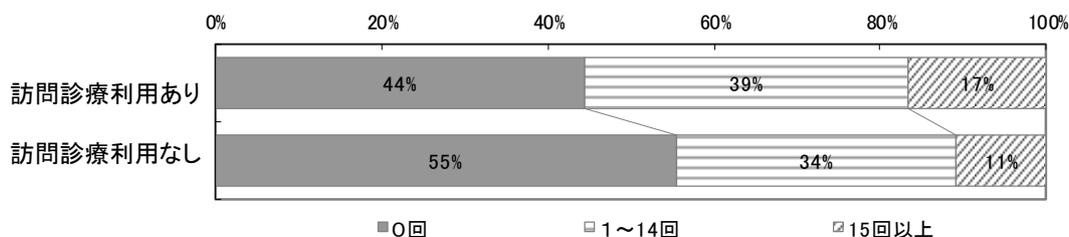
A票問 13 の「訪問診療の利用の有無」と、要介護認定データによる「サービス利用の組み合わせ」の関係をみると、訪問診療利用者の方が未利用者より、訪問系の介護保険サービスの利用率が高いことがわかります。

要介護3以上の層だけを抽出してみると、その傾向は一層顕著であり、中重度の要介護者の多くが、訪問系介護保険サービスと訪問診療を組み合わせながら、在宅生活の継続につなげている実態がみてとれます。

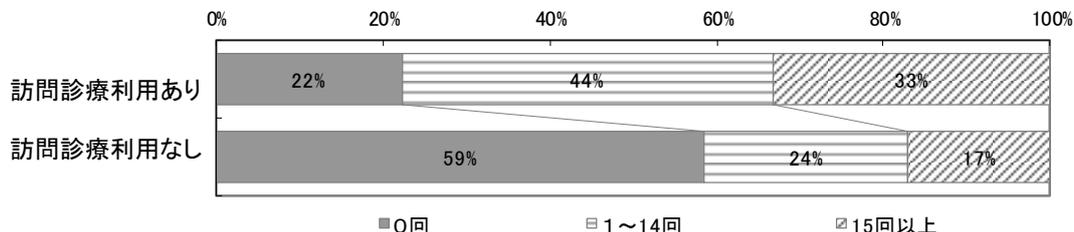
今後、在宅で療養生活を送る医療ニーズの高い中重度の要介護者の増加が見込まれる中で、訪問系介護保険サービスや訪問診療の提供量の確保が重要であると言えます。

(3) 「訪問診療の利用の有無」と「訪問系サービスの利用回数」の関係

「訪問系サービスの利用回数」 × A 票問 13 回答者全体	訪問診療利用あり		訪問診療利用なし	
	人数	割合	人数	割合
0回	8	44%	92	55%
1～14回	7	39%	56	34%
15回以上	3	17%	18	11%
合計	18	100%	166	100%



「訪問系サービスの利用回数」 × A 票問 13 要介護3以上	訪問診療利用あり		訪問診療利用なし	
	人数	割合	人数	割合
0回	2	22%	24	59%
1～14回	4	44%	10	24%
15回以上	3	33%	7	17%
合計	9	100%	41	100%

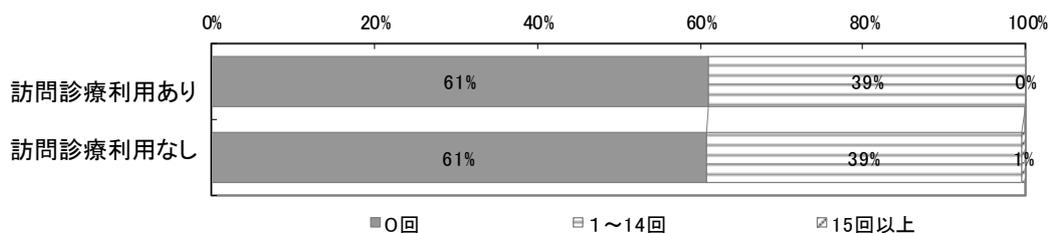


A票問13の「訪問診療の利用の有無」と、要介護認定データによる「訪問系サービスの月あたりの利用回数」の関係をみると、訪問診療利用者の方が未利用者より、訪問系の介護保険サービスの利用回数が多いことがわかります。

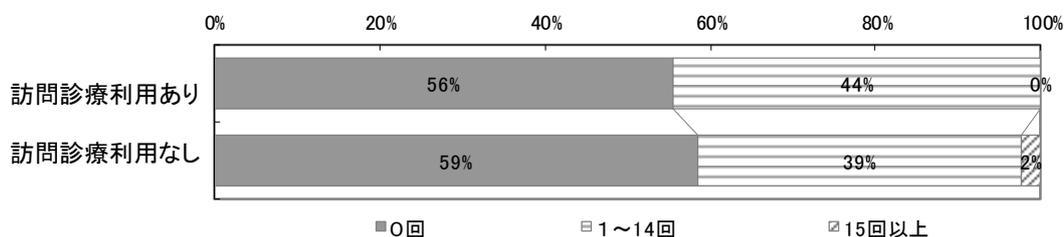
要介護3以上の層だけを抽出してみると、その傾向は一層顕著であり、中重度の要介護者の多くが、訪問系介護保険サービスと訪問診療を組み合わせながら、在宅生活の継続につなげている実態がみてとれます。

(4) 「訪問診療の利用の有無」と「通所系サービスの利用回数」の関係

「通所系サービスの利用回数」 × A 票問 13 回答者全体	訪問診療利用 あり		訪問診療利用 なし	
	人数	割合	人数	割合
0 回	11	61%	101	61%
1～14 回	7	39%	64	39%
15 回以上	0	0%	1	1%
合計	18	100%	166	100%



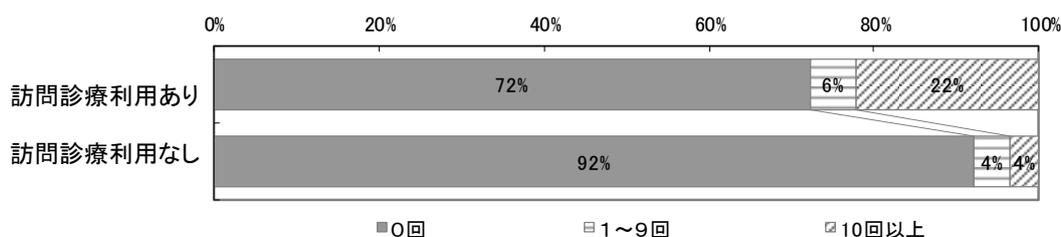
「通所系サービスの利用回数」 × A 票問 13 要介護 3 以上	訪問診療利用 あり		訪問診療利用 なし	
	人数	割合	人数	割合
0 回	5	56%	24	59%
1～14 回	4	44%	16	39%
15 回以上	0	0%	1	2%
合計	9	100%	41	100%



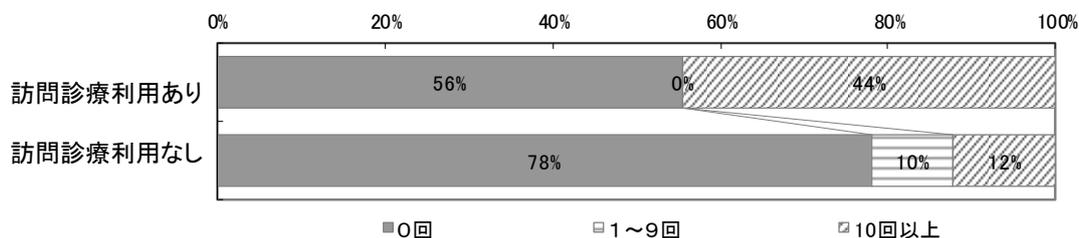
A 票問 13 の「訪問診療の利用の有無」と、要介護認定データによる「通所系サービスの月あたりの利用回数」の関係をみると、訪問系介護保険サービスでみられたような訪問診療の利用との相関はみられない状況です。

(5) 「訪問診療の利用の有無」と「短期入所系サービスの利用回数」の関係

「短期入所系サービスの利用回数」 × A 票問 13 回答者全体	訪問診療利用あり		訪問診療利用なし	
	人数	割合	人数	割合
0回	13	72%	153	92%
1～9回	1	6%	7	4%
10回以上	4	22%	6	4%
合計	18	100%	166	100%



「短期入所系サービスの利用回数」 × A 票問 13 要介護3以上	訪問診療利用あり		訪問診療利用なし	
	人数	割合	人数	割合
0回	5	56%	32	78%
1～9回	0	0%	4	10%
10回以上	4	44%	5	12%
合計	9	100%	41	100%



A票問13の「訪問診療の利用の有無」と、要介護認定データによる「短期入所系サービスの月あたりの利用回数」の関係をみると、訪問診療利用者の方が未利用者より、短期入所系の介護保険サービスの利用回数が多いことがわかります。

要介護3以上の層だけを抽出してみると、その傾向は一層顕著であり、中重度の要介護者の多くが、短期入所系の介護保険サービスと訪問診療を組み合わせながら、在宅生活の継続につなげている実態がみてとれます。

「第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定のための

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

ご協力をお願い

日頃から串本町介護保険事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

串本町では、高齢者福祉の向上と介護保険サービスの適正な運営を目的に、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」（以下、「計画」という）を策定します。そこで、皆さまの暮らしや健康の状況をお伺いして、計画の基礎資料とするために、町にお住まいの65歳以上（要介護者を除く）の方に、この調査をお願いすることといたしました。

この調査は、介護や福祉、生活支援等の施策検討の参考にするために行うものであり、本調査で得られた情報につきましては、計画策定のための分析以外には利用いたしません。また、調査票には連番を記載して宛名情報を管理していますが、調査結果は統計的数値として取り扱うため、個人に関する情報が漏洩したり公表されることはありません。

ご多用のところ誠に恐れいますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年11月

串本町長 田嶋 勝正

- 次のページの内容をよくお読みの上、ご回答をお願いします。
- ご回答いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、
12月20日（火）まで に、ポストにご投函ください。（切手は不要です）

※この調査に関するご質問やお問合せは、下記までお願いします。

<お問合せ先> 串本町役場 福祉課 介護保険・老人福祉グループ
電話（直通）：（0735）62-0562

個人情報取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、「第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、串本町の個人情報保護条例に基づく適正な取り扱いおよび管理をいたします。
- 介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

ご記入に際してのお願い

1. 質問をよくお読みいただきご回答ください。該当する番号に○をつけたり、文字や数字のご記入をお願いします。
2. あなた（あて名のご本人）についてご回答いただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
3. この調査で用いる「介護」・「介助」の意味は、次のとおりです。

介護：介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常にご家族等の援助を受けている状態。
介助：ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態。

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄:)
3. その他

問1 あなた(あて名のご本人)の生活状況について

(1) あなたの性別をお教えてください。(○は1つ)

1. 男性
2. 女性

(2) あなたの年齢をお教えてください。(○は1つ)

1. 65～69歳
2. 70～74歳
3. 75～79歳
4. 80～84歳
5. 85～89歳
6. 90歳以上

(3) あなたのお住まいの地区をお教えてください。(○は1つ)

1. 串本地区(鬮野川、サンゴ台を含む)
2. 出雲地区
3. 潮岬地区
4. 二色・高富地区
5. 有田地区(有田上、吐生を含む)
6. 田並地区(田並上、江田を含む)
7. 和深地区(田子～和深～里川)
8. 大島地区(須江、檜野を含む)
9. 西向地区(姫～古田まで)
10. 古座地区(中湊、上野山、津荷を含む)
11. 田原地区(上田原、佐部を含む)

(4) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他 ※ 孫を含む3世代以上の場合は、「5. その他」に○をしてください。

(5) あなたは、この2年間あまりの新型コロナウイルス感染症の影響により、精神的、身体的に変化はありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 非常にあった | 2. あった |
| 3. あまりない | 4. まったくない |

(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている ※介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む。

◆ (6) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ

① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------------|---------------------|-------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 | |
| 3. がん (悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) | |
| 5. 関節の病気 (リウマチ等) | 6. 認知症 (アルツハイマー病等) | |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 | 9. 腎疾患 (透析) |
| 10. 視覚・聴覚障害 | 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | 14. その他 () | 15. 不明 |

◆ (6) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」に○をつけた方のみ

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 配偶者 (夫・妻) | 2. 息子 |
| 3. 娘 | 4. 子の配偶者 |
| 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 () |

(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である
3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回
3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

◆ (8) において「1. はい」(外出を控えている) に○をつけた方のみ

① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない 10. その他()

(9) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	
1. 自分の歯は20本以上 (入れ歯を利用)	2. 自分の歯は20本以上 (入れ歯を利用していない)
3. 自分の歯は19本以下 (入れ歯を利用)	4. 自分の歯は19本以下 (入れ歯を利用していない)
※総入れ歯は「3.」に○をしてください	
◆【(9)において「1.」または「3.」(入れ歯を利用している)に○をつけた方のみ】	
① 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ

問4	毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)		
1. はい	2. いいえ	
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)		
1. はい	2. いいえ	
(3) 今日が何月何日か、わからないときがありますか。(○は1つ)		
1. はい	2. いいえ	
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)		
1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)		
1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)		
1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)		
1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)		
1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
(9) 年金などの書類(役場や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)		
1. はい	2. いいえ	

(10) 新聞を読んでいますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(11) 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(13) 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(14) 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(15) 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(17) 趣味はありますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(18) 生きがいがありますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①～⑧のそれぞれに回答してください。

① ボランティアのグループ (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

② スポーツ関係のグループやクラブ (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

③ 趣味関係のグループ (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

④ 学習・教養サークル (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

⑤ (お元気プロジェクトなど) 介護予防のための通いの場 (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

⑥ 老人クラブ (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

⑦ 町内会・自治会 (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

⑧ 収入のある仕事 (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 参加していない |

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴^{ぐち}を聞いてくれる人はどなたですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴^{ぐち}を聞いてあげる人はどなたですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

<p>(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。 (○はいくつでも)</p>	
<p>1. 自治会・町内会・老人クラブ</p> <p>3. ケアマネジャー</p> <p>5. 地域包括支援センター・役場</p> <p>7. そのような人はいない</p>	<p>2. 社会福祉協議会・民生委員</p> <p>4. 医師・歯科医師・看護師</p> <p>6. その他 ()</p>
<p>(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)</p>	
<p>1. 毎日ある</p> <p>4. 年に何度かある</p>	<p>2. 週に何度かある</p> <p>5. ほとんどない</p>
<p>3. 月に何度かある</p>	
<p>(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)</p>	
<p>1. 0人 (いない)</p> <p>4. 6~9人</p>	<p>2. 1~2人</p> <p>5. 10人以上</p>
<p>3. 3~5人</p>	
<p>(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)</p>	
<p>1. 近所・同じ地域の人</p> <p>3. 学生時代の友人</p> <p>5. 趣味や関心が同じ友人</p> <p>7. その他</p>	<p>2. 幼なじみ</p> <p>4. 仕事での同僚・元同僚</p> <p>6. ボランティア等の活動での友人</p> <p>8. いない</p>

<p>問7 健康について</p>																								
<p>(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)</p>																								
<p>1. とてもよい</p> <p>3. あまりよくない</p>																								
<p>2. まあよい</p> <p>4. よくない</p>																								
<p>(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください)</p>																								
<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">とても不幸</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">とても幸せ</td> </tr> <tr> <td>0点</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>4点</td> <td>5点</td> <td>6点</td> <td>7点</td> <td>8点</td> <td>9点</td> <td>10点</td> <td></td> </tr> </table>	とても不幸											とても幸せ	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	
とても不幸											とても幸せ													
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点														

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)	
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない
(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)	
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)	
1. ない	2. 高血圧
3. <small>のうそっちゅう のうしゅっけつ のうこうそく</small> 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	4. 心臓病
5. <small>とうにようびょう</small> 糖尿病	6. <small>こうしけっしょう しじついじょう</small> 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. <small>じんぞう ぜんりつせん</small> 腎臓・前立腺の病気	10. <small>きんこつかく こつそ しょう</small> 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. <small>がいしやう てんとう こっせつ</small> 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)
13. <small>けつえき めんえき</small> 血液・免疫の病気	14. うつ病
15. <small>にんちしょう</small> 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. その他 ()	

問10 成年後見制度※ について

※「成年後見制度」とは、認知症の高齢者や、知的障害、精神障害などの理由で、ご自分で物事を判断する能力が十分でない方の、権利や財産を守るための制度です。

(1) 成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 名称も内容も知っている | 2. 名称を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3. 名称も内容も知らない | |

◆【(1)において「1. 名称も内容も知っている」に○をつけた方のみ】

① 成年後見制度の相談先としてどちらをご存じですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 地域包括支援センター | 2. 権利擁護サポートセンター こうけんくしもと |
| 3. 社会福祉協議会 | 4. 障害者相談支援事業所 |
| 5. 和歌山県成年後見支援センター | 6. 法テラス |
| 7. その他
() | 8. 相談先を知らない |

◆【(1)において「1. 名称も内容も知っている」に○をつけた方のみ】

② 成年後見制度を利用したいと思いませんか。(○は1つ)

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用しない |
| 3. わからない | 4. すでに利用している |

問11 今後の暮らし方について

(1) 病気で治療・療養が必要であるが、通院できない場合などに、医師や看護師などの訪問を受けながら自宅で治療・療養する医療のあり方を「在宅医療」といいます。あなたは、最期まで自宅で療養できるとお考えですか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. できると思う | 2. 難しいと思う |
| 3. わからない | |

◆【(1)において「2. 難しいと思う」に○をつけた方のみ】

① 難しいとお考えになる具体的理由はどのようなことですか。お考えに近いものを選んでください。(○はいくつでも)

1. 訪問診察や往診してくれるかかりつけ医がない、または知らない
 2. 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていない
 3. 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていない
 4. 24時間相談にのってくれるところがない
 5. 介護してくれる家族がない
 6. 介護してくれる家族に負担がかかる
 7. 居住環境が整っていない
 8. 経済的な負担が大きい
 9. その他
- ()

問12 ご意見・ご提案について

◆高齢者が暮らしやすいまちづくりのために、ご意見・ご提案がありましたらお書きください。

(自由記述)

- 以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 ●
- ご記入済のアンケートは、同封の返信用封筒に入れて
- 12月20日（火）までに ポストにご投函ください。

在宅介護実態調査 調査票

第 9 期

被保険者番号〔 〕

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか？】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査員対象者のケアマネージャー
5. その他

A票

認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 ご本人（認定調査対象者）の世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご本人（認定調査対象者）は、この2年間あまりの新型コロナウイルス感染症の影響により、精神的、身体的に変化はありましたか（1つを選択）

1. 非常にあった
2. あった
3. あまりない
4. まったくない

問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問9（裏面）へ

問4～問14へ

問4 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

問5 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

1. 男性
2. 女性

問6 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

1. 20代未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------|-----------|
| 15. その他() | 16. わからない |
|------------|-----------|

問8 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

●ここから再び、全員に調査してください。

問9 現在、利用している、「介護サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他() | | 11. 利用していない |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数回答可）

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他() | | 11. 特になし |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問12 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他()
15. なし
16. わからない

問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

1. 利用している
2. 利用していない

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問14 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

1. 利用している
2. 利用していない

●問14で「2.」を選択した場合は、問15も調査してください。

問15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
9. その他

●問3で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

●「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人（調査対象者の方）にご回答・ご記入をお願いしてください（ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です）。

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入いただく項目

※ 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願いいたします。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5（裏面）へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※ 「パートタイム」とは「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている()
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他() | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

●ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べるとき) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他() | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

★ 最後に、高齢者への公的な支援について、ご意見、ご要望があれば、お寄せください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

